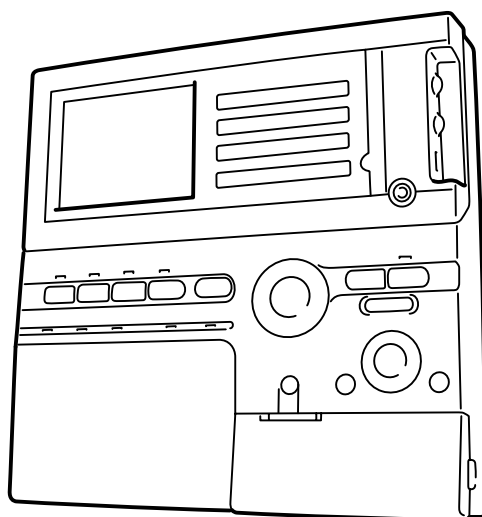
液晶モニター付き　4チャンネル　デジタルレコーダー

WonderTrack

WT-2000J Ver2.0

取扱説明書

このたびは、本機器をお買い求めいただきありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、本機器を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
本機器の仕様や取扱説明書の内容は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

はじめに

■ 特長

モニター、レコーダーをワンパッケージ化
液晶モニター、ハードディスクレコーダー、SDメモリーカードスロット、フレームスイッチャーの機能をすべて内蔵しています。
液晶モニターでは接続されたカメラからの映像をフル画面または4分割で表示できます。
記録した画像はSDメモリーカードにコピーできます。

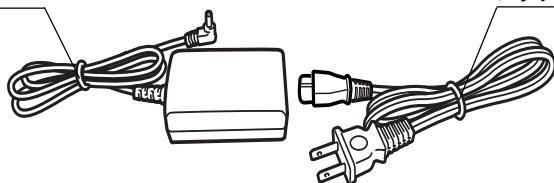
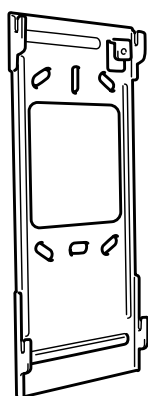
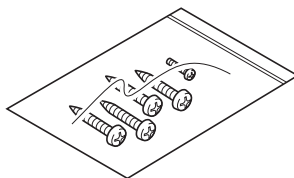
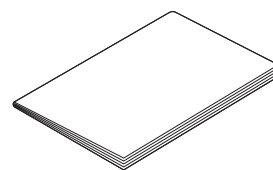
コンパクトデザイン
薄型で壁付が可能ですのでスペースをとりません。駐車場、小規模店舗、事務所などに最適です。

パン・チルト・ズームカメラ（PTZカメラ）の制御が可能
サムソン社製、エルモ社製のパン・チルト・ズームカメラ（PTZカメラ）を遠隔制御できます。

機械警備連動
警備セットの入力と連動して録画したり、異常やステータスを外部機器に通報できます。

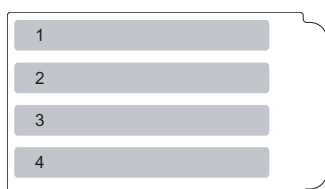
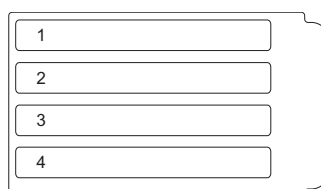
■付属品

パッケージの中に次のものが入っていることをご確認ください。

・専用ACアダプター　・・・　1個

・取付プレート　・・・　1個

・取付ネジセット・・・1個
内容
壁面取付ネジ呼び4×20　　・・・4本
WT-2000J本体固定ネジM3×8・・・1本

・取扱説明書（本書）・・・1冊

・映像チャンネルカード・・・1枚

A面

B面

1
2
3
4

安全上のご注意

ご使用になる前にこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
この取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところへ大切に保管してください。
この取扱説明書では、本機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、絵表示を用いております。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

	このような絵表示は、禁止（してはいけないこと）を意味しています。
	このような絵表示は、分解・改造禁止を意味しています。
接触禁止	このような絵表示は、接触禁止を意味しています。
	このような絵表示は、強制（必ずしていただくこと）を意味しています。

⚠警告	
入出力端子への接続工事や、設置は必ず専門の工事店に依頼してください。工事には技術と経験が必要です。 火災、感電、けが、器物破損の原因となります。	
本機器がしっかり固定されているか定期的に点検してください。金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。 点検は販売店、設置業者、工事店に依頼してください。	
本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。 お子様が誤って本機器を破損すると危険です。	
本機器を分解、改造しないでください。高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。 内部の点検、調整、修理は販売店、設置業者、工事店、または弊社にご依頼ください。お手入れ時、または部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。	
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。落下すると、けがや本機器の故障につながります。	
ぬれた手で本機器に触れないでください。感電、機器破損の原因となります。	
上部、および電源のカバーに指を挟まないようにご注意ください。 挟まれるとケガをする恐れがあります。	
煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。 火災、感電の原因となります。 販売店、設置業者、工事店、または弊社にご連絡ください。	
本機器を落としたり外装を破損した場合は、使うのをやめてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。 販売店、設置業者、工事店、または弊社にご連絡ください。	
内部に水や異物が入ったときは使うのをやめてください。火災・感電につながります。 販売店、設置業者、工事店、または弊社にご相談ください。	
本機器専用のACアダプターまたは別売の専用直流電源装置を使用してください。 本機器専用以外のACアダプターを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因になります。	

⚠警告

内容	
本機器を使用するときは、必ず警告、注意事項に従ってください。	
電源コンセントを他の機器と共用使用はしないでください。他の機器とコンセントを共用すると異常発熱でコンセント部が発火するおそれがあります。	
アースが接続されているか確認してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。アース接続されてないときは、販売店、設置業者、工事店にご連絡ください。	
設置、および配線工事は販売店、設置業者、工事店に依頼してください。	
本機器の内部金属フレームは高温になっている場合がありますので、触れないでください。やけどなどのケガをする恐れがあります。	

⚠注意

内容	
油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わないでください。 水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電の恐れがあります。	
使用中は、本機器の上に布などをかぶせないでください。熱で外装ケースが変形し内部が発熱すると、火災・感電・故障の恐れがあります。	
直射日光のあたる場所などの高温になるところで使用・保管しないでください。 本機器外装が熱により変形することがあります。	
本機器は、機器の重みにより落下しないように、しっかりとした場所に堅固に取り付け、設置してください。 本機器の落下によるけがの原因になります。	
風呂等の湿気の著しく高い場所や、水に浸かる恐れのある場所、水中などには設置しないでください。またホースなどで直接水をかけないでください。火災、感電、機器破損の原因となります。	
本機器を設置するときはモニター部分を触らないでください。 強く押すと破損の原因になります。	
本機器の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。	
ケーブルの着脱はコードの部分ではなく、プラグ部分を持ってください。電源コードを引っ張って抜くと断線して発熱、発火の恐れがあります。	
本機器が正常に機能しない場合に取扱説明書に記載されている対処を行っても回復しない場合は、販売店、設置業者、工事店、または弊社にご連絡ください。取扱説明書に記載されている以外のことをすると感電、ケガ、火災の恐れがあります。	
電源の入切は取扱説明書の手順に従ってください。手順に従わないと、機器が壊れる恐れがあります。	
電源電圧、周波数、容量などの規格を守ってください。本機器の規格、条件外で使用すると、感電、火災、ケガの恐れがあります。 使用電圧　AC90-110V 使用周波数　50Hz/60Hz	

⚠注意

条件外で使用、保管すると、感電や火災、故障の原因となります。次のような場所では使用、保管しないでください。 ・平らでなく、振動する不安定な場所 ・静電気が発生する場所 ・ほこりや湿気の多い場所 ・温度+5～+40°、湿度25～80%の範囲を超える場所 ・直射日光の当たる場所 ・火気の周辺または熱気のこもる場所 ・薬品類のそば ・冷暖房器具のそば ・漏水の危険がある場所 ・漏電の危険がある場所 ・強い磁界が発生する場所	
ラジオ、テレビ、コードレス電話機などの近くで使用したり、同じコンセントに電源コードを接続しないでください。本機器およびラジオ、テレビに雑音が入ったり、正常に動作しなくなります。	
液晶モニターの内部の液には、刺激性の物質が含まれています。万一、破損して液が流れ出した場合は絶対に口に入れないでください。誤って口に入れた場合は、流水で15分以上洗浄した後、すぐに医師に相談してください。皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。	
設置工事、配線工事を行う場合は、本機器の電源を切ってから行ってください。	

●本機器の取扱いについてのお願い

設置場所について

・次のような場所には取付けないでください。本機器の故障や誤動作の原因となります。
・換気扇や排気ダクトなど蒸気や油などのかかる場所。
・室内温度が0℃以下になる場所、エアコンなどの冷風が当たる場所には設置しないでください。
・テレビ、ラジオ、パソコン、無線機、磁石、スピーカなど強い磁界（磁気）を発生する機器の近くでは画像が乱れたり、記録が損なわれる場合があるため、極力それらの機器から本機器を離してください。

使用環境（結露発生等）について

・製品がさらされる環境によっては、製品の本体およびハードディスクドライブ機器など製品の内部機器に結露を発生する場合があります。
結露が発生している状態で製品をご使用になりますと、製品が故障する場合があります。特に、ハードディスクドライブ機器については完全に動作しない場合や、動作しましてもその寿命を著しく短くすることがありますのでご注意下さい。
・結露が発生している場合のご使用については、製品の電源を入れてライブ状態のまま１時間程度待ってからご使用頂くことを推奨致します。
・また、製品が急激な温度変化にさらされる場合などの状況下におきましても、結露の場合と同じように製品の故障につながる場合がありますので、製品のご使用の条件につきましては十分注意して使用頂くことをお願います。

撮影について

・この商品は、映像の撮影をするもので、盗難防止装置ではありません。万一発生した盗難事故などによる損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
・必ず事前に試し撮りを行い、正常に記録されていることを確認してください。また、視野の設定ミスや使用上の操作ミス及び機器が正しく動作しなかったことによる損害や損失記録データの保証は致しかねますのでご了承ください。
・本機器は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中に本機器に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。
・液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、ごく少量の画素欠けや、まれに、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録されている画像には影響ありません。
・液晶モニターを長時間表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。

ハードディスクドライブ（HDD）について

・ハードディスクドライブは消耗品です。
約20,000時間を目安に交換してください。（これは約20,000時間を保証しているものではありません。）
製品がさらされる環境や使用環境によってはハードディスクドライブの寿命を著しく短くすることがありますのでご注意ください。
また、ハードディスクの故障による交換、定期メンテナンスによる交換を必要とするときは、販売店、設置業者・工事店、または弊社にお問い合わせください。
・お客様によるハードディスクの交換により生じた不具合に関しては、いかなる場合も保証対象外となります。

ハードディスクエラー発生時の対処について

・ハードディスクにエラーが発生した場合、エラーメッセージを表示した後、約３０秒経過すると自動的に再起動をかけて復旧処理を行います。復旧処理の設定は66ﾍﾟｰｼﾞをご覧下さい。録画中の場合、この間の録画はできませんが、復旧後に自動的に録画を再開します。
エラーメッセージ表示中および復旧処理中は、出力端子の設定が「エラー時」であれば、信号が出力されます。
・なお、１度で復旧しない場合は設定により1～5回まで復旧処理を行い、それでも回復しない時はエラーメッセージを出した状態で停止します。この場合は、至急販売店にご連絡ください。

放熱ファンについて

・ 本機器内部に取り付けられている放熱ファンは消耗品です。
約30,000時間を目安に交換してください。（これは約30,000時間を保証しているものではありません。）

注 意　ハードディスクドライブ、本機器内部の放熱ファンは、消耗品のため保証期間中であっても、有償修理対象品となります。

お手入れについて

・ 付着したホコリや汚れなどは乾いた布で軽くふき取ってください。
・ 汚れが落ちにくい場合は薄めた中性洗剤をやわらかい布にしみこませ、軽くふき取ってください。
・ ベンジンやシンナーなどの溶剤、中性以外の洗剤は使用しないでください。変形、変質、塗装のはがれなどの原因となります。
・ 化学ぞうきんをご使用の場合は、注意書きに従ってください。

商標について

・ SD は商標です。
・ その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

●SDメモリーカードの取扱いについての注意事項

⚠警告	
SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。	

⚠注意	
SDメモリーカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。	
SDメモリーカードを分解したり、改造しないでください。	
SDメモリーカードを扱う前に、必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電にしている静電気を放電させてください。静電気によって部品に損傷が生じる恐れがあります。	
SDメモリーカードを保管するときは、専用のケースに入れてください。	

●SDメモリーカードの取扱いについてのお願い

取扱いについて

・ SDメモリーカードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。SDメモリーカードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
・ 使用後は、必ずSDメモリーカードを取り出して、保管してください。
・ SDメモリーカード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手や金属などで触れないでください。
・ ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
・ SDメモリーカードは必ず正しい向きで入れてください。挿入方向を間違えて無理に差し込むとコネクタ部が破壊されてしまいます。

フォーマットについて

・SDメモリーカードを使用する前に、本機器でフォーマットしてください。フォーマットは「セットアップ」メニューの中の、「ディスク－SDフォーマット」で実行できます。
・一度本機器でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機器から抜差しした後でもSDメモリーカードの容量一杯まで書込みできます。
・容量一杯まで書込んだ場合は、PCでファイルを削除するかもう一度フォーマットし直すことで、さらに書込むことができます。その際SDメモリーカード内の保存データは全て失われますので、大事なデータはパソコン等に保存してください。

画像データについて

・不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・「しばらくお待ちください」が表示されているときは絶対に、SDメモリーカードを取り出さないでください。データの破壊および、故障の原因になります。
・大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。

SDメモリーカードの推奨品について

・本機は補助記録媒体としてSDメモリーカード（miniSDカード）に対応しております。
・現在（2006年5月時点）市販されているもののうち、以下がご使用いただけます。

【推奨品】

松下電器産業株式会社製
～SDメモリーカード
RP-SD032BL1A (32MB)
RP-SD064BL1A (64MB)
RP-SD0128BL1A (128MB)
RP-SDH256N1A (256MB)
RP-SDK512J1A (512MB)
RP-SDK01GJ1A (1GB)

・また、下記の製品は当社で動作確認しています。

【動作確認品】

松下電器産業株式会社製 ～miniSDカード	株式会社バッファロー製 ～SDメモリーカード
RP-SS032BJ1K (32MB) RP-SS064BJ1K (64MB) RP-SS128BJ1K (128MB) RP-SS256BJ1K (256MB)	RSDC-S32M (32MB) RSDC-S64M (64MB) RSDC-S128M (128MB)

ライブ中および検索条件入力中のHDD動作について

・ライブ中および検索条件入力中、一定時間何も操作しないとHDDが動作し始める場合があります。
これは、HDDが安定した状態にあるかどうかを確認するための作業を行っている状態です。
作業が終わらなくても他の動作は行えます。
この作業は1日1回行われます。完全に終わる前に中断した場合、空き時間を見つけて継続実行します。

電源を切る際の注意

・通常WT2000の電源を切る必要はありませんが、輸送時など必要な場合には以下の手順でHDDを停止させてから切るようにしてください。
（1）ライブに戻る。
（2）上下左右ボタンの上↑を押す。
（3）2秒以内に停止キーを押す。
（4）画面下部の表示が「HDD停止準備中」から「HDD停止」となり、しばらくして表示が消えるまで待つ。
（5）念のため、ディスクLEDが点滅していないことを確認する。
（6）電源を切る。
・この手順を経ずに（特にライブに戻らずに）電源を切った場合、最悪の場合HDDの記録内容が破壊されることがありますのでご注意ください。

はじめに
準備
操作
設定
その他

目次

準備

操作

設定

その他

1 各部の名称

1-1 前面

①液晶モニター
カメラからの映像を表示します。また、記録された画像や各種設定画面を表示します。

②チャンネル選択ボタン
液晶モニターに映像を表示したいカメラを選択するときに使用します。

③画面分割ボタン
カメラ4チャンネル分の映像を液晶モニターに分割して表示します。

④ジョグダイアル
再生モードで、ジョグダイヤルを回すと、高速／低速で画像を正転／巻き戻しできます。一時停止モードで、ジョグダイヤルを回すと、1コマずつ画像を正転／巻き戻しできます。
メニューモードでジョグダイヤルを回すと、カーソルを移動します。PTZカメラ操作モードでジョグダイアルを回すと、ズームイン・ズームアウトができます。

⑤コピーボタン
画像再生時の一時停止中に、このキーを押すと、静止画像をSDメモリーカード内にコピーします。

⑥SDメモリーカードスロット
SDメモリーカードを挿入します。ラベルを上向きにしてください。

⑦検索ボタン
このキーを押すと、検索再生メニューに移ります。

⑧明るさ調整ボリューム
液晶モニターの明るさを調整します。

⑨カラー調整ボリューム
液晶モニターの色の濃さを調整します。

⑩LCDスイッチ
このスイッチを押すと、液晶モニターの表示をON／OFFできます。

⑪前面映像出力端子(RCAコネクタ)
テレビモニターやビデオデッキなどほかの機器に映像を出力するときに使用します。本機器の液晶モニターとまったく同じ内容を出力します。ライブ表示、再生、セットアップメニューなどすべての内容がそのまま出力されます。

⑫再生／一時停止ボタン
1回押すと記録された画像を再生します。再生中にもう1回押すと一時停止します。

⑬録画ボタン
液晶モニターに表示されている映像の録画を開始します。

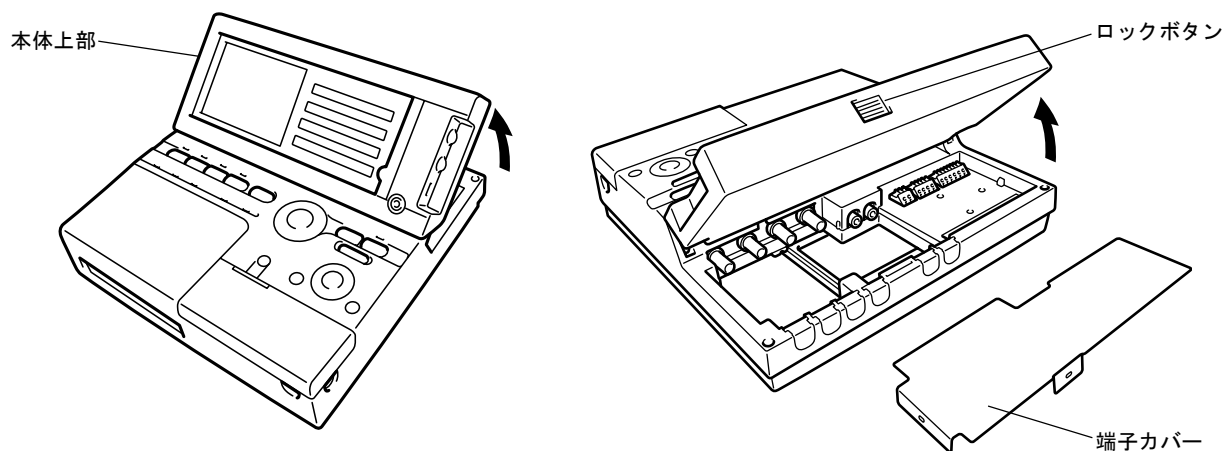
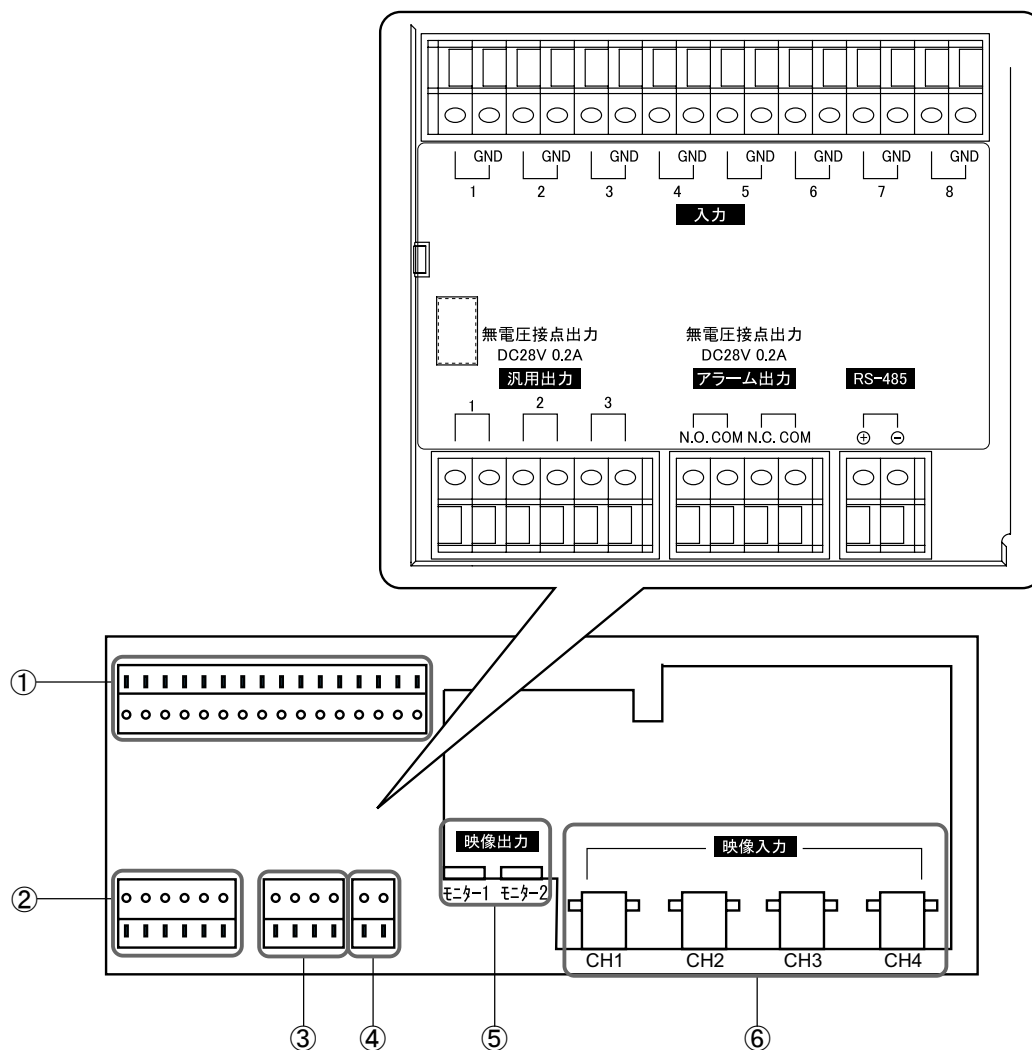
⑭停止ボタン
録画と再生を停止します。

⑮上下左右ボタン
メニューモードで押すとカーソルを移動します。また数値を変更します。
PTZカメラ操作モードで押すと、パン・チルトの角度調整ができます。

⑯決定ボタン
メニュー画面で選択している項目を確定します。

⑰メニューボタン
⑦と⑯のボタンを２つ同時に押すと、セットアップメニューに移ります。

1-2 内部

ロックボタンを押しながら本体上部を手前に開き、端子カバーを取り外すと、内部に配線端子があります。

注意 本体上部は閉じた状態から約95°まで起こすことができますが、約95°以上の角度に起こしたり、本体上部自体に無理な力を掛けないでください。本体の破損の原因となりますのでご注意ください。

内部配線端子図

① **入力端子**
外部からの入力信号線を接続する端子です。
入力の種類としては、アラーム入力/パニック入力/警戒入力/分リセット入力/秒リセット入力/マルチ入力があります。詳しくは50ページの「**9-10 入力端子設定**」をご覧ください。

アラーム入力
センサーなどのアラーム信号を入力として受け付けます。

パニック入力
ライブ/録画/再生/検索モード時に、パニック入力として設定された入力端子にパニック入力信号が入ると、あらかじめ設定されたパニック録画パターンで録画します。

警戒入力
ライブ/録画/再生/検索モード時に、警戒入力として設定された入力端子に警戒入力信号が入ると、強制的に監視状態に入ります。
パニック録画中はこの警戒入力は受け付けません。

分リセット入力
設定/ライブ/録画/再生/検索モード時に、分リセット入力として設定された入力端子に分リセット入力信号が入ると、強制的に00分00秒に時計がリセットされます。30分未満の場合は切り捨て、30分以上の場合は切り上げされます

秒リセット入力
設定/ライブ/録画/再生/検索モード時に、秒リセット入力として設定された入力端子に秒リセット入力信号が入ると、強制的に00秒に時計がリセットされます。30秒未満の場合は切り捨て、30秒以上の場合は切り上げされます

マルチ入力
マルチ入力として設定された入力端子にマルチ入力が入ると、
マルチ設定がされている全てのチャンネルでアラーム録画を行います。

画面切替
この信号が入る度に表示するCHと画面モードを切り替えます。

② **汎用出力端子**
外部への出力信号線を接続する端子です。詳しくは53ページの「**9-11 出力端子設定**」をご覧ください。

③ **アラーム出力端子**
アラーム入力が入ったときに、この端子からアラーム信号を出力します。（アラーム入力の終了直後約2秒間出力します）
N.O.-COMまたはN.C.-COMを選択できます。
N.O.-COM・・・ ａ接点出力端子（N.O.端子とCOM端子に接続したとき）
N.C.-COM・・・ ｂ接点出力端子（N.C.端子とCOM端子に接続したとき）

④ **RS-485端子**
PTZカメラをコントロールするときに接続します。

⑤ **モニター１映像出力端子（RCA端子）**
モニターへの映像出力端子です。
設定/ライブ/録画/再生/検索モードのすべての映像、文字情報をモニターに表示しますので、通常の監視用としてお使いください。
文字情報は消去することもできます。（詳しくは21ページ「●画面の文字を消す」をご覧ください）

モニター２映像出力端子（RCA端子）
モニターへの映像出力端子です。
モニター１と同様にすべての映像、文字情報を表示したり、ライブ表示のみの映像をモニターに表示するなど、設定を選択することができます。（詳しくは62ページ「●モニター２の設定」をご覧ください）

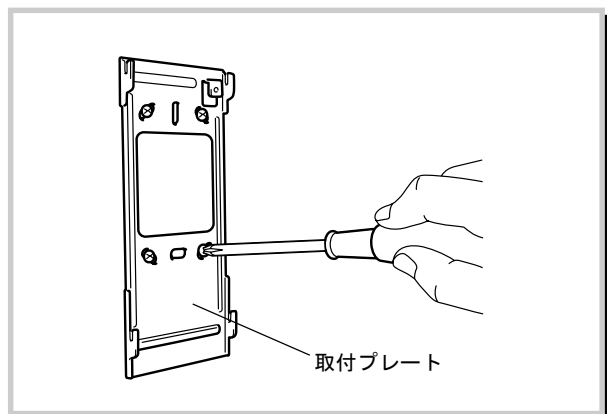
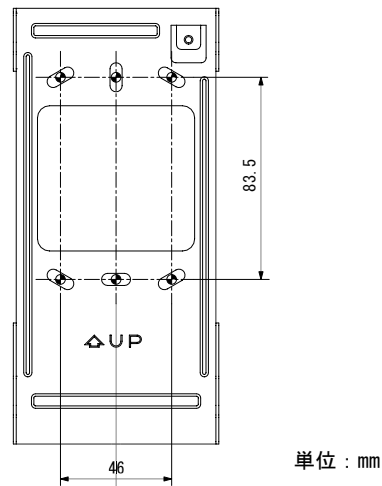
⑥ **チャンネル１映像入力端子（BNC端子）**
コンポジット信号の映像入力端子です。監視カメラからの画像を入力します。

チャンネル２映像入力端子（BNC端子）
チャンネル１と同様です。

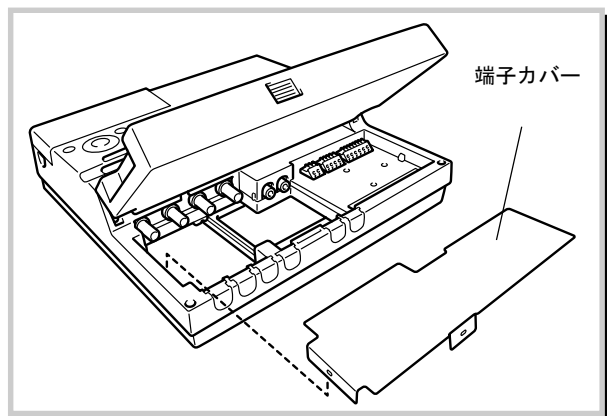
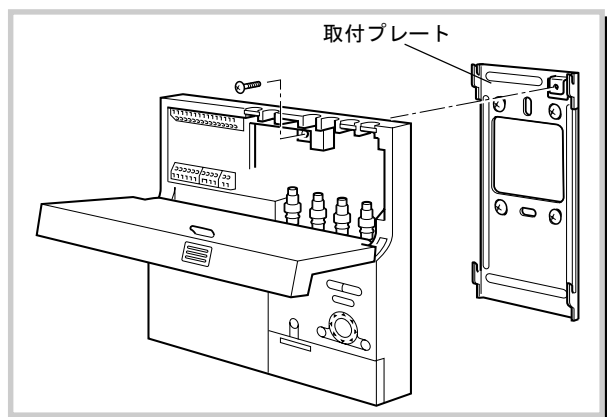
チャンネル３映像入力端子（BNC端子）
チャンネル１と同様です。

チャンネル４映像入力端子（BNC端子）
チャンネル１と同様です。

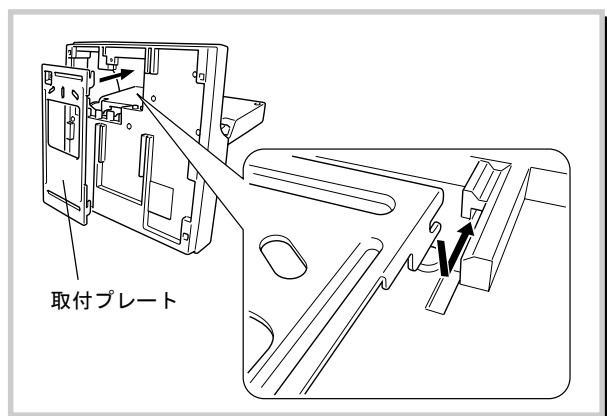
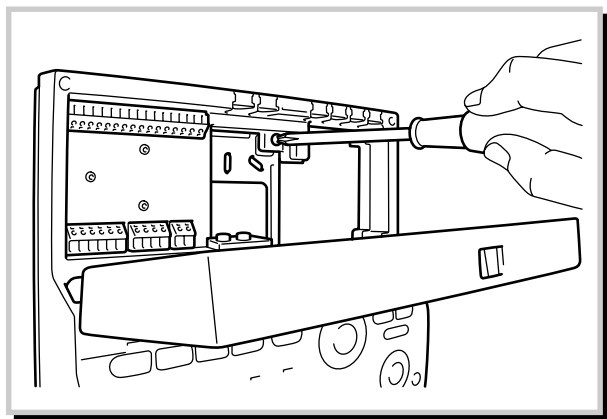
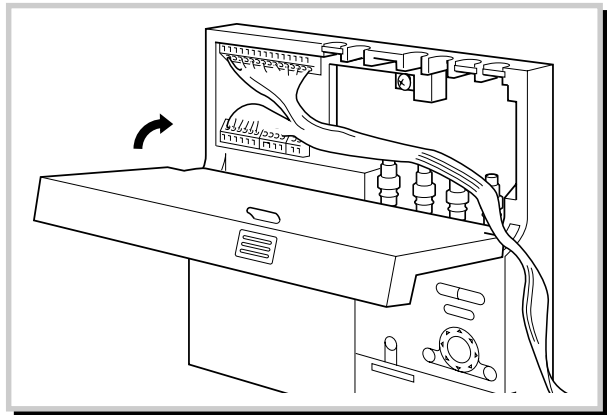
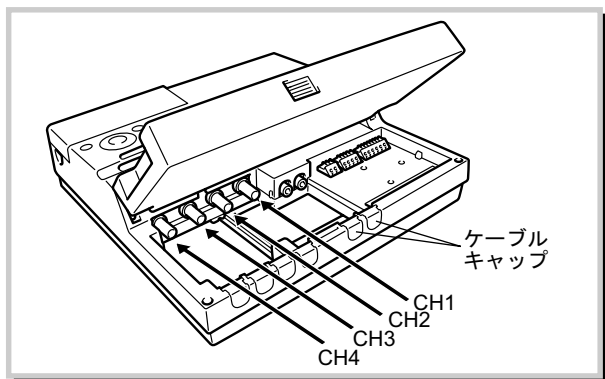
1-3 設置と接続

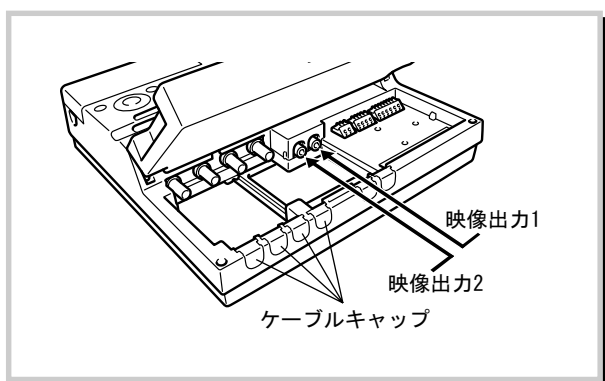
1-3-1 壁面への固定

1 取付プレートを壁面にネジで固定します。
下記のネジの取付ピッチ図を参照してください。

ネジの取付ピッチ図

注 意 壁面への取付の際は、壁面に対して付属のネジでしっかりと固定してください。不十分な取付ですと、本体の落下による破損、及び周囲の人が傷害を負う可能性がありますので注意してください。

注 意 本体は垂直の壁面に取り付けるか、水平の台・机などの上に置いてご使用ください。
下記の値を超えるような斜め角度の取付・設置はハードディスク故障の原因となりますので絶対におやめください。
水平角度(卓上設置)：0±5°（前後左右）
垂直角度(壁面設置)：90±5°（前後左右）
水平方向（卓上設置）の場合、本体前面（液晶モニター、操作スイッチのある面）が上を向くように設置してください。
垂直方向（壁面設置）の場合、液晶モニターが上側に位置するように設置してください。

2 本体内部の端子カバーを取り外します。

3 本体の上部を起こしてから、本体背面の凹部と取付プレートの凸部をかみ合わせます。

メ モ　本体を壁面に取り付ける時は、天面との間に20mm程度のクリアランスを確保してください。
特に本体を設置した後、他の機器を本体の上方にクリアランスなく設置されますと、本体の取り外しができなくなりますのでご注意ください。

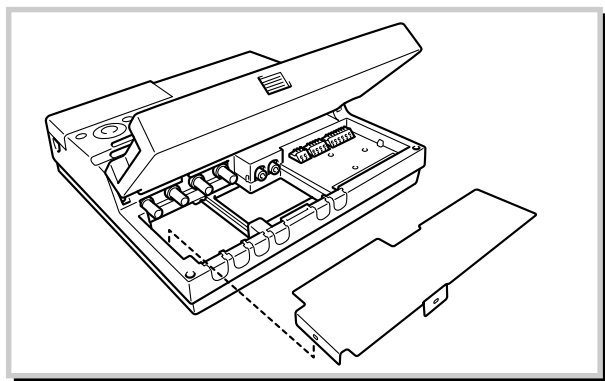
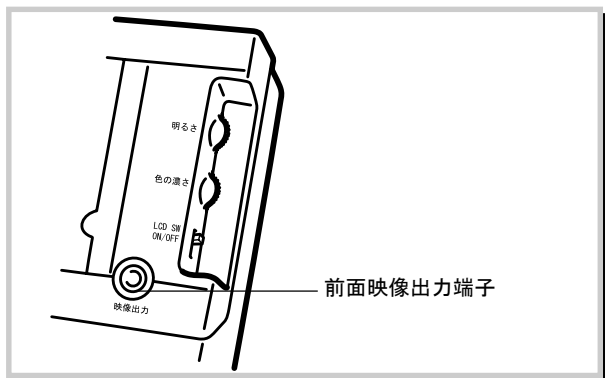
注 意　本体上部は閉じた状態から約95°まで起こすことができますが、約95°以上の角度に起こしたり、本体上部自体に無理な力を掛けないでください。本体の破損の原因となりますのでご注意ください。

4 本体を取付プレートにネジで固定します。

5 配線が完了したら、本体上部を閉めます。

1-3-2　カメラとモニターの接続

1 チャンネル1～4にカメラからの出力端子を差し込みます。必要によりケーブルキャップ（6箇所）を取り外してください。

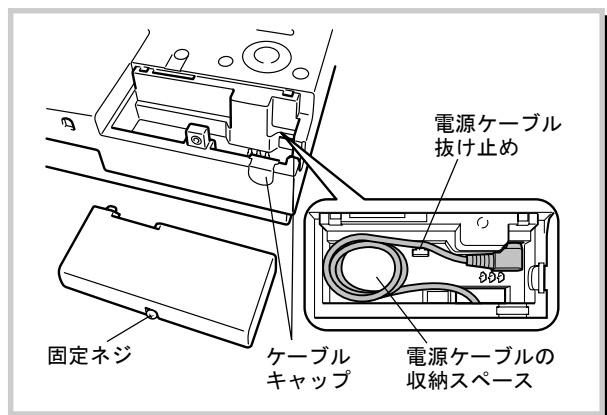
注 意　本体上部は閉じた状態から約95°まで起こすことができますが、約95°以上の角度に起こしたり、本体上部自体に無理な力を掛けないでください。本体の破損の原因となりますのでご注意ください。

2 必要により、モニターを接続してください。

・映像出力1は、本体の液晶モニターとまったく同じ内容を出力します。ライブ表示、再生、セットアップメニューなどすべての内容がそのまま出力されます。

・映像出力2は設定により、以下の表示方法を選択できます。

1. モニター1と同様に設定／ライブ／録画／再生／検索モードのすべての映像、文字情報をモニターに表示
2. ライブ表示のみの映像をモニターに表示
3. ライブ／録画モードの映像、文字情報をモニターに表示

3 端子カバーを取り付けます。

1-3-3　外部モニターの配線

1 前面映像出力端子にビデオケーブルを差し込み、テレビモニターなど外部モニターと接続します。
この端子は上記 映像出力端子（映像出力1）と同じ機能です。

1-3-4　電源ケーブルの接続

1 固定ネジを緩めて、カバーをスライドして外します。

2 ケーブルを出す方向に応じて、下側か右側のケーブルキャップを取り外してください。または背面側にケーブルを通してください。

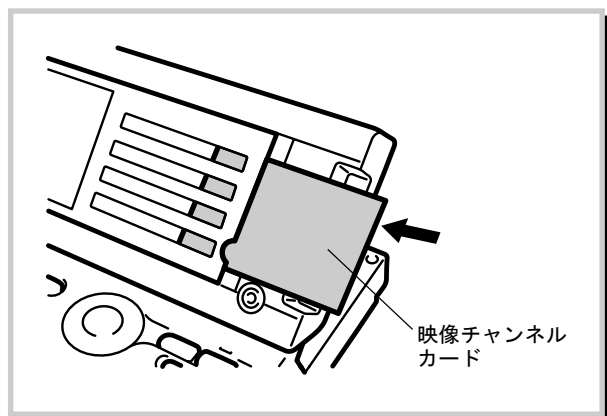
3 電源ケーブルを接続します。

4 電源ケーブルを抜け止めに通します。

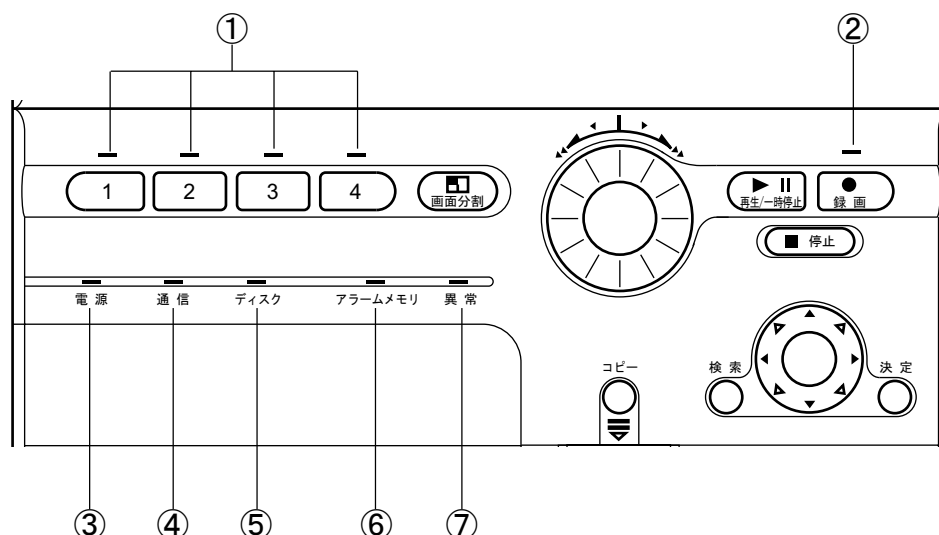
> メモ　電源ケーブルに余裕がある場合は、束ねて空きスペースに収納します。

5 電源が投入されます。最初は液晶モニターにOptexロゴとソフトウェアバージョン、搭載されているハードディスクの容量が表示されます。
起動すると自動的にライブ表示モードになり、画面右上に「ライブ」と表示されます。
前回電源オフの時に表示していたチャンネルのライブ映像が表示されます。

> メモ　本体を壁面に取り付ける時は、底面との間にカバー固定ネジにドライバーが入る程度のクリアランスを確保してください。
> 特に本体を設置した後、他の機器を本体の下方にクリアランスなく設置されますと、カバーの取り外しができなくなりますのでご注意ください。

1-3-5　映像チャンネルカードの差し替え

1 チャンネル1～4にどこのカメラが接続されているかを、文字で表示できます。

2 付属品として同梱されております映像チャンネルカードに記入し、図のように差し込んでください。

1-4 LED表示のみかた

①カメラCH
セットアップメニュー/カメラ設定で固定カメラかPTZカメラに設定されているカメラCHのLEDは緑色に点灯します。
またフル画面表示されているカメラCHのLEDは緑色に点滅します。
セットアップメニュー/カメラ信号無時処理でエラーに設定し、カメラ信号なしエラーが発生したカメラCHのLEDは橙色に点滅します。
カメラなしで設定されたカメラCHのLEDは点灯しませ
ん。

②録画
録画及び監視状態の時は赤色に点灯し、監視開始遅延時間中は、赤色に点滅します。

③電源
電源が入っているとき、緑色に点灯します。

④通信
外部機器との通信をしているとき、緑色に点灯します。
この機能は、現在使用できません。

⑤ディスク
内蔵ハードディスクが動作しているとき、緑色に点滅します。

⑥アラームメモリ
アラームによる画像記録があったとき、橙色に点滅します。一旦、監視状態を停止し、再び監視状態に入ると消灯します。

⑦異常
本体に異常が発生したとき、赤色に点滅します。

1-5 液晶モニターのみかた

フル画面

チャンネル番号
　表示中のチャンネル番号を表します。

チャンネル名称
　表示中のチャンネルに付けられた名称です。
　セットアップメニューで変更できます。

モード
　ライブ、再生、録画、タイマーのいずれかで現在のモードを表示します。

本体名称
　本体に付けられた名称です。セットアップメニューで変更できます。

日付・時刻
　現在の年／月／日、時：分：秒を表示します。時刻は24時間で表示します。

4分割画面

チャンネル1
　チャンネル1のカメラの映像を表示します。

チャンネル2
　チャンネル2のカメラの映像を表示します。

チャンネル3
　チャンネル3のカメラの映像を表示します。

チャンネル4
　チャンネル4のカメラの映像を表示します。

※モード、本体名称、日付・時刻はフル画面と同様です。
※チャンネル名称は4分割画面では表示されません。カメラ番号が表示されます。
※PTZカメラが接続されているチャンネルで、複数のチャンネルが割り付けされている場合、チャンネル番号が小さい順にシーケンス表示します。（ただし、シーケンス表示するためには、セットアップメニューーライブ設定ー切替間隔の設定を「なし」以外に設定されている必要があります。）
※４分割画面表示状態でアラーム入力があったときは、そのチャンネルがフル画面表示されます。（ただし、ライブ設定の画面保持時間が「なし」以外に設定されているチャンネルに限ります。詳しくは42ページ「9-4　ライブ設定」をご覧ください。）

再生画面

チャンネル番号
　再生している画像を撮影したチャンネルの番号です。

チャンネル名称
　再生中のチャンネルに付けられた名称です。
　セットアップメニューで変更できます。

イベント
　何によって記録された映像かを示します。
　常時録画、アラームなどが表示されます。

日付・時刻
　記録された日付です。年／月／日、時：分：秒を表示します。
　時刻は24時間で表示します。

再生方向
　順方向（❯）か逆方向（❮）を表示します。
　次の画像を検索中は順方向（❯❯）か逆方向（❮❮）を表示します。
※次のイベントの表示に時間がかかる場合は、画像が停止しているように見えます。
　正常な状態です。そのままお待ちください。

再生速度
　最高速（03000）から最低速（00001）まで再生速度を数値で表示します。
※再生速度を表わす数値は、1秒あたりに表示する画像枚数を示します。

2 録画方法と録画時間設定の説明

2-1 監視状態と録画時間設定

本体は監視状態で、設定された録画時間になると自動的に録画動作を開始します。

2-1-1 ライブ状態から監視状態への切替方法

ライブ状態から監視状態へは、次の2通りの方法で切替ができます。
① 「録画」ボタンを押す
② 「入力端子」に「警戒」入力がある

メモ
・キースイッチや警備システムと連動させてライブ状態と監視状態の切替を行うときに、「警戒」入力を利用します。
・「パニック録画」はライブ状態、監視状態に関わらず、いつでも録画動作をします。

「9-10 入力端子設定」P50

2-1-2 監視開始遅延時間

監視開始遅延時間が設定されている場合、2-1-1の監視状態への切替を行っても、すぐには監視状態に入りません。画面上に監視状態の開始時間が表示され、その時間になると監視状態へ自動的に変わります。

メモ 監視切替操作をした人自身が、監視区域から退出する余裕時間を与えるものです。

「9-13 システム設定」●監視開始遅延時間の設定 P59

2-1-3 画面とLEDの表示

ライブ状態から監視状態へ切替わったとき、次のように表示が変化します。
① 画面右上の「ライブ」表示が、「録画」または「タイマー」の表示に変わります。
② 「録画」LEDが赤色に点灯します。
その時間が「録画時間設定」で決められた録画時間であれば、直ちに「録画」を開始します。監視状態であれば「タイマー」が表示されます。

「9-9 録画・保守時間設定」P47

メモ
・「タイマー」の表示が出ているときは、監視状態ですから、「常時録画」「アラーム録画」「プリ録画」を行いません。設定された録画時間になると、自動的に「常時録画」、アラーム入力があれば「アラーム録画」「プリ録画」を開始します。
・セットアップメニュー/パニック録画でパニック設定をしていればライブ状態および監視状態でも、「パニック録画」動作は行います。

2-1-4 録画時間設定

曜日、時間に応じて2種類の録画モード（モード１、モード２）に切り替わるように設定することができます。モード１、モード２のいずれかに設定していない時間帯では、監視状態に切り替えても「常時録画」「アラーム録画」は行われず、「タイマー」という表示とともに監視状態になります。

「9-9 録画・保守時間設定」P47

2-2　録画の種類

録画には「パニック録画」「常時録画」「アラーム録画」の3種類があります。「アラーム録画」および「パニック録画」には、アラームおよびパニック入力直前の画像を録画する「プリ録画」を付加することもできます。

メモ　「常時録画」「アラーム録画」は、2-1の監視状態で「録画時間設定」の時間内のみ働きます。　「パニック録画」は、ライブ状態および監視状態に関わらず、入力端子に「パニック」入力があったときはいつでも働きます。
録画設定時間以外で緊急の録画が必要と想定される場合は、パニック録画の設定をお奨めします。

2-2-1　パニック録画

入力端子にパニック入力があった場合、自動的に録画します。
ライブ状態や監視状態に関わらず、いつでも録画します。

「9-5 パニック録画設定」P43

2-2-2　常時録画

アラームやその他の入力の有無に関わらず、一定の速度と画質で録画し続けます。
録画速度と画質はチャンネルごとにセットアップメニューで設定します。

メモ　録画時間の設定で曜日、時間によって2種類の組合せを選択することができます。その2種類の組合せをモード１、モード２と呼んでいます。

「9-6 モード1(モード2)常時録画設定」P43

2-2-3　アラーム録画

入力端子にセンサーからのアラーム入力があった場合、自動的に録画します。
録画速度と画質、アラームが起こってからの録画時間(ポスト時間)などは、チャンネルごとにセットアップメニューで設定します。常時録画とは異なる設定も可能です。

「9-7 モード1(モード2)アラーム録画設定」P44～45

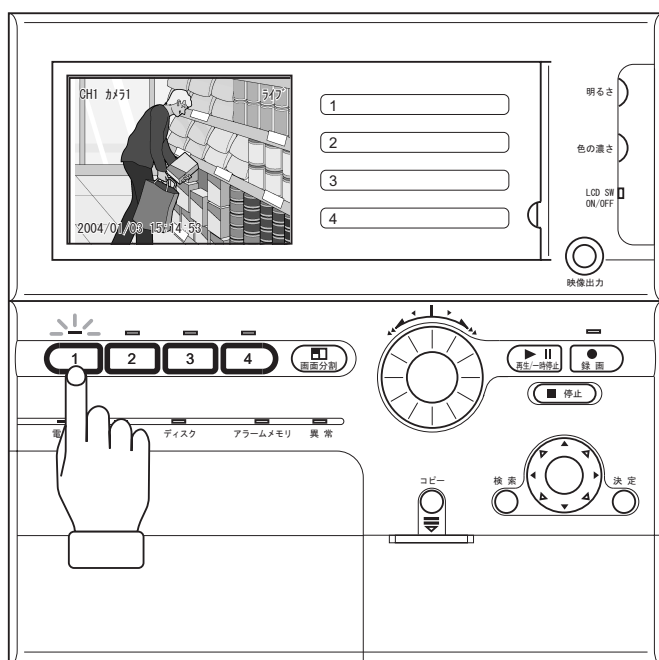
2-2-4　プリ録画

アラームおよびパニックが起こる直前の画像を録画します。録画速度と画質、録画枚数はチャンネルごとにセットアップメニューで設定します。「アラーム録画」および「パニック録画」とは異なる設定も可能です。

「9-8 モード1(モード2)プリ録画設定」P46

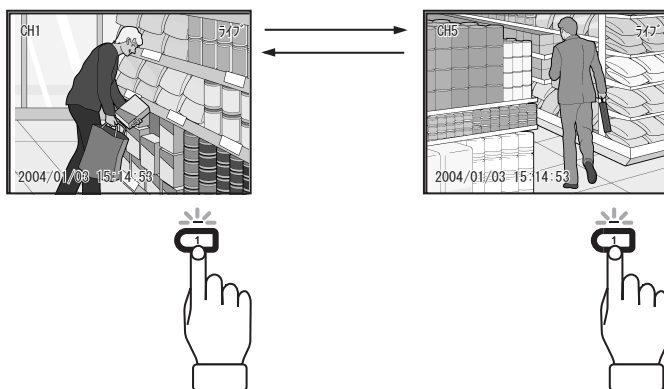
メモ　パニック録画に付加するプリ録画画像は、録画状態でパニック入力があった時のみ付加されます。
ライブ状態および監視状態で発生したパニックには、プリ録画は付加しません。

3 カメラからの映像をライブ表示する

3-1 チャンネルを指定して表示する

1～4のチャンネル選択ボタンをひとつ押します。

そのチャンネルに該当するカメラからの映像がモニターに表示されます。
また、押したチャンネル選択ボタンのLEDが緑色に点滅します。

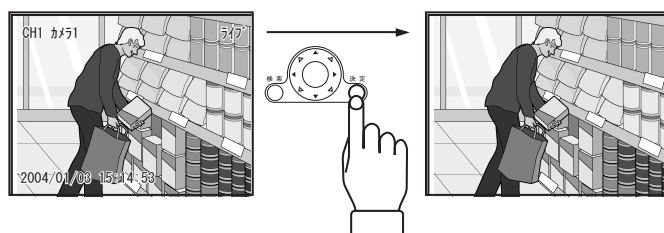
メモ
- 映像が暗いときやはっきりしないときは、モニターの明るさや色の濃さを変えてください。
- カメラが接続されていないチャンネルは、映像が映りません。画面は黒い状態です。
- 接続されていたカメラからの映像が途切れた場合は、モニターに”カメラ信号なし”とエラーメッセージが表示され、アラームが鳴ります。ただし、セットアップメニューのカメラ設定で「カメラ信号なし時処理」が「無視」になっているときは、エラー表示されません。
- 不要な消耗を避けるため、液晶モニターを使用しないときはLCDスイッチをOFFにしてください。
- 液晶モニターを長時間表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。

●PTZカメラを接続している時

PTZカメラを接続しているときは、チャンネル選択ボタンを押すことでチャンネルの表示を切り替えることができます。

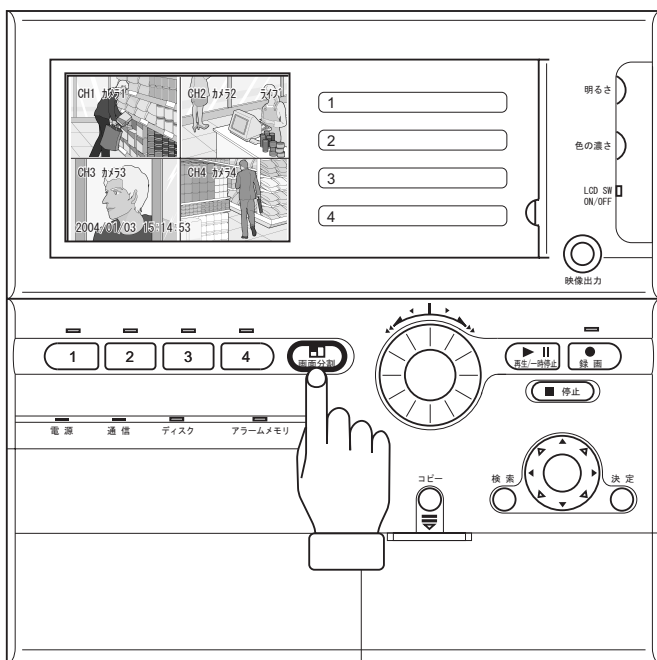
PTZカメラに割り付けたCHを下記のチャネル番号切り替え表に対応するチャンネル選択ボタンを押すことでフル画面表示ができます。

チャンネル番号切り替え表

チャンネル5 ⇔ チャンネル1：チャンネル選択ボタン1 により切り替え
チャンネル6 ⇔ チャンネル2：チャンネル選択ボタン2 により切り替え
チャンネル7 ⇔ チャンネル3：チャンネル選択ボタン3 により切り替え
チャンネル8 ⇔ チャンネル4：チャンネル選択ボタン4 により切り替え

●画面の文字を消す

決定ボタンを3秒以上押し続けると、画面の日付、チャンネル、カメラ名称などの全ての文字が消えます。

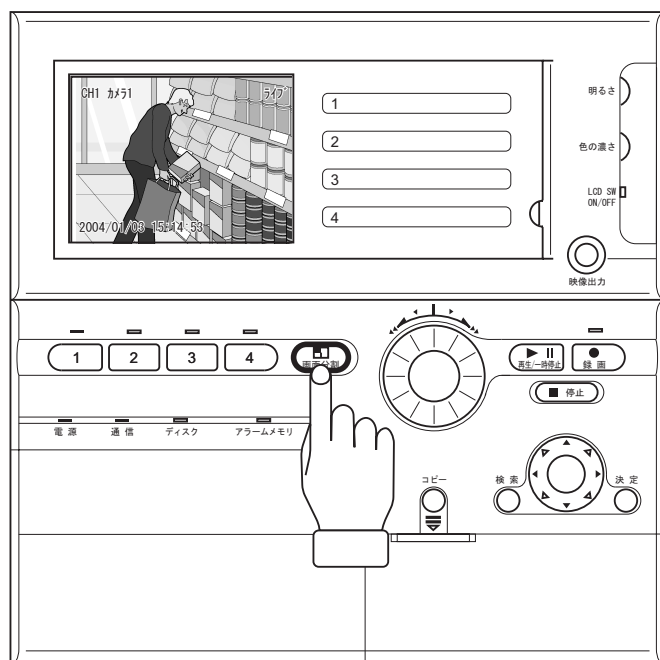
もう一度決定ボタンを3秒以上押し続けると、元の表示に戻ります。

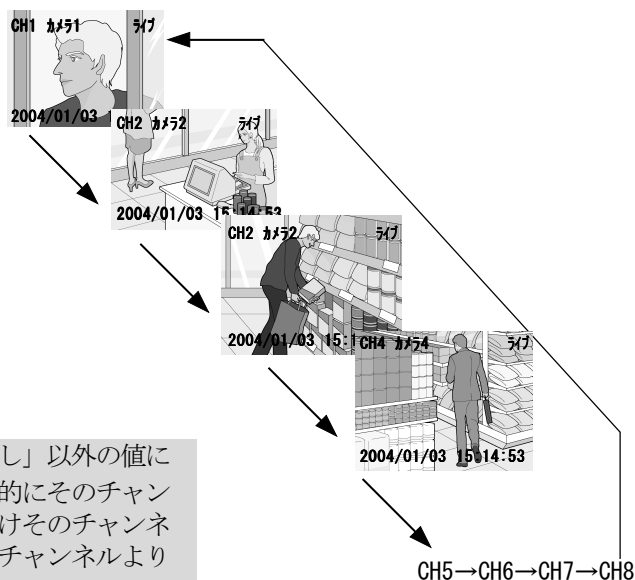
3-2 分割表示する

ひとつのカメラからの映像が表示されているときに、画面分割ボタンを押します。

モニターが4分割され、チャンネル1～4のカメラからの映像が表示されます。

PTZカメラが接続されている時
セットアップメニューのライブ設定で切り替え間隔を設定していれば、設定された時間ごとにPTZカメラに割り付けしたチャンネルを画面分割上の接続チャンネルに、PTZカメラ設定CHの番号が小さい順に表示していきます。

メモ ライブ設定のアラーム動作時の画面保持時間を「なし」以外の値に設定したチャンネルにアラーム入力が入ると、自動的にそのチャンネルに切り替わり、あらかじめ設定した保持時間だけそのチャンネルの表示を保持します。その後、4分割画面に戻ります。

3-3 シーケンス表示をする

4分割表示がされているときに、画面分割ボタンを押します。
シーケンス表示モードに入ります。
セットアップメニューのライブ設定の切替間隔で設定した時間がたつと、チャンネル１～８の順に自動的に表示が変わります。チャンネル８の次は、チャンネル１に戻ります。
シーケンス表示モードは、チャンネル1～4または画面分割ボタンを押すことで終了します。

メモ 「カメラなし」に設定されているチャンネルは表示されません。また、チャンネル5～8はチャンネルとして割り付けたときのみ表示されます。

メモ ライブ設定のアラーム動作時の画面保持時間を「なし」以外の値に設定したチャンネルにアラーム入力が入ると、自動的にそのチャンネルに切り替わり、あらかじめ設定した保持時間だけそのチャンネルの表示を保持します。その後、切り替わる直前のチャンネルより順番にチャンネルを切り替えます。

4 ライブ表示中にPTZカメラを操作する

ライブ表示中に、接続されているPTZカメラを操作します。
あらかじめチャンネルに割り付けられている位置にカメラを向けることができます。
また、映像を見ながらカメラの向きを任意に変えることができます。

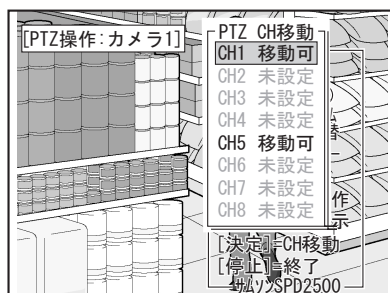
4-1 PTZカメラに割り付けた各CHの位置に変える

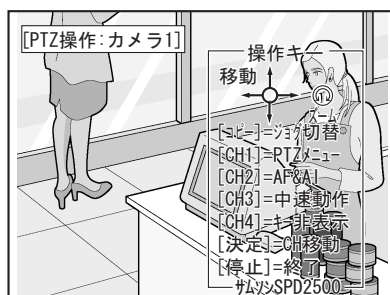
1 PTZカメラが接続されている場合にPTZカメラに接続されているチャンネル選択ボタンを3秒以上押し続けると、PTZカメラ操作モードに変わります。

メモ 利用者パスワードが設定されているときは、利用者パスワードを入力してください。

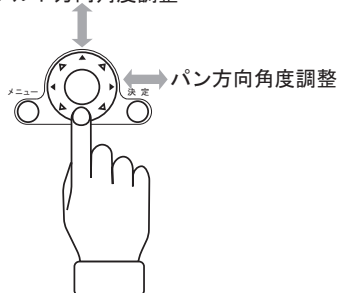
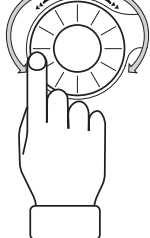
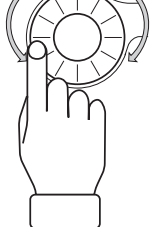
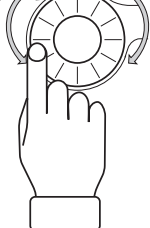
「8 パスワードについて」P37
「●パスワードの設定」P69

2 決定ボタンを押します。
PTZ CH移動ポップアップが表示されます。

メモ PTZカメラ操作モードから何か項目を選択することにより、新たなメニュー画面が現れます。このメニュー画面をポップアップと呼びます。

3 「移動可」になっているチャンネルから、表示するチャンネルを選び、決定ボタンを押します。

カメラの向きなどがチャンネルに設定されている状態に変わります。

4 終了するときは停止ボタンもしくは検索ボタンを押します。カメラの状態はそのままで、PTZカメラ操作モードを終了します。

4-2 PTZカメラの向きや倍率を変える

メモ ここではライブ表示中の操作を説明します。PTZカメラの向きを変更しても録画はできません。録画をしたいときは、セットアップメニューのカメラ設定でPTZカメラにチャンネルを割り付け、各録画設定を行ってください。

1 PTZカメラが接続されている場合にPTZカメラ接続のチャンネル選択ボタンを3秒以上押し続けると、PTZカメラ操作モードに変わります。

メモ 利用者パスワードが設定されているときは、利用者パスワードを入力してください。

➡ 「8 パスワードについて」P37
➡ 「●パスワードの設定」P69

カメラ側の設定内容を変更する場合にはチャンネル選択ボタン1を押します。ここでの操作はPTZカメラの取扱説明書を参照ください。チャンネル選択ボタン1をもう一度押すと操作キーメニューに戻ります。

2 上下左右ボタンを押すと、カメラの方向や角度が変化します。
上や下に向かって押すと、カメラをチルト方向に操作できます。
左や右に向かって押すと、カメラをパン方向に操作できます。
上下左右ボタンを押したときのカメラの移動速度を変えるときは、チャンネル選択ボタン3を押します。押すたびに「中速動作」→「高速動作」→「低速動作」の順に変わります。

メモ 操作メニューがあるため見えにくい場合は、チャンネル選択ボタン4を押すと、操作キーメニューを非表示にできます。再度チャンネル選択ボタン4を押すと操作キーメニューの表示が戻ります。

3 ジョグダイアルをまわすと、拡大縮小ができます。
時計回りで、ズームインします。
反時計回り、ズームアウトします。

4 焦点位置を前後させるときは、コピーボタンを押してジョグダイアルの機能を「焦点」に変えてから、ジョグダイアルをまわします。
時計回りで、近くに焦点を移動します。
反時計回りで、遠くに焦点を移動します。

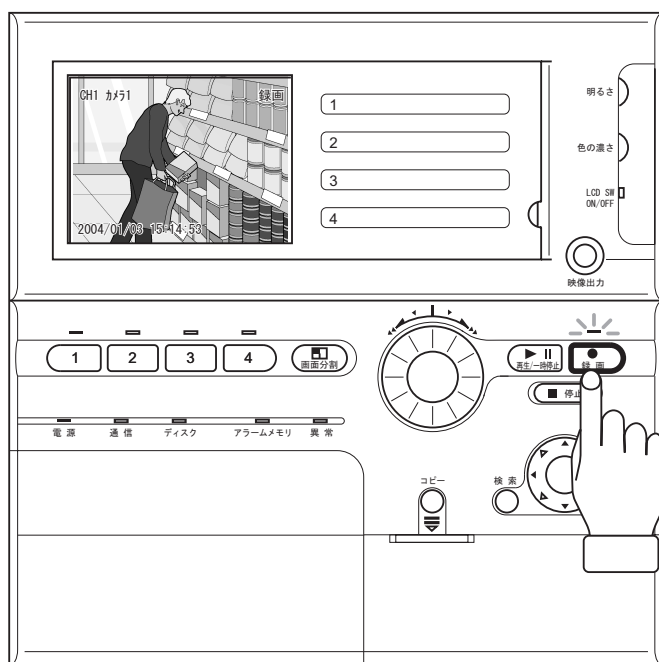
絞りを開く　絞りを閉める

5 絞りを調整するときは、コピーボタンを押してジョグダイアルの機能を「絞り」に変えてから、ジョグダイアルをまわします。
時計回りで、絞りを閉じます。
反時計回りで、絞りを開きます。

6 オートフォーカスとオートアイリスを行うときは、チャンネル選択ボタン2を押します。

7 終了するときは、停止ボタンもしくは検索ボタンを押します。

5 監視状態に入り録画を開始する

監視状態から各種録画を開始します。

1 録画ボタンを押すと監視状態に入ります。録画時間設定により次のいずれかの表示になります。
「録画」　録画時間設定が「ON」の時間帯であればすぐに録画状態となり、常時録画またはセットアップメニューでアラーム録画設定を行いかつアラーム入力があれば、アラーム録画を開始します。
「タイマー」　録画時間設定が「OFF」の時間帯であれば、監視状態となります。録画時間になるまでは常時録画もアラーム録画も開始しません。

画面右上に録画中は「録画」、監視状態では「タイマー」と表示されます。
録画中および監視状態では録画のLEDが赤色に点灯します。

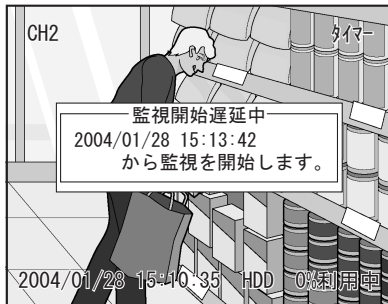
メモ
- セットアップメニューで録画時間設定がオフになっていたり、モード1常時録画、モード2常時録画の設定がオフになっているときは、録画ボタンを押しても録画できません。設定を確認してください。

  「モード1（モード2）常時録画設定」 P43
- 録画中にパニック入力があると、パニック録画を優先して実行します。パニック入力端子の配線とパニック録画の設定が必要です。同様に、アラーム入力があると、アラーム録画を優先して実行します。アラーム入力端子の配線とモード1（モード2）アラーム録画の設定が必要です。
- 「常時録画」「アラーム録画」は、2-1の監視状態で「録画時間設定」の時間内のみ働きます。
  「パニック録画」は、ライブ状態および監視状態に関わらず、入力端子に「パニック」入力があったときはいつでも働きます。
  録画設定時間以外で緊急の録画が必要と想定される場合は、パニック録画の設定をお奨めします。

2 停止ボタンを押して監視状態を停止します。このとき録画中であれば録画を停止します。
画面右上に「ライブ」と表示され、ライブ表示モードに戻ります。
録画モードでは、他のボタンも使用できます。
（例：チャンネル選択ボタン、画像分割ボタンなど）

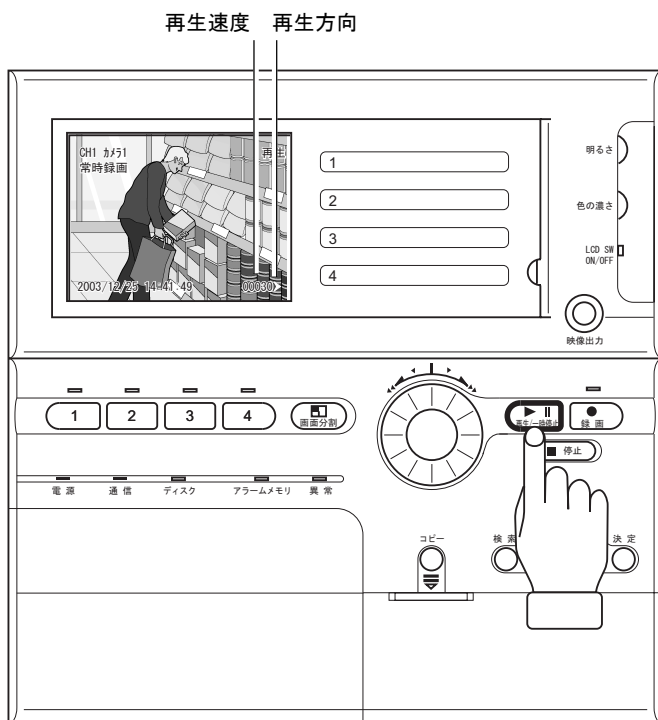
メモ
ハードディスクがいっぱいになると、録画は自動的に停止するか、またはハードディスクの設定によってはハードディスクの記録内容を最初から上書きします。
セットアップメニューでHDD利用率を表示する設定になっているときは、録画中は画面右下に「HDD ■%利用中」と表示されます。
■には利用率の数値が入ります。
●ハードディスクの利用率を表示する P70
HDDの利用率が90%以上になると、「HDD ■%利用中」の表示が反転します。
また、上書なし設定の時は100%になると、エラーメッセージが表示されます。

メ モ	停止ボタンを押してもハードディスクへのデータ書込みに時間がかかり、すぐに「ライブ」状態へ戻らない場合があります。 約10秒間で「ライブ」状態に戻りますので、しばらく待ってから次の操作を行ってください。

●監視開始遅延時間が設定されている場合

セットアップメニューのシステムで監視開始遅延時間が設定されている場合は、その時間が過ぎてから監視を開始します。
このとき、上記手順1.で録画ボタンを押すと、待機中を示すメッセージが表示され、録画のLEDが赤色に点滅します。
設定された監視開始遅延時間が過ぎると、メッセージは消去され、監視を開始します。

メ モ	監視開始遅延時間を待たずにすぐに監視を開始する場合は、メッセージ表示中にもう一度録画ボタンを押してください。メッセージを消去して監視を開始します。

6 再生する

6-1 チャンネルを指定して再生する

1 チャンネル選択ボタンを押します。

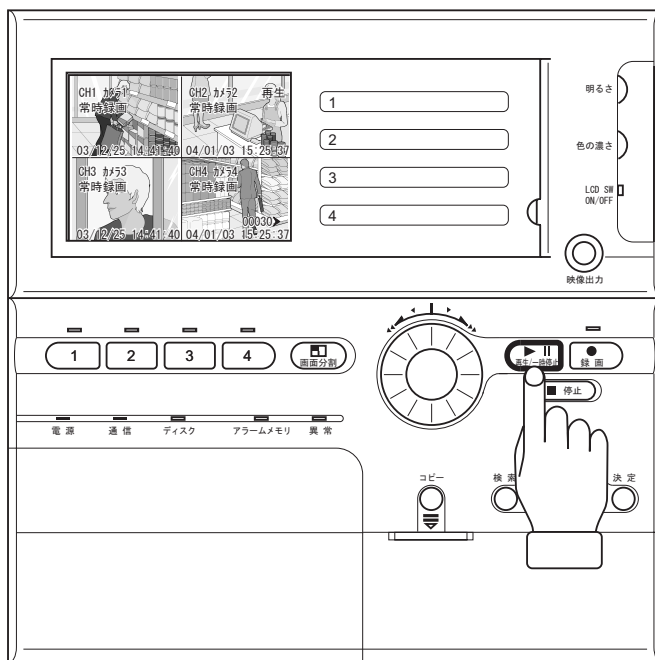
メモ 複数のチャンネルを選択したまま（シーケンス表示モードなど）再生を始めると複数のチャンネルの画像が交互に表示され見難いことがあります。
その場合は1つのチャンネルを選択してください。

2 録画や設定を行っていないことを確認し、再生／一時停止ボタンを押します。
選択したチャンネルのカメラで録画した画像を再生します。
モニタには再生方向と再生速度が表示されます。標準では「00001」の順方向で再生されます。

メモ セットアップメニューのシステム「自動再生位置」によって、録画開始の位置から再生するか、最後のイベントから再生するかを変更できます。

3 再生中にチャンネル選択ボタンを押すと、指定したチャンネルのカメラで同時刻に録画した映像に変わり、再生されます。
PTZカメラのチャンネル5〜8にチャンネルが割り当てられているとき以下の動作をすると同時刻にPTZカメラに割り付けたチャンネルで録画した画像が再生されます。
チャンネル5･･チャンネル選択ボタン1を2回押す。
チャンネル6･･チャンネル選択ボタン2を2回押す。
チャンネル7･･チャンネル選択ボタン3を2回押す。
チャンネル8･･チャンネル選択ボタン4を2回押す。

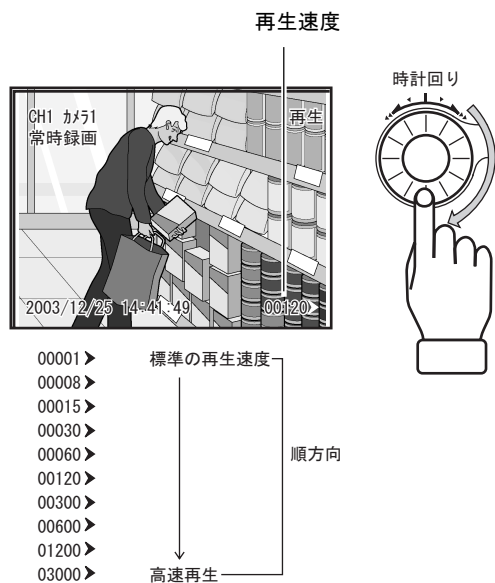
メモ
- 映像が記録されていない場合は、「画像がありません」とメッセージが表示されます。また、最後の映像を再生したあとは、再生速度の上に「最新」と表示されます。
- PTZカメラのチャンネル５〜チャンネル８に割り当てられている時、PTZカメラに割り付けたチャンネルの画像再生時はライブ中に、下記操作をすることによってフル画面表示させて、再生/一時停止ボタンを押すと、そのチャンネルで録画された画像が表示されます。
  チャンネル5･･チャンネル選択ボタン1を2回押す。
  チャンネル6･･チャンネル選択ボタン2を2回押す。
  チャンネル7･･チャンネル選択ボタン3を2回押す。
  チャンネル8･･チャンネル選択ボタン4を2回押す。
- 再生中に決定ボタンを3秒以上押し続けると、画面の日付、チャンネル、カメラ名称などの全ての文字が消えます。もう一度決定ボタンを3秒以上押し続けると、元の表示に戻ります。

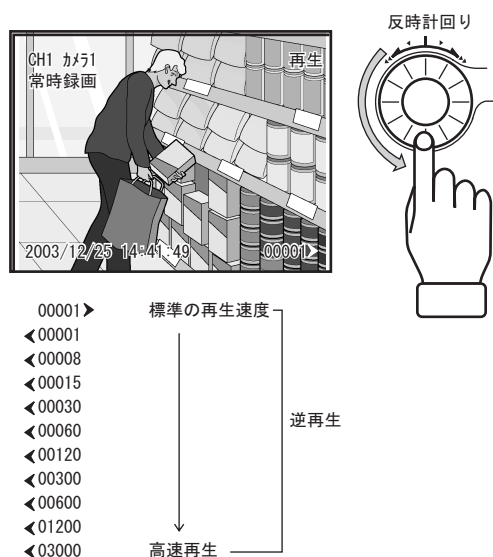
6-2　4分割表示で再生する

1 画面分割ボタンを押します。
4分割表示に変わります。

2 録画や設定を行っていないことを確認し、再生／一時停止ボタンを押します。
チャンネル１～4のカメラからの映像でセットアップメニュー/システム/自動再生位置で設定した録画位置から再生されます。

PTZカメラで複数のチャンネルを設定し、録画した場合、画面分割上のPTZ接続CHに設定された複数のチャンネルが順に再生されていきます。

3 停止するときは、停止ボタンを押します。
画面右上に「ライブ」と表示され、ライブ表示モードに戻ります。

6-3 再生速度や方向を変える

1 早送りをするときは、再生中にジョグダイアルを時計回りに1ステップ回します。
再生速度が速くなります。
引き続き時計回りに回すとさらに速くなります。画面上の再生速度の数値は図のように大きくなります。

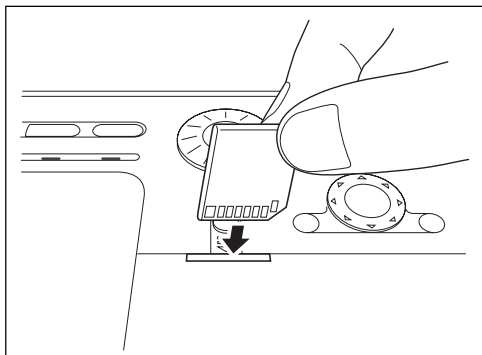
2 スロー再生をするときは、再生中にジョグダイアルを反時計回りに1ステップ回します。
再生速度が遅くなります。
引き続き反時計回りに回すとさらに遅くなります。画面上の再生速度の数値は図のように小さくなります。

3 逆方向で再生するときは、スロー再生からさらにジョグダイアルを反時計回りに回します。
標準速度の順再生から逆再生（⮜00001）になり、さらに高速の逆再生に変ります。

6-4 一時停止とコマ送り

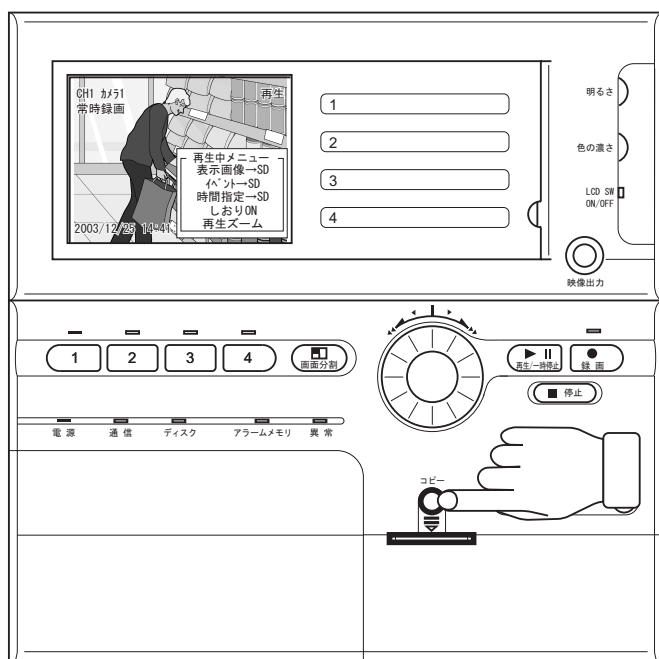
1 再生中に、もう一度再生／一時停止ボタンを押すと、再生画像を一時停止します。再生速度は「00000」と表示されます。

2 一時停止中にジョグダイアルを回すと、コマ送りができます。
時計回りにまわすと、1コマ後の静止画像を表示し、回すたびに次のコマを表示します。
反時計回りに回すと、1コマ前の静止画像を表示し、回すたびに前のコマを表示します。
ジョグダイヤルを速く回すと、コマ送り速度は速くなります。

6-5 静止画をSDメモリーカードにコピーする

再生画像の中に残しておきたい画像があったときは、静止画としてSDメモリーカードにコピーします。
前面のSDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを奥まで挿入してください。
取り出すときは、コピーが終了したことを確認してから、SDメモリーカードを抜き取ってください。

SDメモリーカードを挿入する場合、挿入の方向が正確であることを確かめてください。
SDメモリーカードのラベル部を上にしてSDメモリーカードスロットに差し込みます。

注意　本機ではSDメモリーカードのライトプロテクトのロック（LOCK）は機能しません（コピーします）。

●表示画像のコピー

1 SDメモリーカードを差し込みます。

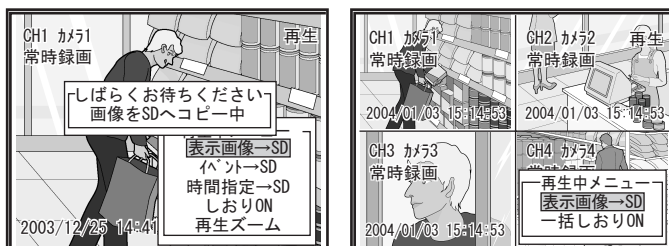
2 再生中に再生／一時停止ボタンを押して一時停止します。

3 ジョグダイアルを回して、コピーする静止画を選択します。

4 コピーする静止画が表示された状態で、コピーボタンを押します。再生中メニューが表示されます。

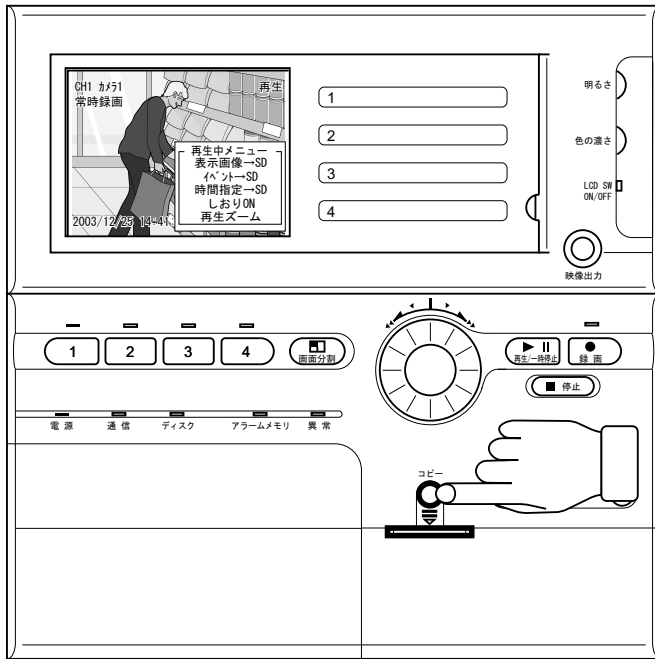
メモ　再生中メニューはもう一度コピーボタンを押すか、検索ボタンもしくは停止ボタンを押すと消去されます。

5 「表示画像→SDコピー」を選択して決定ボタンを押します。

表示している静止画がSDメモリーカードにコピーされます。コピー中はメッセージが表示されます。「処理が終了しました」とポップアップ表示がされたら決定ボタンを押します。コピーの終了です。

メモ
- 静止画は1枚ずつコピーできます。コピーされたファイルはWavelet形式のファイルで保存されますので、専用の閲覧ソフトにて画像ファイルを閲覧してください。
- 重要な画像などに「しおり」をつけておけば、後で検索する時の目印として便利です。
- 下記の表はSDメモリーカードの容量別の、記録可能枚数の参考値です。
実際に記録された画像データの容量により、記録可能枚数は前後することがありますので、目安としてご利用ください。

単位：約　枚

画質 / SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞの容量	低	標準	中高	高	超高
32MB	1,800	1,500	1,250	1,000	900
64MB	3,600	3,000	2,500	2,000	1,800
128MB	7,200	6,000	5,000	4,000	3,600
256MB	14,400	12,000	10,000	8,000	7,200
512MB	28,800	24,000	20,000	16,000	14,400
1GB	57,600	48,000	40,000	32,000	28,800

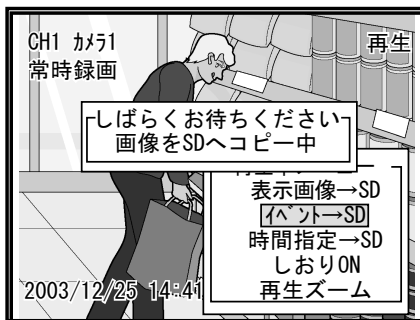
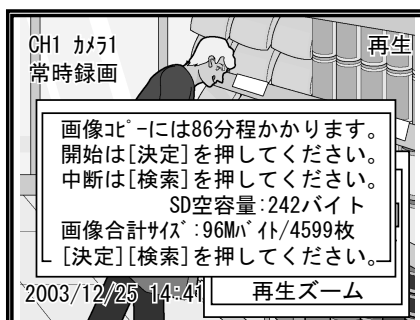
●イベントごとのコピー（再生画面からコピーする場合）

1 SDメモリーカードを差し込みます。

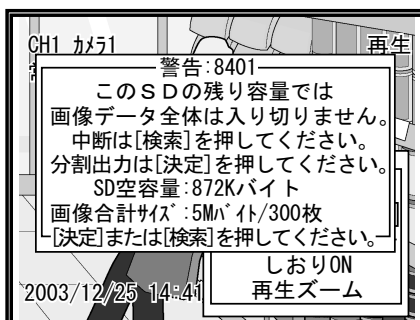
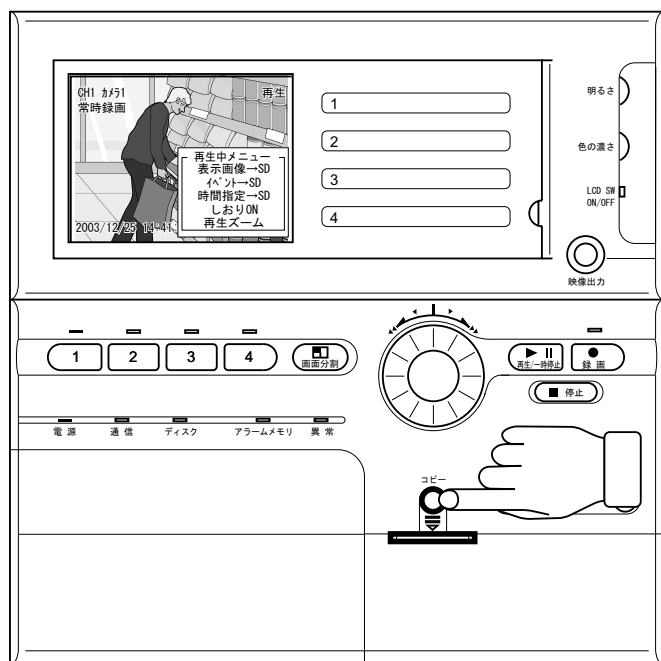
2 再生中に再生／一時停止ボタンを押して一時停止します。

3 ジョグダイアルを回して、コピーするイベント内の静止画を選択します。

4 コピーするイベント内の静止画が表示された状態で、コピーボタンを押します。再生中メニューが表示されます。

メモ　再生中メニューはもう一度コピーボタンを押すか、検索ボタンもしくは停止ボタンを押すと消去されます。

5 「イベント→SDコピー」を選択して決定ボタンを押します。

選択されたイベント内の静止画がSDメモリーカードにコピーされます。「処理が終了しました」とポップアップ表示がされたら決定ボタンを押します。
コピーの終了です。

メモ

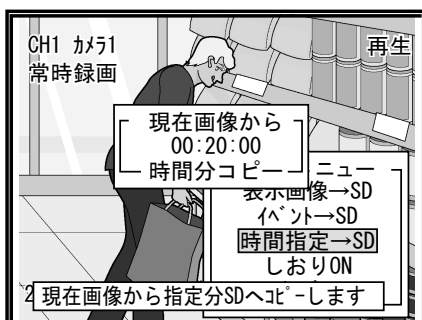
- SDメモリーカードへのコピー時間が約2分以上かかる場合は、目安のコピー時間が表示されます。
- SDメモリーカードへのコピー中にコピーを中断する場合は、検索ボタンもしくは停止ボタンを押します。SDメモリーカードへは中断した時点までの静止画がコピーされます。
- コピーする静止画の容量に対して、SDメモリーカードの残り容量が不足する場合、画面にメッセージが表示されます。
  中断する場合は、検索ボタンもしくは停止ボタンを押します。
  SDメモリーカードがフルになるまでコピーする場合は、決定ボタンを押します。フルになった時点で別のSDメモリーカードに交換するメッセージが現れますので、別のSDメモリーカードに交換し、決定ボタンを押してください。

●時間指定によるコピー

1 SDメモリーカードを差し込みます。

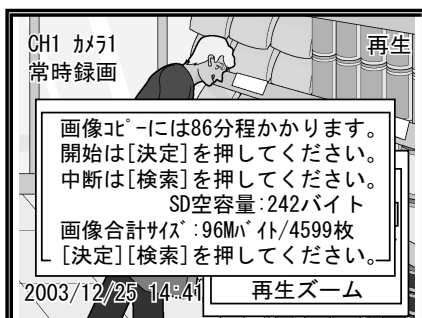
2 再生中に再生／一時停止ボタンを押して一時停止します。

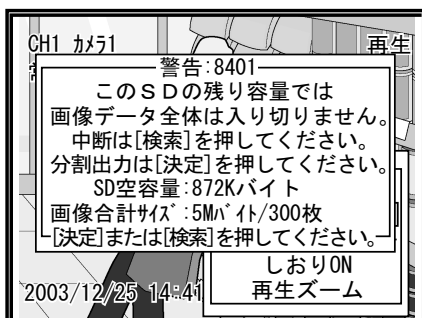
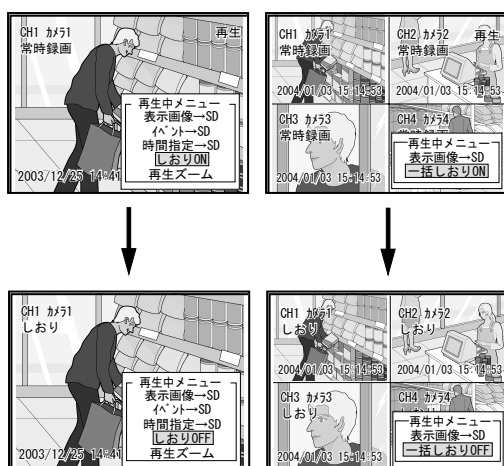
3 ジョグダイアルを回して、コピーを開始する静止画を選択します。

4 コピーを開始する静止画が表示された状態で、コピーボタンを押します。再生中メニューが表示されます。

メ　モ	再生中メニューはもう一度コピーボタンを押すか、検索ボタンもしくは停止ボタンを押すと消去されます。

5「時間指定→SDコピー」を選択して決定ボタンを押します。
時間指定ポップアップが表示されます。

6 ジョグダイアルを回して、コピーする範囲の時間を指定し、決定ボタンを押します。

時間指定された範囲の静止画がSDメモリーカードにコピーされます。メッセージが消えたら、コピー終了です。

メ　モ	・SDメモリーカードへのコピー時間が約2分以上かかる場合は、目安のコピー時間が表示されます。 ・SDメモリーカードへのコピー中にコピーを中断する場合は、検索ボタンもしくは停止ボタンを押します。SDメモリーカードへは中断した時点までの静止画がコピーされます。 ・コピーする静止画の容量に対して、SDメモリーカードの残り容量が不足する場合、画面にメッセージが表示されます。 中断する場合は、検索ボタンもしくは停止ボタンを押します。 SDメモリーカードがフルになるまでコピーする場合は、決定ボタンを押します。フルになった時点で別のSDメモリーカードに交換するメッセージが現れますので、別のSDメモリーカードに交換し、決定ボタンを押してください。

6-6 しおりを付ける

再生画像の中に検索に使うしおりをつけることができます。

「7 検索して再生する」P34

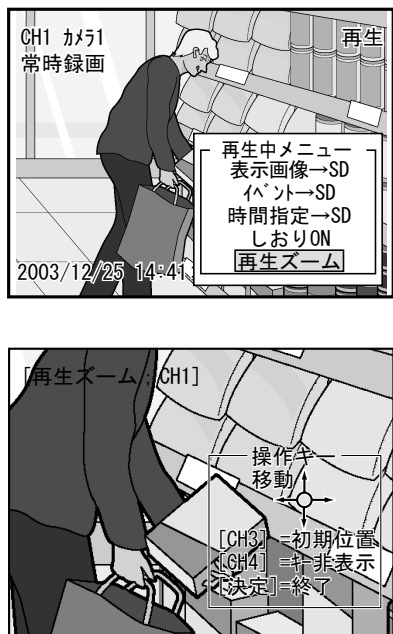
1. 再生中に再生／一時停止ボタンを押して一時停止します。
2. コピーボタンを押します。再生中メニューが表示されます。
3. 「しおりON」を選択して決定ボタンを押します。

チャンネル表示の下に「しおり」の文字が追加されます。再生中メニューは消去されます。

しおりONのときは、再生中メニューの表示が「しおりOFF」に変わり、選択して決定ボタンを押すとしおりを消すことができます。

メモ　分割画面表示のときには一括でしおりをつけることができます。

6-7 静止画を拡大する

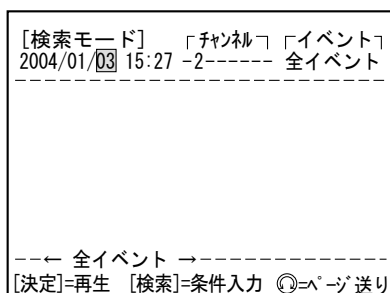
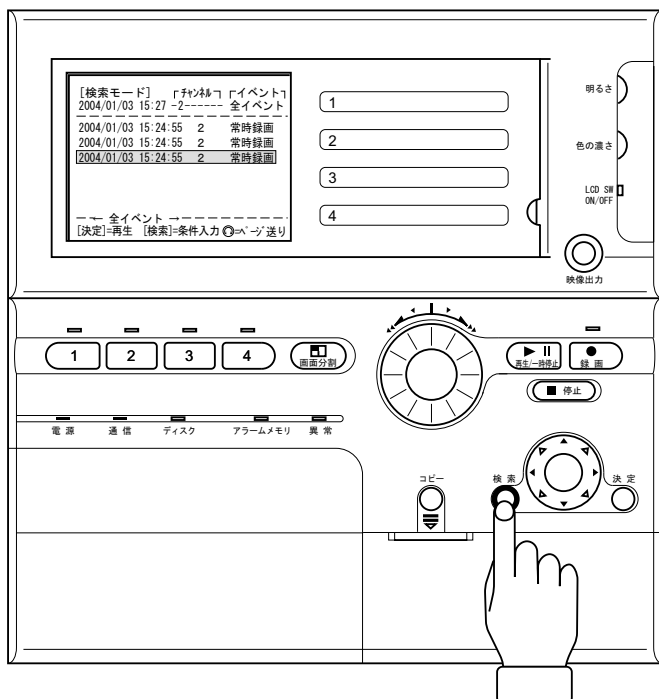
再生画像を拡大して表示できます。

1. 再生中に再生／一時停止ボタンを押して一時停止します。
2. コピーボタンを押します。再生中メニューが表示されます。
3. 「再生ズーム」を選択して決定ボタンを押します。

   表示中の静止画の中央を2倍に拡大して表示します。画面には拡大中の操作キーメニューの案内が表示されます。
4. 上下左右ボタンを各方向に押すと、表示範囲を移動します。
5. チャンネル選択ボタン3を押すと、拡大範囲が初期位置に戻ります。
6. チャンネル選択ボタン4を押すと、操作キーメニューの案内表示を消します。
   再度チャンネル選択ボタン4を押すと元の表示に戻ります。
7. 決定ボタン・停止ボタン・検索ボタンのいずれかを押すと、拡大表示を終了し、再生中メニューに戻ります。

7 検索して再生する

録画された画像は日付、時刻、チャンネル、イベント種類を指定して検索できます。

[検索モード] ┌ﾁｬﾝﾈﾙ┐ ┌イベント┐
2004/01/03 15:27 -2------ 全イベント

--← 全イベント →-------------
[決定]=再生 [検索]=条件入力 ◎=ﾍﾟｰｼﾞ送り

1 検索ボタンを押します。
検索画面が表示されます。上段に表示されている検索条件に該当する記録内容が中段にリストで表示されています。

メモ 再生に移らずに検索画面を消去するときは、停止ボタンを押してください。ライブ表示に戻ります。

2 表示中のリストに見たい画像があるときは、上下左右ボタンを上下に押してカーソルを移動し、決定ボタンを押します。検索画面を消去して、選択した記録内容の再生を開始します。

メモ リストを表示中にチャンネル選択ボタン1～4を押すと、検索条件のチャンネルのみ変えることができます。
PTZカメラに割り付けたチャンネルは、検索モードでのチャンネル変更で検索します。

3 検索条件を変更するときは、検索画面を表示中に検索ボタンを押すと、日付の欄にカーソルが移動します。手順4.～7.を行ってください。

4 検索する日付と時刻を選択します。
上下左右ボタンを左右に押して項目を選び、上下に押して数値を変更します。

メモ 西暦、月日、時刻のチャンネル名、イベント名の選択は上下左右ボタンの左右ボタンのみ有効で、各設定を変更するときは、上下左右ボタンの上下ボタンおよびジョグダイヤルが有効です。

5 チャンネルを選択します。
上下左右ボタンの上ボタンを押すたびに、「1-------」から「-------8」まで順番に変わったあと、「1234----」「12345678」に変わります。表示された番号のチャンネルが検索対象になります。

メモ ジョグダイヤルでの変更も可能です。
時計回り ：順
反時計回り：逆

6 イベントを選択します。上下左右ボタンの上ボタンを押すたびに、「全イベント」「しおり」「パニック」「アラーム」「常時録画」「ジャンプ」の順に変わります。

メモ 条件が「全イベント」のとき、常時録画は設定されたリストアップ間隔の時刻しかリスト表示されません。条件が「ジャンプ」のとき、常時録画の範囲の中でも最も近い時刻がリスト表示されます。

メ モ　ジョグダイヤルでの変更も可能です。
時計回り　：順
反時計回り：逆

7 条件の変更が終わったら決定ボタンを押します。
指定した条件で記録画像が検索され、中段にリストが表示されます。手順2.と同様に、見たい画像を選び、決定ボタンを押してください。

メ モ
・検索条件に該当する記録内容がないときは、中段に「一致する画像がありません」とメッセージが表示されます。条件を変更して再度検索してください。
・再生して一時停止した後、コピーボタンを押すことによりSDメモリーカードへコピーすることができます。

●イベントごとのコピー（検索画面からコピーする場合）

```
[検索モード:HDD]┌ﾁｬﾝﾈﾙ┐ ┌イベント┐
2004/01/03 15:27 1------- 全イベント
2004/01/03 12:00:03   1    常時録画
2004/01/03 12:00:40   1    常時録画
2004/01/03 12:10:03   1    常時録画
2004/01/03 12:30:40   1    常時録画
2004/01/03 14:16:13   1    常時録画
2004/01/03 14:29:20   1    しおり
2004/01/03 14:50:55   1    常時録画
2004/01/03 14:50:55   1    しおり
--← 全イベント →-------------
決定=再生 検索=条件入力 ◎=ﾍﾟｰｼﾞ送り
```

メ モ　検索リストの画面でコピーボタンを押すと検索メニューが出ます。

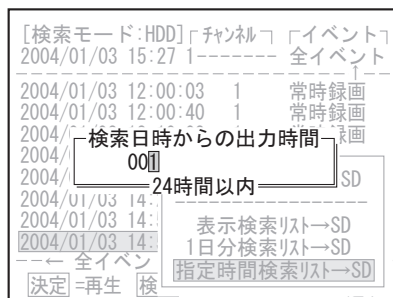
ここではSDカードへ記録するデータを選択します。

1 SDメモリカードを差し込みます。

2 検索ボタンを押すと検索画面が表示されるので、コピーするイベントを選択します。

3 コピーするイベントが表示された状態で、コピーボタンを押します。
選択されたイベント内の静止画がSDメモリカードにコピーされます。

メ モ
・SDメモリーカードへのコピー時間が2分以上かかる場合は、目安のコピー時間が表示されます。
・SDメモリーカードへのコピー中にコピーを中断する場合は、検索ボタンまたは停止ボタンを押します。SDメモリーカードには中断された時点までの静止画がコピーされます。

```
─検索メニュー─
指定ｲﾍﾞﾝﾄ画像→SD
-----------------
表示検索ﾘｽﾄ→SD
1日分検索ﾘｽﾄ→SD
指定時間検索ﾘｽﾄ→SD
```

・指定イベント画像→SD
選択したリスト分の画像をSDへ出力します。
ファイル名は以下の構成になります。
YYMMDDHHMMSS_No_CH_Ev_Mk.wlm
YY：西暦下２桁
MM：月
DD：日
HH：時
MM：分
SS：秒
No：フィールド番号（00～59）
CH：チャンネル番号（１～８）
Ev：イベント文字列（CONST/ALARM/PANIC/ERROR）
Mk：しおり（0=なし,1=あり）
書き出された画像は、別売の「WaveletViewer（ウエーブレット・ビューワー）」で表示できます。

・**表示検索リスト→SD**
現在画面上に表示している検索リストそのもの（最大8件）をSDへテキストファイルとして出力します。
ファイル名は以下の様になります。
SCH＜CHﾘｽﾄ1～8の数字又はall＞_DISP.TXT

・**1日分検索リスト**→SD

・**指定時間検索リスト**→SD
検索日時から1日または指定時間分の検索リストをSDへテキストファイルとして出力します。
ファイル名は以下の様になります。
SCH＜CHﾘｽﾄ1～8の数字又はall＞_
＜CAPEMのいづれか＞_＜出力時間1～240＞.**txt**
ファイル内容は次の通りです。

日付	時間	CH	イベント
2005/12/08	12:55:05	1	常時録画

● ジャンプ検索時

[検索モード:HDD]┌チャンネル┐ ┌イベント┐
2004/01/03 15:27 1------- ジャンプ

2004/01/03	12:00:03	1	常時録画
2004/01/03	12:00:40	1	常時録画
2004/01/03	12:10:03	1	常時録画
2004/01/03	12:30:40	1	常時録画
2004/01/03	14:16:13	1	常時録画
2004/01/03	14:29:20	1	常時録画
2004/01/03	14:50:55	1	常時録画
2004/01/03	14:50:55	1	常時録画

--← ジャンプ →-----------↓---
決定 =再生 検索 =条件入力 =ページ送り

メモ 検索リストの画面でコピーボタンを押すと検索メニューが出ます。

ここではSDカードへ記録するデータを選択します。

1 SDメモリカードを差し込みます。

2 検索-ボタンを押すと検索画面が表示され、もう一度検索ボタンを押すと条件入力ができます。全イベントを上下左右ボタンの上下でジャンプにし、決定ボタンを押します。

3 コピーするイベントを選び、表示された状態で、コピーボタンを押します。
選択されたイベント内の静止画がSDメモリカードにコピーされます。

・**1分間画像→SD**
リストアップされた1分間の画像をSDに書き出します。
ファイル名はイベント検索での「指定イベント画像→SD」時と同じです。
書き出された画像は、別売の「WaveletViewer（ウエーブレット・ビューワー）」で表示できます。

・**表示検索リスト→SD**
現在画面上に表示している検索リストそのもの（最大8件）をSDへテキストファイルとして出力します。
ファイル名/ファイル内容はイベント検索時のそれと同じです。

・**検索リスト→SD**
検索日時から1分間の検索リストをSDへテキストファイルとして出力します。
ファイル名は以下の様になります。
SCH＜CHﾘｽﾄ1～8の数字又はall＞_JUMP.TXT
ファイル内容

日付	時間	CH	イベント
2005/12/08	12:55:05	1	常時録画

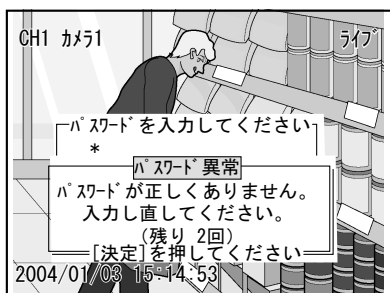
8 パスワードについて

8-1 パスワードの入力方法

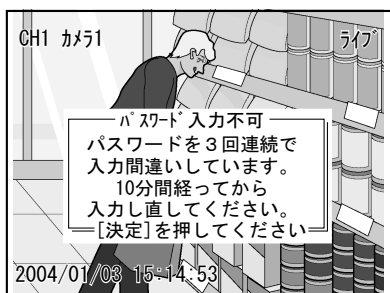
セットアップメニュー/システムでパスワードを設定してある場合は、録画の開始、停止などの動作の前にパスワード入力ポップアップが表示されます。
チャンネル選択ボタン1～4を使って利用者パスワード（または管理者パスワード）を入力し、決定ボタンを押してください。パスワードが正しければ、動作します。

「●パスワードの設定」P69

8-2 パスワード異常の復旧方法

●パスワード異常について

パスワードが間違っているときや、パスワードを時間内に入力しなかったときはエラーメッセージが表示され、異常LEDが点滅します。また、エラー信号が出力されます。
決定ボタンを押してパスワードを入力しなおしてください。

パスワード入力ミスかパスワード入力時間オーバーを3回連続すると、パスワード入力不可画面が表示され、10分間入力ができなくなります。

●パスワードの復旧方法

10分間待ってから正しいパスワードを入力してください。

メモ
- 10分間入力不可の間、パスワードを入力しようとすると、あと何分で入力可能かを表示します。
- 管理者パスワードを入力することにより、すべての操作を行うことができます。
  利用者パスワードでは、セットアップメニューに入ることができませんが、それ以外の操作は行うことができます。

9 設定変更

9-1 セットアップメニューの表示と終了

1 ライブ表示中に検索ボタンと決定ボタンを同時に押します。セットアップメニューが表示されます。

メモ
- 管理者パスワードが設定されているときは、管理者パスワードを入力してください。
  注意：利用者パスワードだけ設定されているときは、利用者パスワードを入力しないとセットアップメニューに入れません。
  「8 パスワードについて」 P37
- 検索ボタンが先に押されると検索メニューが表示されることがありますが、そのまま検索ボタンと決定ボタンを同時に押し続けていると、セットアップメニューが表示されます。同様に、決定ボタンが先に押されると画面文字消去になりますが、そのまま検索ボタンと決定ボタンを同時に押し続けていると、セットアップメニューが表示されます。

2 上下左右ボタンを上下左右に押すか、ジョグダイアルをまわすと、カーソルが移動します。決定ボタンを押すと選択した設定項目について、詳細を設定するポップアップが表示されます。

メモ
- セットアップメニューから何か項目を選択することにより、新たなメニュー画面が現れます。このメニュー画面をポップアップと呼びます。
- 項目中、かすれ文字になっている部分は選択／設定できません。

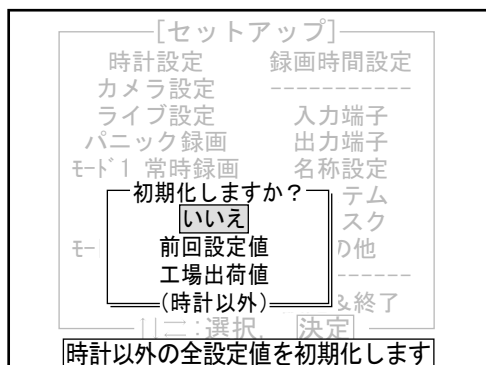
[セットアップ]
時計設定 録画時間設定
カメラ設定
ライブ設定 入力端子
パニック録画 出力端子
ﾓｰﾄﾞ1 常時録画 名称設定
ｱﾗｰﾑ録画 システム
プリ録画 ディスク
設定&終了しますか？
設定して終了
戻る
設定しないで終了

3 ポップアップに表示された選択肢を順番に設定します。終了後、セットアップメニューに戻るには、停止ボタンもしくは検索ボタンを押します。

4 設定が終わったら「設定＆終了」を選び、決定ボタンを押します。
設定＆終了選択ポップアップが表示されます。

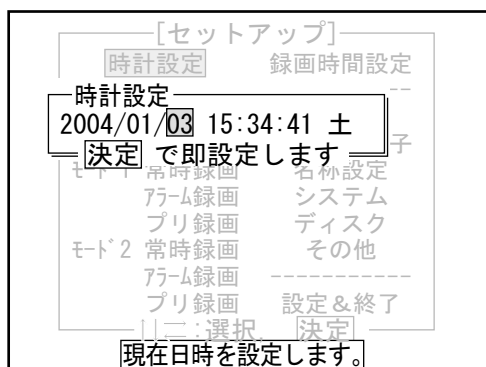
5 「設定して終了」を選び、決定ボタンを押します。
操作した設定内容を保存して、セットアップメニューを終了し、ライブ表示に戻ります。

メモ
- 「戻る」を選び、決定ボタンを押すと、セットアップメニューに戻ります。
  「設定しないで終了」を選び、決定ボタンを押すと、操作した設定内容を保存せずにセットアップメニューを終了し、ライブ表示に戻ります。
- セットアップメニュー表示中は、カメラの映像入力やRS-485入力（PTZカメラのみ）の配線を抜かないでください。エラーが起こり、カメラ設定の内容が保存されなくなります。
- セットアップを抜けるとき、設定内容に問題がある場合は警告が出ます。
  その場合はメッセージに従って設定を見直すか、問題がない場合は「はい」で進めてください。

●セットアップメニューの内容を初期化する

セットアップメニューのすべての項目を工場出荷時の設定内容に戻すことができます。
または、セットアップメニュー表示直後の状態に戻します。

1 セットアップメニュー表示中に、画面分割ボタンを押します。
初期化選択ポップアップが表示されます。

2 セットアップメニュー表示直後の状態に戻すときは、「前回設定値」を選び、決定ボタンを押します。
工場出荷時の設定内容に戻すときは、「工場出荷値」を選び、決定ボタンを押します。
指定した設定内容に変更され、セットアップメニューに戻ります。

9-2 時計設定

> メ モ　外部警報システムの時刻に本体の時刻を合わせるときは、入力端子の「分リセット」「秒リセット」の機能をご利用ください。

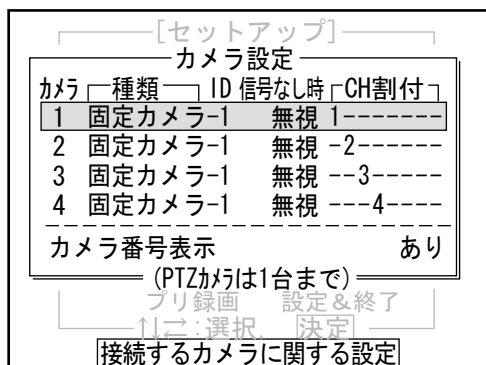
1 セットアップメニューで「時計設定」を選び、決定ボタンを押します。
時計設定ポップアップが表示されます。

2 上下左右ボタンを左右に押して項目を選び、上下に押して数値を変更します。数値はジョグダイヤルでも変更できます。

> メ モ　時刻は「時：分：秒」で表示されています。曜日は年月日に連動して自動選択されます。

3 数値変更が終わったら、決定ボタンを押します。
セットアップメニューに戻ります。

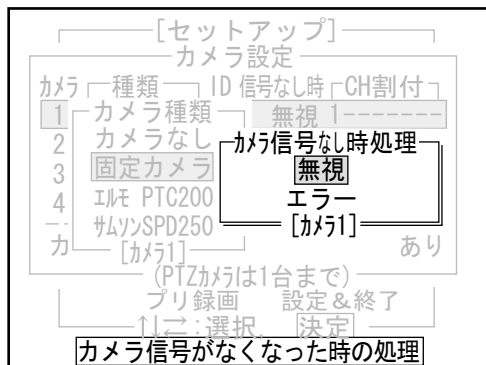
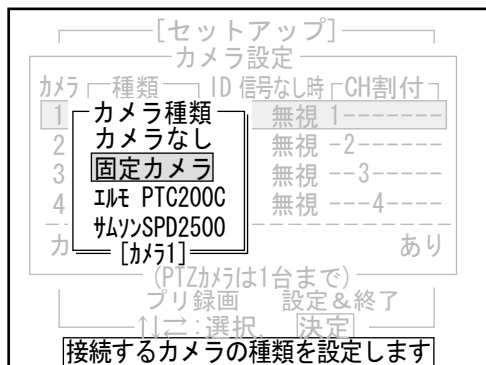
9-3 カメラ設定

映像入力端子にカメラが接続され、電源が入っていることを確認してから操作してください。
PTZカメラの場合は、RS-485端子が接続され、カメラ側のID設定がNo.1になっていることを確認してください。PTZカメラは1つのチャンネルのみ（CH1～CH4の内の1つのチャンネルのみ接続可能です）接続できます。
なお、これらの配線は、カメラ設定を終えて、セットアップメニューを「設定して終了」するまで抜かないでください。

1 セットアップメニューで「カメラ設定」を選び、決定ボタンを押します。
カメラ設定ポップアップが表示されます。本体の映像入力端子に接続されるカメラ4台分の設定がリスト表示されています。

2 カメラ番号（映像入力端子）を選び、決定ボタンを押します。

カメラ種類ポップアップが表示されます。

3 接続していないときは「カメラなし」、固定カメラのときは「固定カメラ」、PTZカメラのときはメーカー・機種名を選び、決定ボタンを押します。

> メ モ　ポップアップ下部には現在選択しているカメラ番号が表示されています。

固定カメラやPTZカメラを指定したときは、カメラ信号なし時処理ポップアップが表示されます。

4 カメラからの信号が途切れたときエラー出力を出すときは「エラー」、何もしないときは「無視」を選び、決定ボタンを押します。

固定カメラを指定したときはカメラ設定ポップアップに戻ります。
PTZカメラを指定したときは、PTZ設定画面に変わります。次ページ「●PTZカメラの設定」の手順を行ってください。

5 すべてのカメラ番号について、設定操作を繰り返します。

6 ライブ表示でカメラ番号を表示させないときは「カメラ番号表示」を選び決定ボタンを押します。
カメラ番号表示ポップアップが表示されます。

7 「なし」を選び決定ボタンを押します。手順１のカメラ設定ポップアップに戻り、なしの設定に変わります。

メ モ　カメラ番号を表示させる設定に戻すときは、「あり」を選んで決定ボタンを押してください。

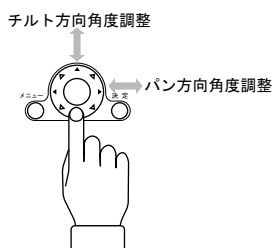
8 カメラ4台分の設定が終わったら、検索ボタン、あるいは停止ボタンを押します。セットアップメニューに戻ります。

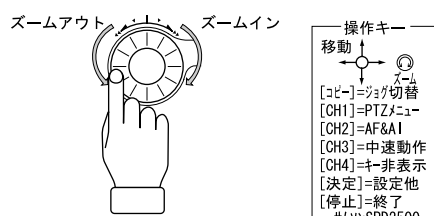
●PTZカメラの設定

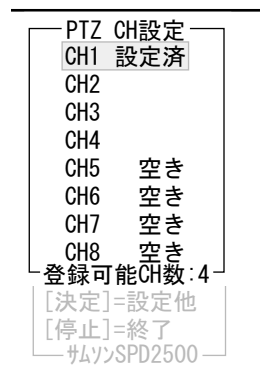
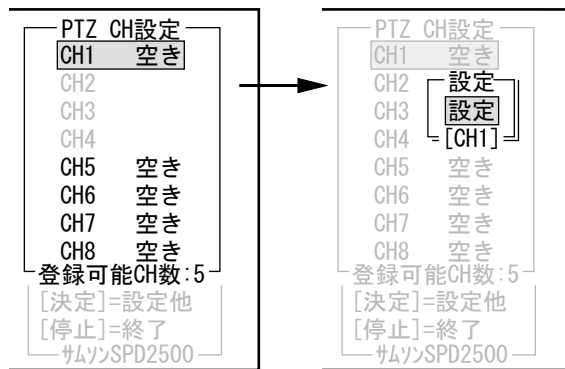
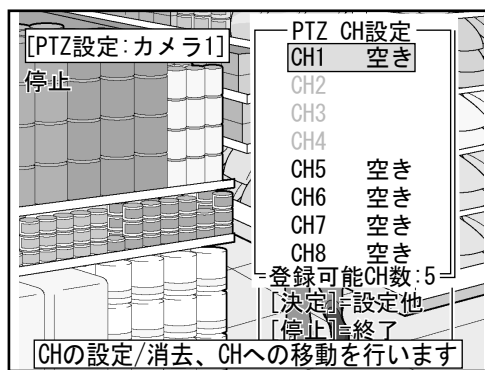
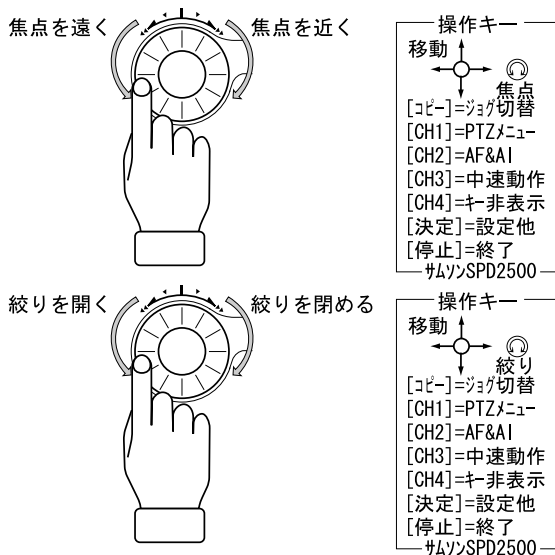
PTZカメラに設定したときは、前ページ手順4.のカメラ信号無時処理ポップアップで決定ボタンを押すと、PTZ設定モードに変わります。

メ モ　選択したカメラ番号の映像入力端子やRS-485の端子にPTZカメラが接続されていないとき、電源が入っていないとき、メーカーが違うカメラが接続されているときは、エラーメッセージが表示されます。

決定ボタンを押してください。カメラ信号無時処理ポップアップに戻ります。

メ モ　監視状態（録画、またはタイマー待機状態）中は設定された通りにPTZカメラが自動旋回し録画しますので、手動操作でPTZカメラを動かすことはできません。停止ボタンを押して一旦ライブモードに切り替えてから、PTZカメラの操作をしてください。

1 画面に表示された映像を見ながら、上下左右ボタンを使って撮影したい位置へカメラを移動します。
上や下に向かって押すと、カメラをチルト方向に操作できます。左や右に向かって押すと、カメラをパン方向に操作できます。
上下左右ボタンを押したときのカメラの移動速度を変えるときは、チャンネル選択ボタン3を押します。押すたびに「中速動作」→「高速動作」→「低速動作」の順に変わります。

メ モ
- 撮影位置の確認の時に操作キーメニューがあるため見えにくい場合は、チャンネル選択ボタン4を押すと、操作キーメニューを非表示にできます。再度チャンネル選択ボタン4を押すと操作キーメニューの表示が戻ります。
- エルモ社製PTZカメラPTC-200Cをご使用の場合、PTZカメラに付属のリモコンで撮影位置（プリセットポジション）を設定したり、変更したりすると、本体から正常な制御ができなくなります。必ず本体を使って設定・変更してください。
もしリモコンで撮影位置（プリセットポジション）の設定や変更を行った場合は、本体から撮影位置（プリセットポジション）の再設定を行ってください。 ➡ **「PTZカメラの設定」 P40**

2 ジョグダイアルをまわすと、拡大縮小ができます。
時計回りで、ズームインします。
反時計回り、ズームアウトします。

メ モ　AF=自動焦点（オートフォーカス）
AI=自動絞り（オートアイリス）

3 焦点位置を前後させるときは、コピーボタンを押してジョグダイアルの機能を「焦点」に変えてから、ジョグダイアルをまわします。
時計回りで、近くに焦点を移動します。
反時計回りで、遠くに焦点を移動します。

4 絞りを調整するときは、コピーボタンを押してジョグダイアルの機能を「絞り」に変えてから、ジョグダイアルをまわします。
時計回りで、絞りを閉じます。
反時計回りで、絞りを開きます。

5 オートフォーカスとオートアイリスを行うときは、チャンネル選択ボタン2を押します。

6 カメラ側の設定内容を変更する場合は、チャンネル選択ボタン1を押します。カメラ側の設定メニューが表示されます。ここでの操作はカメラの取扱説明書を参照してください。チャンネル選択ボタン1をもう一度押すと、カメラ側の設定メニューを消去します。

7 撮影位置が決まったら、決定ボタンを押します。
PTZ CH設定ポップアップが表示されます。

8 現在の撮影位置を割り付けるチャンネルを選び、決定ボタンを押します。

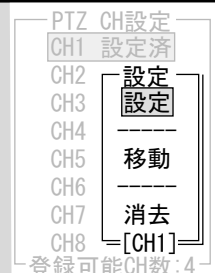
メモ 「空き」と表示されているチャンネルを選びます。「固定カメラ」に設定されているチャンネルは選択できません。

設定ポップアップが表示されます。

9 割り当てるチャンネルにカーソルを移動させ、決定ボタンを押すと、設定ポップアップが現れます。そこで決定ボタンを押すとそのチャンネルに割り付けられ、PTZ CH設定が消えて操作キーメニューに戻ります。

メモ 操作キーメニューで再度決定ボタンを押してPTZ CH設定ポップアップに入ると割り付けたチャンネルは”空き”から”設定済”に変わります。また、PTZ CH設定ポップアップ下部の登録可能CH数も更新されます。

10 撮影位置を変えて別のチャンネルに割り当てるときは、手順1.～9.を行います。

メモ 「設定済」になったチャンネルを選び決定ボタンを押すと、設定ポップアップが表示されます。
「設定」は現在の撮影位置に上書きします。
「移動」はそのチャンネルに設定されている撮影位置にカメラを移動します。
「消去」はそのチャンネルに設定されている撮影位置を消去し、「空き」の状態に戻します。

メモ エルモ社製カメラでは最大6チャンネル、サムソン社製カメラでは最大8チャンネルが設定可能です。ただし固定カメラによって他のチャンネルが使われているときは、空いているチャンネル数のみ設定できます。

11 PTZ CH設定ポップアップで検索ボタンを押して操作キーメニュー表示に戻り、停止ボタンを押すとセットアップメニューに戻れます。
カメラ信号無時処理→カメラ種類、の順でカメラ設定ポップアップから抜けます。
PTZカメラでチャンネル1と5に割り付けたときの画面例を示します。

メモ 固定カメラをPTZに、またはその逆に変更した場合には必ず録画設定を見直してください。固定カメラでは許されていてもPTZでは出来ない（またはその逆の）設定などがあります。

9-4 ライブ設定

1 セットアップメニューで「ライブ設定」を選び、決定ボタンを押します。
ライブ設定ポップアップが表示されます。

2 チャンネルの番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ チャンネル1〜8のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号やPTZカメラでチャンネル設定していないチャンネル番号は、選択できません。

[セットアップ]
ライブ設定
切替間隔
なし
1 秒
2 秒
5 秒
10秒
20秒
30秒
[CH1]
次のCHに画面を切り替える時間の設定

切替間隔ポップアップが表示されます。

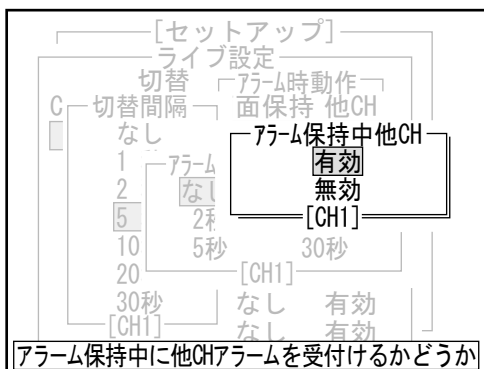
3 ライブ表示中のシーケンス切替で指定チャンネルの映像を表示し続ける秒数を選び、決定ボタンを押します。

メモ PTZカメラが設定されているチャンネルの場合は、1秒と2秒は選択できません。

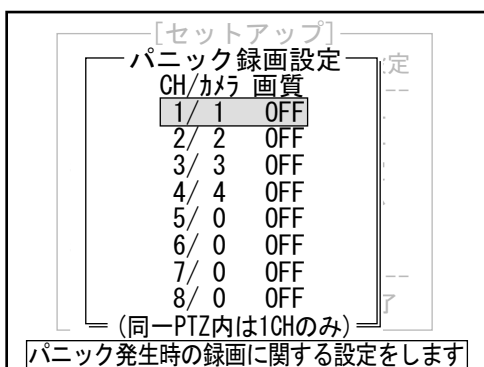
[セットアップ]
ライブ設定
アラーム画面保持時間
なし 10秒
2秒 20秒
5秒 30秒
[CH1]
アラーム発生時にそのCH画面を保持する時間

アラーム画面保持時間ポップアップが表示されます。

4 アラーム発生時にアラーム発生チャンネルの映像に切り替わったあと表示し続ける秒数を選び、決定ボタンを押します。

メモ PTZカメラが設定されているチャンネルの場合、2秒は選択できません。

アラーム保持中他CHポップアップが表示されます。

5 アラーム保持中に別のアラーム発生チャンネルを画面保持するかどうかを選び、決定ボタンを押します。最新のアラーム発生チャンネルに表示を切り替える場合は「有効」、切り替えをしない場合は「無効」を選択します。
ライブ設定ポップアップに戻ります。

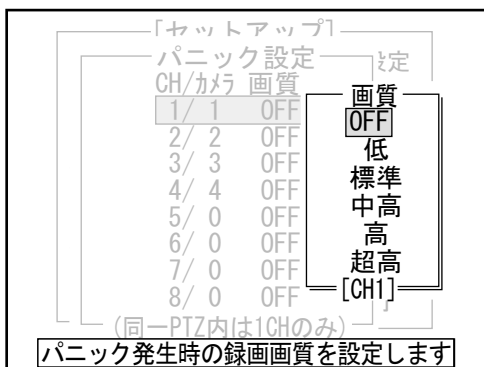
9-5 パニック録画設定

1 セットアップメニューで「パニック録画」を選び、決定ボタンを押します。
パニック録画設定ポップアップが表示されます。

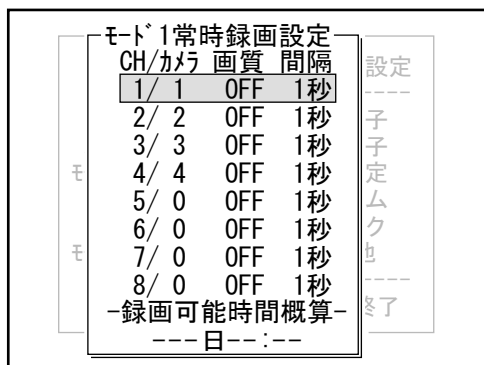
2 チャンネルの番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ　チャンネル1～8のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」に設定したカメラ番号やPTZカメラでチャンネル設定していないチャンネル番号は選択できません。

パニック画質ポップアップが表示されます。

3 画質を選び、決定ボタンを押します。「OFF」を選ぶとパニック録画をしません。
パニック設定ポップアップに戻ります。

メモ
- PTZカメラで複数のチャンネルが設定されている場合は、パニック録画はPTZカメラで設定されているチャンネルの内の1つのみ設定可能です。(PTZカメラは一度に1方向しか向けないため)
- パニック録画を設定すると、アラーム録画を設定していなくてもプリ録画を設定できます。

9-6 モード1(モード2)常時録画設定

録画ボタンを押して映像を記録するときの画質・録画間隔を設定します。
録画時の設定は常時録画、アラーム録画、プリ録画の3通りで別々の画質・録画間隔を設定することができます。また、その3通りの設定をセットにしてモード1とモード2の2種類で保存できます。
ここで設定したモードは録画時間設定で使用します。

1 セットアップメニューで「モード1(モード2)常時録画」を選び、決定ボタンを押します。
モード1(モード2)常時録画設定ポップアップが表示されます。

2 チャンネルの番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ　チャンネル1～8のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」に設定した番号やPTZカメラでチャンネル設定していないチャンネル番号は選択できません。

画質ポップアップが表示されます。

3 画質を選び、決定ボタンを押します。
「OFF」を選ぶと常時録画をしません。モード1（モード2）常時録画設定ポップアップに戻ります。

メ モ　画質を高く設定したり、録画間隔を長く設定すると、ハードディスクに保存できる時間が短くなります。ポップアップの下段に常時録画で記録できる目安の時間が表示されます。

録画間隔ポップアップが表示されます。

4 録画間隔を選び、決定ボタンを押します。
モード1（モード2）常時録画設定ポップアップに戻ります。

メ モ
- 2チャンネル以上録画設定した場合、指定した録画間隔通りに録画されない場合があります。秒60枚で録画されるのは以下の条件に限ります。
  画質：標準以下
- 録画間隔ポップアップ中の秒60、秒30、・・・、秒2とは、1秒以下の間隔を表してます。
  例えば、秒60とは「1／60秒」のことを表してます。
- PTZカメラにおいては、CHの移動そのものはライブの設定に従います。
  そのため、録画間隔をライブでのCH切り替えの時間より早くすると移動途中の映像を録画することになります。

9-7　モード1（モード2）アラーム録画設定

アラーム信号の入力により映像を記録するときの画質・録画間隔を設定します。

[セットアップ]
モード1アラーム録画設定

CH/カメラ	画質	ポスト	間隔	マルチ	リミット
1/ 1	OFF	10秒	1秒	---	ポスト
2/ 2	OFF	10秒	1秒	---	ポスト
3/ 3	OFF	10秒	1秒	---	ポスト
4/ 4	OFF	10秒	1秒	---	ポスト
5/ 0	OFF	10秒	1秒	---	ポスト
6/ 0	OFF	10秒	1秒	---	ポスト
7/ 0	OFF	10秒	1秒	---	ポスト
8/ 0	OFF	10秒	1秒	---	ポスト

アラーム発報時の録画の設定

1 セットアップメニューで「モード1（モード2）アラーム録画」を選び、決定ボタンを押します。
モード1（モード2）アラーム録画設定ポップアップが表示されます。

2 チャンネルの番号を選び、決定ボタンを押します。

メ モ　チャンネル１～８のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号やPTZカメラでチャンネル設定していないチャンネル番号は選択できません。

[セットアップ]
モード1アラーム録画設定
画質
OFF
低
標準
中高
高
超高
[CH1]
アラーム発生後の録画画質の設定

画質ポップアップが表示されます。

3 画質を選び、決定ボタンを押します。「OFF」を選ぶとアラーム録画をしません。

ポスト時間ポップアップが表示されます。

4 アラーム信号入力からの録画持続時間（ポスト時間）を選び、決定ボタンを押します。

[セットアップ]
モード1アラーム録画設定
録画間隔
秒60 秒2
秒30 1秒
秒20 2秒
秒15 3秒
秒10 5秒
秒6 10秒
秒3 30秒
[CH1]
アラーム発報後の録画間隔の設定

録画間隔ポップアップが表示されます。

5 録画間隔を選び、決定ボタンを押します。

> メモ　録画間隔ポップアップ中の秒60、秒30、・・・、秒2とは、1秒以下の間隔を表してます。
> 例えば、秒60とは「1／60秒」のことを表してます。

マルチ設定ポップアップが表示されます。

6 マルチ設定の有無を選び、決定ボタンを押します。
固定カメラ接続チャンネルではここでモード1(モード2)アラーム録画設定ポップアップに戻ります。

> メモ
> - PTZカメラ接続チャンネルでは、マルチ設定の有無に関わらずアラームリミットの設定が可能です。（ただし固定カメラ接続CHではできません）
> - 同一PTZ内では１CHのみしかマルチ設定できません。
>   （PTZカメラは一度に1方向しか向けないため。）
>   複数固定カメラとPTZ内１CH間の設定はできます。

PTZカメラ接続チャンネルでは、アラームリミットポップアップが表示されます。

7 アラームリミットの秒数を選び、決定ボタンを押します。
モード1（モード2）アラーム録画設定ポップアップに戻ります。

> メモ
> - 2チャンネル以上録画設定した場合、指定した録画間隔通りに録画されない場合があります。
>   秒60枚録画されるのは以下に限ります。
>   画質：標準以下
> - PTZカメラのCHでアラーム発報時にはまずその方向に向け、移動が終了してからポスト録画を開始します。
>   この後、同一PTZ内の別CHでアラームが発報した場合、このアラームリミットの時間以上経過していれば受け付けますが、経過していない場合はそのアラームは無視されます。

9-8　モード1（モード2）プリ録画設定

アラーム信号やパニック信号の入力直前のプリアラーム映像を記録するときの画質・録画間隔を設定します。

メモ　パニック録画にプリ録画が付加するのは、録画状態でパニックが発生した場合のみです。

1 セットアップメニューで「モード1（モード2）プリ録画」を選び、決定ボタンを押します。
モード1（モード2）プリ録画設定ポップアップが表示されます。

2 チャンネルの番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ　チャンネル1～8のリストが表示されますが、アラーム録画設定で「OFF」にしたチャンネル番号、カメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号、PTZカメラでチャンネル設定していないチャンネル番号は選択できません。（パニック録画設定を「ON」にしたチャンネル番号は除きます）

画質ポップアップが表示されます。

3 画質を選び、決定ボタンを押します。
「OFF」を選ぶとプリ録画をしません。モード1（モード2）記録間隔ポップアップに移行します。

記録間隔ポップアップが表示されます。

4 記録間隔を選び、決定ボタンを押します。

メモ
- 2チャンネル以上録画設定した場合、指定した録画間隔通りに録画されない場合があります。秒60枚で録画されるのは以下の条件に限ります。
  画　質：標準以下
- PTZカメラにおいては、CHの移動そのものはライブの設定に従います。そのため、記録間隔をライブでのCH切り替えの時間より早くすると移動途中の映像を記録することになります。
  このため、PTZカメラにおいてはプリCHの画像が必ずしもアラームCHで記録される画像位置とは一致しないことがあることに注意してください。

プリ枚数ポップアップが表示されます。

5 プリ録画として記録する枚数を数値で指定して、決定ボタンを押します。

メモ
- プリ録画の録画可能枚数は、すべてのチャンネルで合計96枚までです。
  ポップアップの下段に、設定できる残り枚数が表示されます。
  プリ枚数を設定する度に残り枚数も更新されます。
- アラームまたはパニックの設定を行っていないCHにはプリは設定できません。（設定しても使われないため。）

- 記録間隔が秒60～秒6までの場合、最小設定枚数の制約が付きます。

秒60	6枚以上	秒30	6枚以上	秒20	4枚以上
秒15	3枚以上	秒10	2枚以上	秒6枚	2枚以上

  これ以上の枚数で設定してください。（どの場合も0枚＝解除は設定できます。）
- 最小枚数以下に設定しようとすると警告が出ます。プリ枚数異常ポップアップ表示がでますので、決定ボタンを押し、再度枚数を設定してください。

モード1（モード2）プリ録画設定ポップアップに戻ります。

9-9 録画・保守時間設定

曜日ごとに監視状態に切り替える時間帯を設定します。タイマーは６本あり重複設定も可能ですが、曜日が重なる場合は、設定番号が大きいほうの時間帯が優先的に適用されます。
録画ボタンを押すと監視状態になり、設定した録画時間がくると常時録画を開始します。

●録画時間設定

メモ 「常時録画」「アラーム録画」は、2-1の監視状態で「録画時間設定」の時間内のみ働きます。
「パニック録画」は、ライブ状態および監視状態に関わらず、入力端子に「パニック」入力があったときはいつでも働きます。
録画設定時間以外で緊急の録画が必要と想定される場合は、パニック録画の設定をお奨めします。

1 セットアップメニューで「録画時間設定」を選び、決定ボタンを押します。
録画/保守時間設定ポップアップが表示されます。

2 設定番号を選び、決定ボタンを押します。
開始終了時間ポップアップが表示されます。

3 開始時間と終了時間の数値を指定し、決定ボタンを押します。

メモ 「00:00～00:00」は録画時間設定なしのため監視状態になりません。
「24:00～00:00」は24時間、監視状態となります。

録画パターンポップアップが表示されます。

4 モードを選び、決定ボタンを押します。

曜日設定ポップアップが表示されます。

5 時間帯を設定する曜日を選びます。左から順に「日・月・火・水・木・金・土・休」となっています。上下左右ボタンを左右に押して曜日を選び、上下に押して切り替えます。録画時間を適用しない曜日には「ー」を表示させます。
決定ボタンを押すと、表示された曜日に録画時間を適用します。

メモ 「休」に含める日付は、システム設定の「休日表」で設定してください。

時間設定状態表が表示されます。

6 時間設定状態表は、録画時間設定の結果を簡易的に表示したものです。
これにより、曜日の時間帯別にどちらのモードで録画されるかが解ります。

決定ボタンを押すと録画／保守時間設定ポップアップに戻ります。

●録画時間設定例

(1) 開始時間が終了時間より遅い場合（日またぎ設定）

水曜日を日またぎ設定した場合、木曜日の０時から８時の間もモード１で録画します。

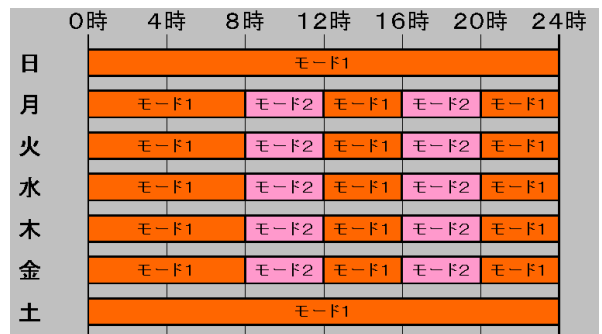
(2) 同じ時間帯に複数の設定をした場合。

録画/保守時間設定
開 始 終 了 ﾓｰﾄﾞ 曜日設定
1 24:00～00:00 1 日月火水木金土－
2 08:00～20:00 2 －月火水木金－－
3 00:00～00:00 1 －－－－－－－－－
4 00:00～00:00 1 －－－－－－－－－
5 00:00～00:00 1 －－－－－－－－－
6 00:00～00:00 1 －－－－－－－－－
初回保守時間 00:00～30秒間
保守繰返間隔 00時間毎
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表
録画する時間帯とHDD保守時間を設定します

0時 4時 8時 12時 16時 20時 24時
日 モード1
月 モード1 モード2 モード1
火 モード1 モード2 モード1
水 モード1 モード2 モード1
木 モード1 モード2 モード1
金 モード1 モード2 モード1
土 モード1

同じ時間帯に複数の設定を行った場合、設定番号の大きいほうが優先されます。この場合１より２の設定が優先されます。

(3) 同じ曜日に同じモードを複数設定した場合。

録画/保守時間設定
開 始 終 了 ﾓｰﾄﾞ 曜日設定
1 24:00～00:00 1 日月火水木金土－
2 08:00～12:00 2 －月火水木金－－
3 16:00～20:00 2 －月火水木金－－
4 00:00～00:00 1 －－－－－－－－－
5 00:00～00:00 1 －－－－－－－－－
6 00:00～00:00 1 －－－－－－－－－
初回保守時間 00:00～30秒間
保守繰返間隔 00時間毎
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表
録画する時間帯とHDD保守時間を設定します

時間帯が重なっていない場合、それぞれの設定が有効です。

●初回保守時間・保守繰返間隔

保守とは、HDDを安全に利用するためのチェックおよび一時休止をさせる処理です。
指定された時間から30秒間がそのための時間となります。保守を止めることは出来ません。
保守期間中の録画は以下のようになります。

・常時録画
録画間隔がCH合計で秒4枚程度まで落ちます。
プリの設定枚数によって変化しますが、これ以下の場合は録画間隔は維持されます。
（元から秒4枚より遅い場合は変化しません。）

・アラーム/パニック録画
発報した時点で保守を中断して録画を開始します。
ただし、HDDが正常動作の戻るまで録画間隔が落ちることがあります。
（落ちる具合は常時録画の録画間隔にもよりますが、CH合計で秒4枚以下にはなりません。）
アラーム/パニック終了後、再度保守に入ります。
なお保守は録画投入後、初回保守時間が来るまでは実行されません。

録画/保守時間設定
開 始 終 了 ﾓｰﾄﾞ 曜日設定
1 24:00～00:00 1 日月火水木金土ー
2 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
3 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
4 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
5 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
6 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
初回保守時間 00:00～30秒間
保守繰返間隔 00時間毎
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表
録画する時間帯とHDD保守時間を設定します

メ モ　ハードディスクの保守には約30秒かかります。

1 「初回保守時間00:00～30秒」を選び、決定ボタンを押します。

録画時間設定
開 始 終 了 ﾓｰﾄﾞ 曜日設定
1 24:00～00:00 1 日月火水木金土ー
2 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
3 00:00～00:00 1
4 00:00～00:0
5 00:00～00:0
6 00:00～00:0
初回保守時間
00:00
ここから30秒間
[現在時刻=16:11:11]
初回保守時間 00:00～30秒間
保守繰返間隔 00時間毎
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表
保守中は録画間隔が長くなります

初回保守時間ポップアップが表示されます。

2 初回の保守を開始する時間を上下左右ボタンまたはジョグダイヤルで設定します。

録画時間設定
開 始 終 了 ﾓｰﾄﾞ 曜日設定
1 24:00～00:00 1 日月火水木金土ー
2 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
3 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
4 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
5 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
6 00:00～00:00 1 ーーーーーーーー
初回保守時間
保守繰返間隔
保守繰返時間
00
0=24時間～23時間毎
開始24:00=24時間/下優先/CH4:設定表
保守をこの時間毎に繰り返します

3 「保守繰返間隔」を選び、決定ボタンを押します。上下左右ボタンまたはジョグダイヤルで繰返間隔の設定をし、決定ボタンを押します。

メ モ　保守繰り返し間隔は、保守を繰り返し実行する間隔を指定します。
00を指定した場合は24時間、すなわち1日1回となります。
01～23を指定した場合は、初回保守時間から指定時間毎に実行されます。
初期設定は1日1回になっていますが一般的に実行回数が多いほどHDDの安全性が高まります。

9-10 入力端子設定

接続した機器から入力する信号の内容や方式について設定します。入力端子への配線が必要です。8個の端子に接続できます。

1 セットアップメニューで「入力端子」を選び、決定ボタンを押します。
入力端子設定ポップアップが表示されます。

2 端子の番号を選び、決定ボタンを押します。

入力種類ポップアップが表示されます。

3 信号の種類を選び、決定ボタンを押します。

メモ

- パニック、警戒、分リセット、秒リセットの4項目は、それぞれ入力端子1つのみ使用できます。
  すでに使用されているときは、選択できません。
- **分リセット**
  この信号が入ったとき、時計を以下のように合わせます。
  00～29分→　同時間00分00秒にする
  「例」07:23:10→07:00:00
  30～59分→＋１時間00分00秒にする
  「例」08:31:45→09:00:00, 23:45:50 →00:00:00
- **秒リセット**
  この信号が入ったとき、時計を以下のように合わせます。
  00～29秒→同分00秒にする
  「例」07:23:10→07:23:00
  30～59秒→＋１分00秒にする
  「例」08:31:45→08:32:00, 23:45:50 →23:46:00
- **画面切替**
  この信号が入る度に表示するCHと画面モードを切り替えます。

接点ポップアップが表示されます。

4 接点方式を選び、決定ボタンを押します。

形式ポップアップが表示されます。

5 形式を選び、決定ボタンを押します。

メ モ 同一種類の設定を複数設定した場合、形式は後優先で同一に設定されます。

抑止時間ポップアップが表示されます。

6 時間を選び、決定ボタンを押します。

メ モ
- 抑止時間とは、一度信号を受け付けた後、一定時間その信号を受け付けなくする機能です。例えば、そのまま受け付けるとアラームが頻発してしまう現場において、一度受け付けたらしばらくは受付させたくない場合に設定します。
- 抑止は信号の形式によって開始タイミングが変わります。

「レベル」または「レベル+R」のときは、リミット時間ポップアップが表示されます。

7 リミット時間を選び、決定ボタンを押します。
入力端子設定ポップアップに戻ります。

8 「アラーム出力」のなし、ありを選択します。続いて「ブザー設定」のなし、ありを選択します。決定後、入力端子設定画面に戻ります。

メ モ **アラーム出力**
アラーム入力設定の場合、その入力があった場合にアラーム出力も出すかどうかです。
ブザー設定
その信号入力があったときにブザーを鳴らすかどうかです。
全ての入力で全ての設定が出来るわけではありません。
可能な設定については設定可能表(P52)を参照してください。

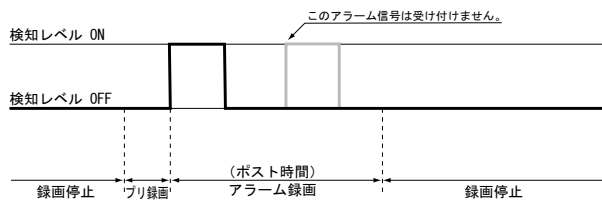
設定可能表

	接点	形式	抑止	レベル時のみリミット	出力	ブザー
CH1アラーム	○	○	○	○	○	○
CH2アラーム	○	○	○	○	○	○
CH3アラーム	○	○	○	○	○	○
CH4アラーム	○	○	○	○	○	○
CH5アラーム	○	○	○	○	○	○
CH6アラーム	○	○	○	○	○	○
CH7アラーム	○	○	○	○	○	○
CH8アラーム	○	○	○	○	○	○
パニック	○	レベル	×	○	×	○
警戒	○	レベル	×	×	×	×
分リセット	○	エッジ	×	×	×	×
秒リセット	○	エッジ	×	×	×	×
マルチ	○	○	○	○	×	×
画面切替	○	エッジ	×	×	×	×

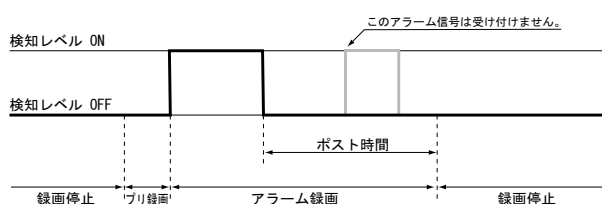
×の所は飛ばされる（後ろ全部×の場合はそれ以降なし）
リミットはレベル時のみ設定可能

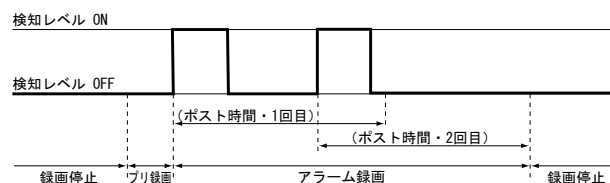
●入力端子の形式について

アラーム入力1～8の設定を行うと、それぞれの入力端子に接続したセンサのアラーム信号が検知レベルになったときに、アラーム入力を受け付けたことになり、アラーム録画を行います。形式は4種類あり、アラーム録画を続ける時間が次のように変わります。

(1)「エッジ」

アラーム信号が検知レベルになった時点でアラーム録画を開始し、ポスト時間が過ぎると録画を停止します。
防犯センサ（パッシブインフラレッドディテクタ）などに使用します。
「エッジ」の場合、ポスト時間中（録画中）に、再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力としては受け付けません。ポスト時間中のアラーム入力を受け付ける場合は「エッジ+R」を使用してください。
なお、ポスト時間終了後（録画停止後）に検知レベルがオンになったときは、アラーム入力を受け付けて録画を開始します。

メモ　ポスト時間はセットアップメニューの「モード1(モード2)アラーム録画」の中で設定します。

(2)「レベル」

アラーム信号が検知レベルになった時点でアラーム録画を開始し、検知レベルがオンになっている間は録画を継続します。検知レベルがオフになってから、さらにポスト時間が過ぎると録画を停止します。
マグネットスイッチなどに使用します。
「レベル」の場合、ポスト時間中（録画中）に、再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力としては受け付けません。ポスト時間中のアラーム入力を受け付ける場合は「レベル+R」を使用してください。
なお、ポスト時間終了後（録画停止後）に検知レベルがオンになったときは、アラーム入力を受け付けて録画を開始します。

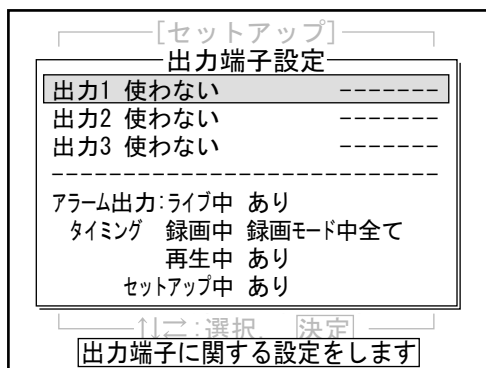
(3)「エッジ+R」

「エッジ」と同様に、アラーム信号が検知レベルになった時点でアラーム録画を開始し、ポスト時間が過ぎると録画を停止します。
「エッジ+R」の場合、ポスト時間中（録画中）に再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力として受け付け、その時点からあらたにポスト時間を開始します。

(4)「レベル+R」

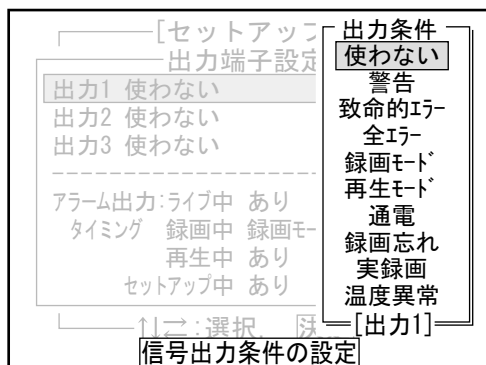
「レベル」と同様に、アラーム信号が検知レベルになった時点でアラーム録画を開始し、検知レベルがオンになっている間は録画を継続します。検知レベルがオフになってから、さらにポスト時間が過ぎると録画を停止します。
「レベル+R」の場合、ポスト時間中（録画中）に再度検知レベルがオンになったときは、アラーム入力として受け付け、その信号がオフになった時点からあらたにポスト時間を開始します。

9-11 出力端子設定

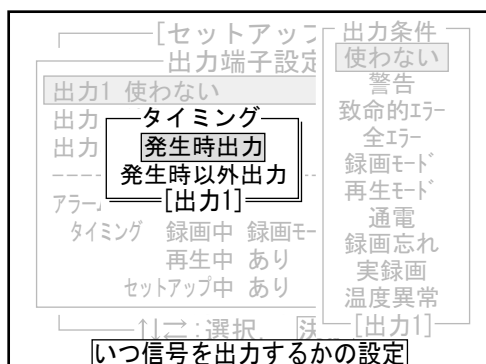
接続した機器に出力する装置の状態を示す信号の種類を設定します。出力端子への配線が必要です。3個の端子に接続できます。
各端子について以下の出力種類のより選択することができます。
出力形式は、イベント発生中出力と、それ以外出力より選択することができます。
・「使わない」に設定すると、何も出力しません。
・「警告」に設定すると、警告エラーが発生している間出力します。
「■警告エラーの種類」P88
・「致命的エラー時」に設定すると、致命的エラーが発生している間出力します。
「■致命的エラーの種類」P88
・「全エラー」に設定すると、警告・致命的エラーが発生している間出力します。
・「録画モード」に設定すると、録画モードに入っている間（タイマー待ちも含む）出力します。
（パニック中は除きます）
・「再生モード」に設定すると、本体が実再生、検索中の間出力します。
・「通電」に設定すると、本体が通電中に出力します。
通電を選択した場合、タイミングは指定できません。（非通電時には制御できないため。）
・「録画設定忘れ」に設定すると、録画モードに入っていないとき出力します。
このときは、録画モードが解除された後どれだけ経ってから出力を開始するのかも設定します。

メモ　工場出荷状態ではすべての端子の出力種類は「使わない」に設定されています。

1 セットアップメニューで「出力端子」を選び、決定ボタンを押します。
出力端子設定ポップアップが表示されます。

2 端子の番号を選び、決定ボタンを押します。

メモ　「使わない」に設定すると出力端子設定ポップアップに戻ります。
「使わない」以外に設定するとタイミングポップアップに移行します。

出力条件ポップアップが表示されます。

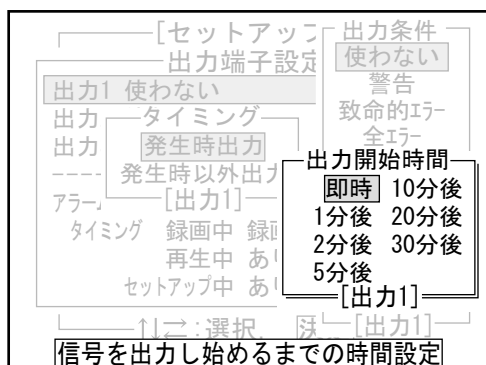
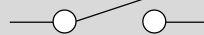
3 信号出力する装置の状態を選び、決定ボタンを押します。接続されていない出力端子は「使わない」に設定します。

メ モ
警告 :
警告が出ている間
致命的エラー :
致命的エラーが出ている間
全エラー :
警告または致命的エラーが出ている間
録画モード :
録画モードに入っている間（タイマー待ちも含む）パニック中は除きます。
再生モード :
実再生、検索中
通電 :
通電中に出力
通電を選択した場合、タイミングは指定できません。
（非通電時には制御できないため）
録画忘れ :
録画モードに入っていないとき
このときは、録画モードが解除された後どれだけ経ってから出力を開始するのかも設定します。
実録画 :
モード1又は2で録画中
（パニック中/タイマー中は除く）

タイミングポップアップが表示されます。

4 タイミングを選び、決定ボタンを押します。
「発生時出力」にするとイベントが起こっているとき（手順3で指定した状態になったとき）「オン」状態となります（接点が閉じます）。
「発生時以外出力」にするとイベントが起こっていないとき（手順3. で指定した状態以外のときに）「オン」状態となります（接点が閉じます）。
イベントが起こっていないときを「ノーマル」と定義した場合、「発生時出力」では「ノーマリーオープン（N.O.）」、「発生時以外出力」では「ノーマリークローズ（N.C.）」となります。
出力端子設定ポップアップに戻ります。

メ モ
接点の「オン」状態とは、接点が閉じている状態を意味します。

接点の「オフ」状態とは、接点が開いている状態を意味します。

出力開始時間
即時 10分後
1分後 20分後
2分後 30分後
5分後
[出力1]
信号を出力し始めるまでの時間設定

5 出力条件で「録画忘れ」を選んだ場合、タイミングポップアップ画面の次に出力開始時間のポップアップ画面が表示されます。出力開始時間を選び決定ボタンを押すと、出力端子設定画面に戻ります。

6 出力条件で「温度異常」を選んだ場合、タイミングポップアップ画面の次に異常温度基準のポップアップ画面が表示されます。異常温度基準を選び決定ボタンを押すと、出力端子設定画面に戻ります。

メモ　温度異常とは製品使用温度範囲を超えた場合に信号を出力します。一応異常と見なす温度の基準を設定できますが、通常は「5～40℃以外」のまま変更しないで下さい。

●アラーム出力タイミングの設定

出力端子設定で「アラーム出力タイミング」を選んだ場合、アラーム出力のポップアップ画面が表示されます。なし/ありを選び決定ボタンを押すと、出力端子設定画面に戻ります。

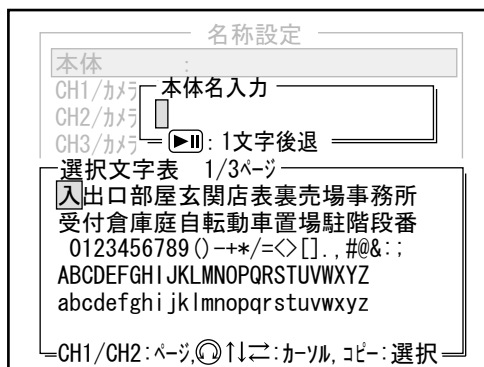
メモ　アラーム出力タイミングは、アラームが入力されたときにアラーム出力を出力するかどうかをモード別に設定します。（入力端子設定でアラーム出力をありに設定しておかなければ無効です。）
ライブ中/再生中/セットアップ中はあり/なしだけですが、録画中のみ、モード中全てなのか、実録画をしているとき（=タイマー待ち中は出力しない）かを設定できます。

9-12 名称設定

本体とチャンネル1～8のそれぞれに名前を設定します。名前を設定するとライブ表示や再生表示で画面に表示されます。また、本体名とチャンネル名を表示しない設定もできます。

1 セットアップメニューで「名称設定」を選び、決定ボタンを押します。
名称設定ポップアップが表示されます。

2 本体か、名称を付けるチャンネルを選び、決定ボタンを押します。

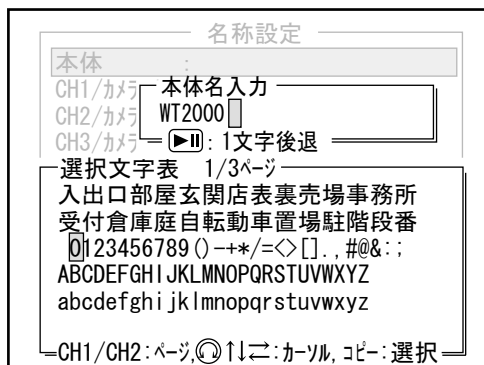
メモ　本体およびチャンネル１～８のリストが表示されますが、カメラ設定で「カメラなし」にしたカメラ番号やPTZカメラでチャンネル設定していないチャンネル番号は選択できません。

入力ポップアップが表示されます。ここでは本体を選んだときの画面例を示します。
上段が入力欄で下段は入力する文字の選択欄です。1ページ目には、よく使うことが想定される漢字と、英数字、記号が表示されています。

3 1ページ目表示の中に使用する文字があれば上下左右ボタンやジョグダイアルで選び、コピーボタンを押します。入力欄の1桁目に指定した文字が入力されます。

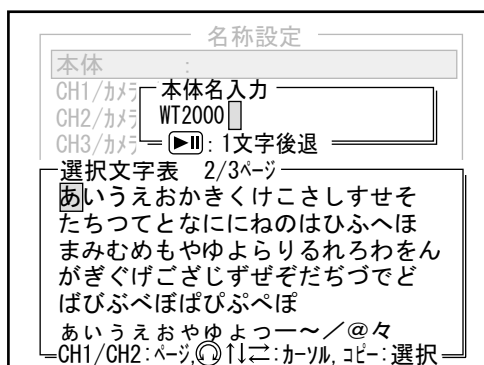
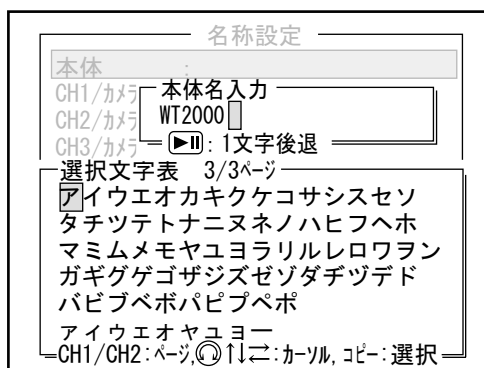
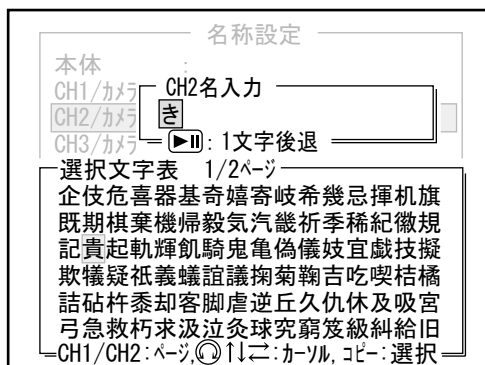
名称設定
本体
CH1/カメラ
CH2/カメラ
CH3/カメラ
本体名入力
WT2000
: 1文字後退
選択文字表　1/3ﾍﾟｰｼﾞ
入出口部屋玄関店表裏売場事務所
受付倉庫庭自転動車置場駐階段番
0123456789()−+*/=<>[].,#@&:;
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
CH1/CH2:ﾍﾟｰｼﾞ, :ｶｰｿﾙ, ｺﾋﾟｰ:選択

続けて文字を選び、コピーボタンを押すと、2桁目に入力されます。ここでは「WT2000」と入力した場合の画面例を示します。

> メモ　入力した文字を消去するときは、再生／一時停止ボタンを押します。1回押すとカーソルの直前の文字が1桁消去されます。

名称設定
本体
CH1/カメラ
CH2/カメラ
CH3/カメラ
本体名入力
WT2000
: 1文字後退
選択文字表　2/3ﾍﾟｰｼﾞ
あいうえおかきくけこさしすせそ
たちつてとなにぬねのはひふへほ
まみむめもやゆよらりるれろわをん
がぎぐげござじずぜぞだぢづでど
ばびぶべぼぱぴぷぺぽ
ぁぃぅぇぉゃゅょっー〜／＠々
CH1/CH2:ﾍﾟｰｼﾞ, :ｶｰｿﾙ, ｺﾋﾟｰ:選択

4 ひらがなを入力するときは、チャンネル選択ボタン1を押します。選択文字表の2ページ目が表示されます。

> メモ　選択文字表の1ページ目に戻るには、チャンネル選択ボタン2を押します。

名称設定
本体
CH1/カメラ
CH2/カメラ
CH3/カメラ
本体名入力
WT2000
: 1文字後退
選択文字表　3/3ﾍﾟｰｼﾞ
アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホ
マミムメモヤユヨラリルレロワヲン
ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデド
バビブベボパピプペポ
ァィゥェォャュョー
CH1/CH2:ﾍﾟｰｼﾞ, :ｶｰｿﾙ, ｺﾋﾟｰ:選択

5 カタカナを入力するときは、もう一度チャンネル選択ボタン1を押します。選択文字表の3ページ目が表示されます。

6 漢字を入力するときは、ひらがなのページで音読みの最初の1文字をコピーボタンで入力してから、録画ボタンを押します。該当する音読みの漢字一覧表が表示されます。
例えばチャンネル名に「貴重品」と入力するときは次のように操作します。

(1)「き」を入力してから録画ボタンを押すと、漢字一覧表が表示されます。

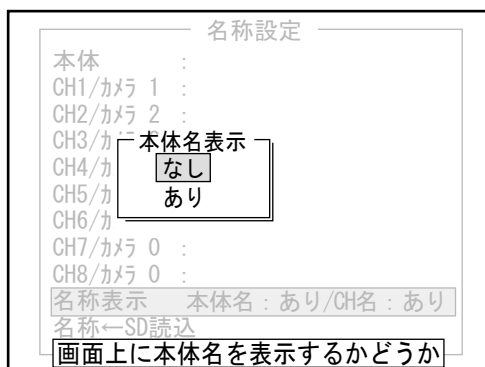
(2)「貴」を選び、コピーボタンまたは決定ボタンを押します。入力欄の「き」が「貴」に変わります。

(3)「し」を入力して録画ボタンを押し、漢字一覧表から「重」を選び、コピーボタンまたは決定ボタンを押します。漢字一覧表のページ切り替えが必要なときは、チャンネル選択ボタン1/2を押します。

(4)「ひ」を入力して録画ボタンを押し、漢字一覧表から「品」を選び、コピーボタンまたは決定ボタンを押します。

7 名称の入力が終わったら、決定ボタンを押します。
名称設定ポップアップに戻ります。

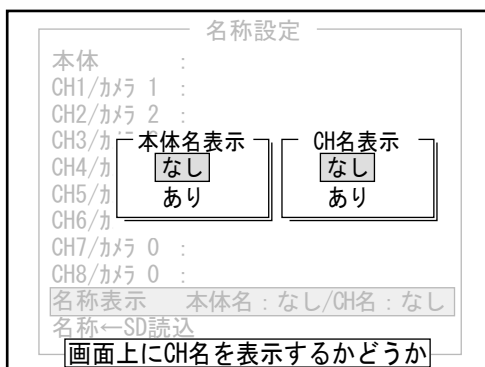
メモ　入力した内容を適用せず元に戻すときは、入力ポップアップで検索ボタンまたは停止ボタンを押してください。

名称設定
本体 :
CH1/カメラ 1 :
CH2/カメラ 2 :
本体名表示
なし
あり
CH7/カメラ 0 :
CH8/カメラ 0 :
名称表示　本体名：あり/CH名：あり
名称←SD読込
画面上に本体名を表示するかどうか

8 本体の名称は、初期設定値では画面に表示させる設定になっています。
表示させない設定に変えるときは、「名称表示」を選び、決定ボタンを押します。
本体名表示ポップアップが表示されます。

9 「なし」を選び、決定ボタンを押します。

メモ　表示させる設定に戻すときは、「あり」を選び、決定ボタンを押します。

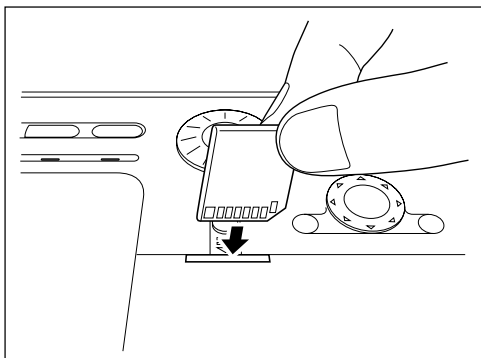
CH名表示ポップアップが表示されます。

名称設定
本体 :
CH1/カメラ 1 :
CH2/カメラ 2 :
本体名表示
なし
あり
CH名表示
なし
あり
CH7/カメラ 0 :
CH8/カメラ 0 :
名称表示　本体名：なし/CH名：なし
名称←SD読込
画面上にCH名を表示するかどうか

10 チャンネルの名称は、初期設定値では画面に表示させる設定になっています。
表示させない設定に変えるときは、「なし」を選び、決定ボタンを押します。

メモ　表示させる設定に戻すときは、「あり」を選び、決定ボタンを押します。

11 名称設定が終わったら検索ボタンまたは停止ボタンを押します。
セットアップメニューに戻ります。

●SDメモリーカードからの読み込みによる名称設定

パソコンで編集したファイルをSDメモリーカードから読み込み、名称を設定します。ファイルはパソコン（Windows）のメモ帳（Notepad）などで作成します。

SDメモリーカードを挿入する場合、挿入の方向が正確であることを確かめてください。
SDメモリーカードのラベル部を上にしてSDメモリーカードスロットに差し込みます。

<SDメモリーカードから正常に読み込むための条件>

・1行につき全角文字のみ10文字以内。（半角文字のみは20文字以内）字数を越えた文字は切り捨てられます。
・全角文字と半角文字は混在可能。（この場合、全角文字1文字は半角文字2文字分に相当します）
・使用できない文字は読み飛ばされる。
・１行目：本体名、2行目～9行目：チャンネル名として読み込まれる。
・ファイルの保存場所：SDメモリーカード内にフォルダを作らず、ルート上に保存する。

<作成例>

WT2000（半角6文字）：合計で半角6文字。すべて読み込まれます。
カメラ１（全角4文字）+スペース（半角1文字）+正面玄関前（全角5文字）
：合計で半角19文字。すべて読み込まれます。
カメラ２（全角4文字）+スペース（半角1文字）+キャッシュレジスター（全角10文字）
：合計で半角29文字。最初の半角20文字のみ読み込まれます。"レジスター"は切り捨てられます。
ｶﾒﾗ3（半角4文字）＋スペース（半角1文字）＋駐車場（全角3文字）＋1（半角1文字）＋～（全角1文字）＋12（半角2文字）＋を正面から（全角5文字）：合計で半角26文字。最初の半角20文字のみ読み込まれます。"面から"は切り捨てられます。
空白なので文字は読み込まれません。（チャンネル4の名称は設定されません）
PTZ1-1（半角6文字）：合計で半角6文字。すべて読み込まれます。
空白なので文字は読み込まれません。（チャンネル6の名称は設定されません）
PTZ1-2（半角6文字）：合計で半角6文字。すべて読み込まれます。
PTZ1-3（半角6文字）：合計で半角6文字。すべて読み込まれます。

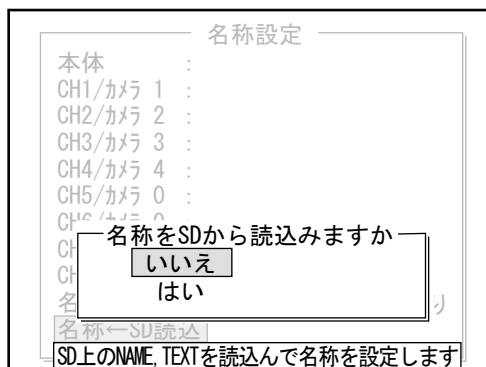
<表示結果>

```
名称設定
本体        ：WT2000
CH1/ｶﾒﾗ 1 ：カメラ１　正面玄関前
CH2/ｶﾒﾗ 2 ：カメラ２　キャッシュ
CH3/ｶﾒﾗ 3 ：ｶﾒﾗ3 駐車場1～12を正
CH4/ｶﾒﾗ 4 ：
CH5/ｶﾒﾗ 0 ：PTZ1-1
CH6/ｶﾒﾗ 0 ：
CH7/ｶﾒﾗ 0 ：PTZ1-2
CH8/ｶﾒﾗ 0 ：PTZ1-3
名称表示    本体名：あり/CH名：あり
名称←SD読込
CH名/本体及びその表示を設定します
```

```
名称設定
本体        ：
CH1/ｶﾒﾗ 1 ：
CH2/ｶﾒﾗ 2 ：
CH3/ｶﾒﾗ 3 ：
CH4/ｶﾒﾗ 4 ：
CH5/ｶﾒﾗ 0 ：
CH6/ｶﾒﾗ 0 ：
CH7/ｶﾒﾗ 0 ：
CH8/ｶﾒﾗ 0 ：
名称表示    本体名：あり/CH名：あり
名称←SD読込
CH名/本体及びその表示を設定します
```

1 SDメモリーカードを差し込みます。

2 セットアップメニューで「名称設定」を選び、決定ボタンを押します。
名称設定ポップアップが表示されます。

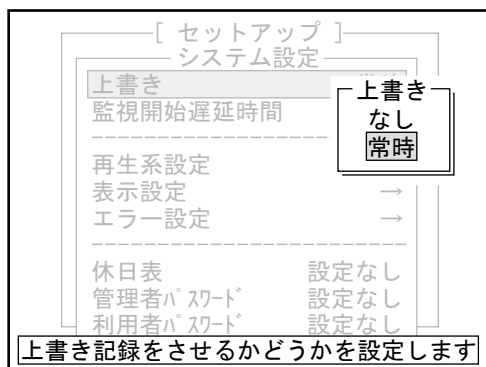
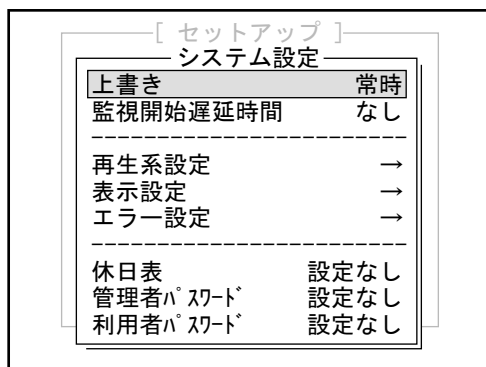
3 「名称←SD読込」を選び、決定ボタンを押します。
SDポップアップが表示されます。

4 「はい」を選び、決定ボタンをおします。

5 名称設定が終わったら、検索ボタンを押します。
セットアップメニューに戻ります。

9-13 システム設定

●上書きの設定

本体のハードディスクに記録した映像の上書き方法を設定します。

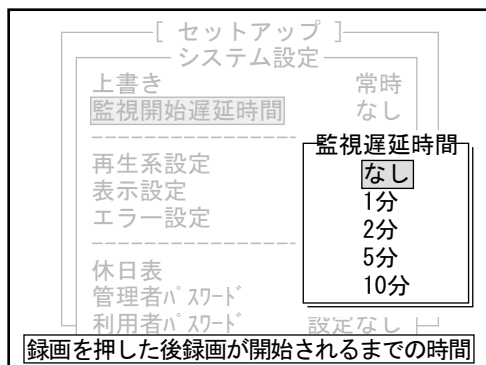
- 「なし」に設定すると、記録された映像は上書きされません。ハードディスクが満杯になるとエラーを表示して記録できなくなります。
- 「常時」に設定すると、記録された映像は常に上書きされます。ハードディスクが満杯になると最も古い映像から順に最新の映像に上書きされていきます。

1 セットアップメニューで「システム」を選び、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップが表示されます。

2 「上書き」を選び、決定ボタンを押します。

上書きポップアップが表示されます。

3 「なし」または「常時」のどちらかを選び、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●監視開始遅延時間の設定

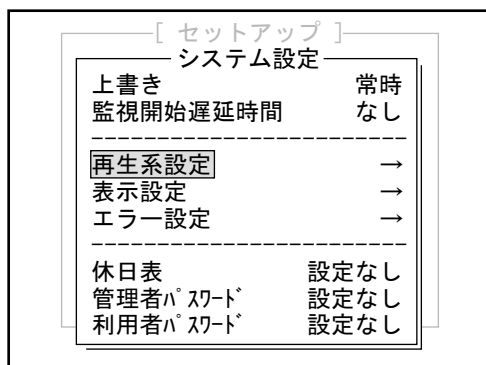
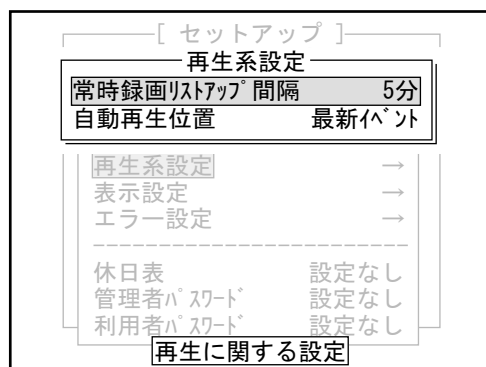
監視モードに切り替えてから監視状態を開始するまでの時間を設定します。作業者が退出するまでセンサ検知があっても記録されないようにするための機能です。
「なし」に設定すると監視モードに入ります。

1 システム設定ポップアップで「監視開始遅延時間」を選び、決定ボタンを押します。
監視遅延時間ポップアップが表示されます。

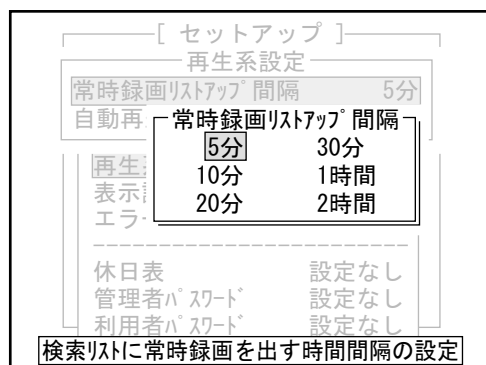
2 時間を選び、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●常時録画リストアップ間隔の設定

常時録画を検索するとき画面のリストに録画開始の時間から何分（何時間）おきにリスト表示するかを設定します。

1 システム設定ポップアップで「再生系設定」を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップが表示されます。

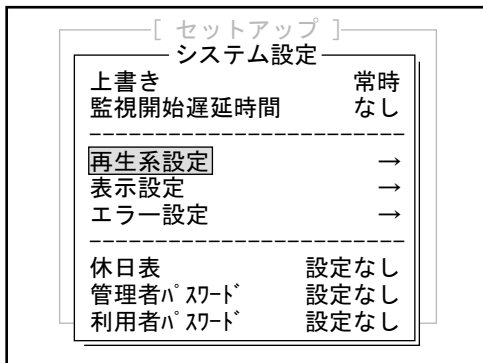
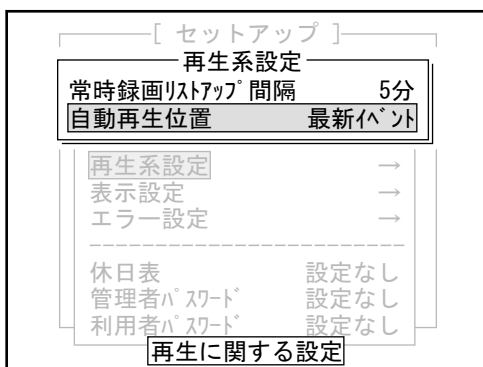
[セットアップ]
再生系設定
常時録画ﾘｽﾄｱｯﾌﾟ間隔 5分
自動再生位置 最新ｲﾍﾞﾝﾄ
再生系設定 →
表示設定 →
エラー設定 →
休日表 設定なし
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
再生に関する設定

2 「常時録画リストアップ間隔」を選び、決定ボタンを押します。
常時録画リストアップ間隔ポップアップが表示されます。

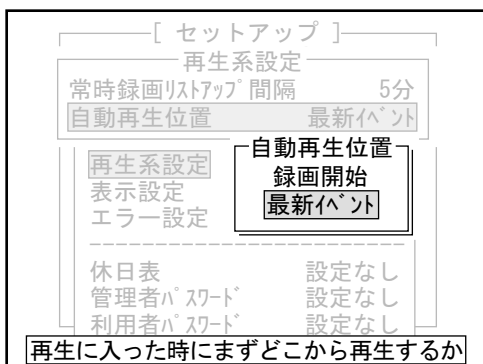
[セットアップ]
再生系設定
常時録画ﾘｽﾄｱｯﾌﾟ間隔 5分
常時録画ﾘｽﾄｱｯﾌﾟ間隔
5分 30分
10分 1時間
20分 2時間
休日表 設定なし
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
検索ﾘｽﾄに常時録画を出す時間間隔の設定

3 時間を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップに戻ります。
再生系設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●自動再生位置の設定

再生ボタンを押したとき最初に再生する映像を設定します。
・「録画開始」に設定すると、録画モードに切り替わって最初に記録された映像から再生します。
・「最新イベント」に設定すると、録画モードが終了する直前の最新のイベント映像から再生します。

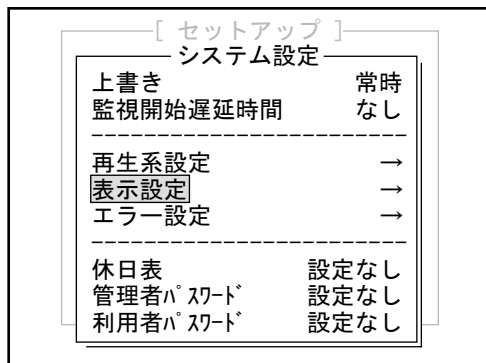
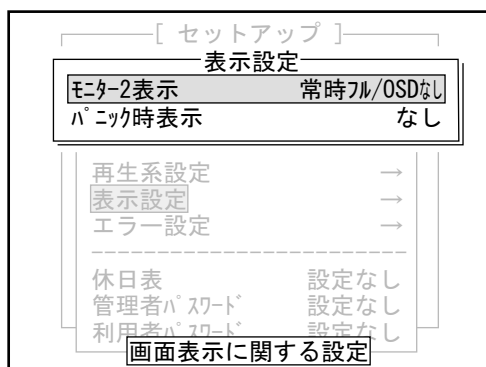
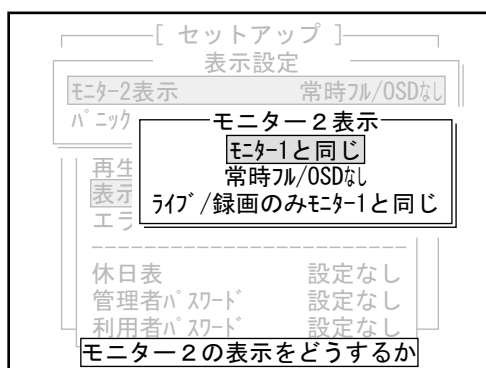
1 システム設定ポップアップで「再生系設定」を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップが表示されます。

[セットアップ]
再生系設定
常時録画ﾘｽﾄｱｯﾌﾟ間隔 5分
自動再生位置 最新ｲﾍﾞﾝﾄ
再生系設定 →
表示設定 →
エラー設定 →
休日表 設定なし
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
再生に関する設定

2 「自動再生位置」を選び、決定ボタンを押します。
自動再生位置ポップアップが表示されます。

[セットアップ]
再生系設定
常時録画ﾘｽﾄｱｯﾌﾟ間隔 5分
自動再生位置 最新ｲﾍﾞﾝﾄ
再生系設定
表示設定
エラー設定
自動再生位置
録画開始
最新ｲﾍﾞﾝﾄ
休日表 設定なし
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
再生に入った時にまずどこから再生するか

3 再生位置を選び、決定ボタンを押します。
再生系設定ポップアップに戻ります。
再生系設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●モニター2の設定

モニター2の表示方法を設定します。

・「モニター1と同じ」に設定すると、常にモニター1(液晶も同じ)と同じ表示をします。
・「常時フル／OSDなし」に設定すると、本体がどのモードにあっても常にフル画面でライブ画像を切り替え表示します。(文字表示なし)
・「ライブ／録画のみモニター1」に設定すると、再生/検索/セットアップ中の時はフル画面でライブ画像を切り替え表示します。(文字表示なし)
・なお、設定はセットアップを終了して初めて有効になります。

1 システム設定ポップアップで「表示設定」を選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップが表示されます。

2 「モニター２表示」を選び、決定ボタンを押します。
モニター２表示ポップアップが表示されます。

3 表示種類を選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップに戻ります。
表示設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

メ モ 「常時フル／OSDなし」の設定ではライブ表示のみの映像をモニターに表示しますので、店舗内などの威嚇監視用としてお使いください。文字情報はモニターに表示されません。

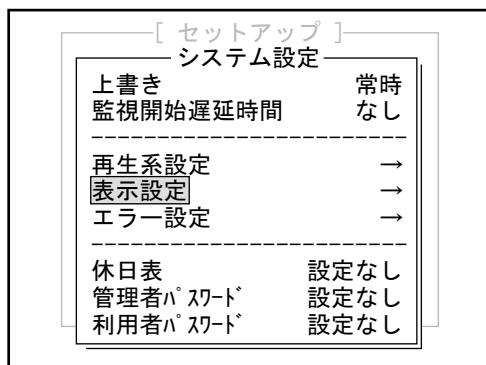
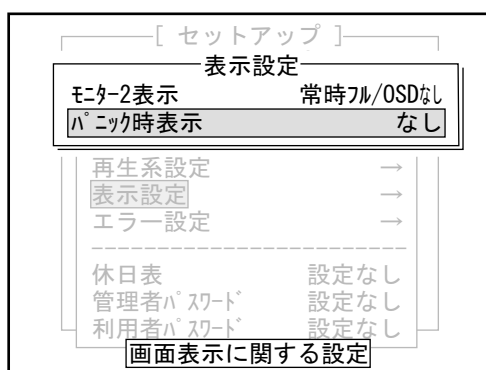
●パニック時表示の設定

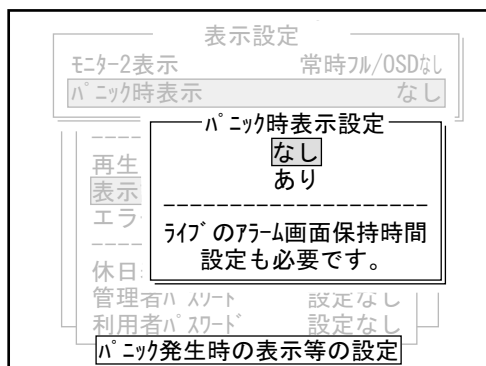
パニック入力があったときに本体に表示をするかを設定します。

・「なし」に設定すると、表示しません。

・「あり」に設定すると、パニック入力を表示します。

1 システム設定ポップアップで「表示設定」を選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップが表示されます。

[セットアップ]
表示設定
ﾓﾆﾀｰ2表示 常時ﾌﾙ/OSDなし
ﾊﾟﾆｯｸ時表示 なし
再生系設定 →
表示設定 →
エラー設定 →
休日表 設定なし
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定なし
画面表示に関する設定

2 「パニック時表示」を選び、決定ボタンを押します。
パニック時表示設定ポップアップが表示されます。

表示設定
ﾓﾆﾀｰ2表示 常時ﾌﾙ/OSDなし
ﾊﾟﾆｯｸ時表示 なし
ﾊﾟﾆｯｸ時表示設定
なし
あり
ﾗｲﾌﾞのｱﾗｰﾑ画面保持時間
設定も必要です。
ﾊﾟﾆｯｸ発生時の表示等の設定

3 なし／ありを選び、決定ボタンを押します。
表示設定ポップアップに戻ります。
表示設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●エラー設定

機器に異常（エラー）が発生したときに、本体のブザーを何秒間または何分間鳴らすかを設定します。

1 システム設定ポップアップで「エラー設定」を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップが表示されます。

[セットアップ]
エラー設定
エラーブザー時間　10秒
キー入力なし警告　なし
録画時ｱﾗｰﾑなし警告　なし
HDDｴﾗｰ復帰設定　30秒後ﾘｾｯﾄ*5回
SMART機能　あり
HDD自動休止時間　１０分
温度異常時録画間隔制御　あり
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　設定なし
エラー/警告に関する設定

2 「エラーブザー時間」を選び、決定ボタンを押します。
エラーブザー時間ポップアップが表示されます。

3 時間を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップに戻ります。
エラー設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

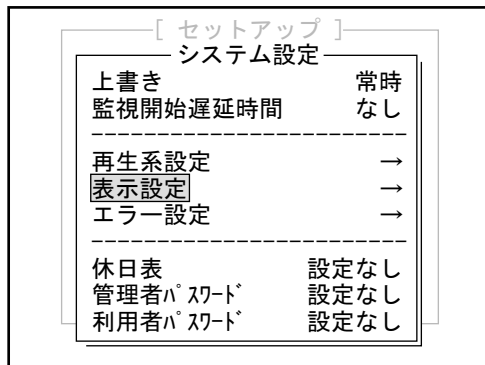
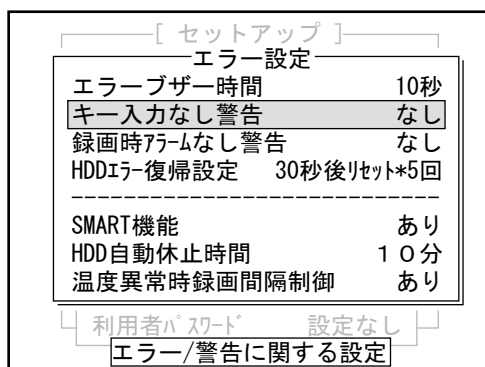
メ モ　カメラ信号なし/PTZエラー時のブザー鳴らし時間の設定です。
指定時間以上エラー状態が続く場合はブザーを止めます。

●キー入力なし警告の設定

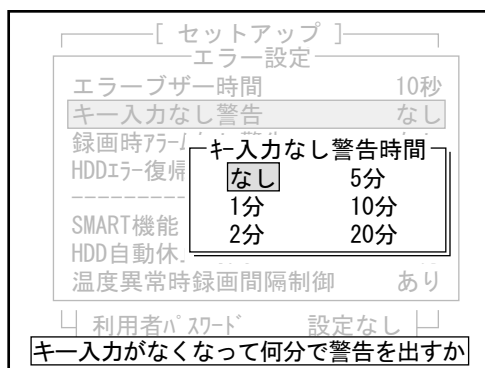
再生した後など再び録画モードへの入れ忘れを防止するために、一定時間キー入力がない場合に本体のブザーを鳴らし注意を促すことができます。
録画モード以外のモードで何分間以上キー入力がない場合にブザーを鳴らすかを設定します。
「なし」に設定すると、ブザーは鳴りません。

[セットアップ]
システム設定
上書き　常時
監視開始遅延時間　なし
再生系設定　→
表示設定　→
エラー設定　→
休日表　設定なし
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　設定なし
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　設定なし

1 システム設定ポップアップで「エラー設定」を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップが表示されます。

[セットアップ]
エラー設定
エラーブザー時間　10秒
キー入力なし警告　なし
録画時ｱﾗｰﾑなし警告　なし
HDDｴﾗｰ復帰設定　30秒後ﾘｾｯﾄ*5回
SMART機能　あり
HDD自動休止時間　１０分
温度異常時録画間隔制御　あり
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　設定なし
エラー/警告に関する設定

2 「キー入力なし警告」を選び、決定ボタンを押します。
キー入力なし警告ポップアップが表示されます。

メモ　録画(パニックを含む)以外でキー入力がなくなって何分で警告を出すかの設定です。
人が操作の途中で席を外し、そのまま放置された場合を警告する機能です。

[セットアップ]
エラー設定
エラーブザー時間　10秒
キー入力なし警告　なし
キー入力なし警告時間
なし　5分
1分　10分
2分　20分
温度異常時録画間隔制御　あり
利用者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　設定なし
キー入力がなくなって何分で警告を出すか

3 時間を選び、決定ボタンを押します。
エラー設定ポップアップに戻ります。
エラー設定が終わったら、検索ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

● 録画時アラームなし警告設定

エラー設定画面で「録画時アラームなし警告」を選んだ場合、録画時アラームなし警告ポップアップ画面が表示されます。時間を選び決定ボタンを押すと、エラー設定画面に戻ります。

メモ 録画中(タイマー待ち中を除く)に、どれだけの期間アラームが発報しなければ警告を出すかの設定です。
アラーム機器が壊れてアラーム信号が来なくなったことが解るようになりますが、アラームがまれにしか発生しない現場では誤った警告を出す可能性がありますので、考えられる適当な時間を設定してください。

● HDDエラー復帰設定

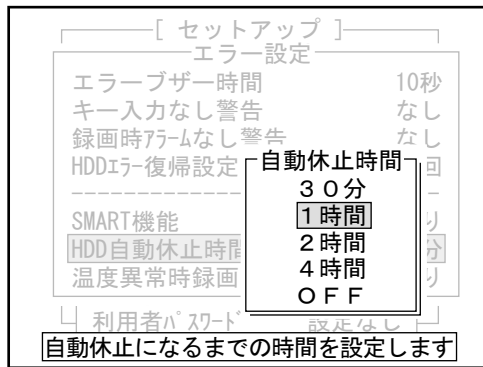
エラー設定画面で「HDDエラー復帰設定」を選んだ場合、HDDエラー復帰設定ポップアップ画面が表示されます。項目を選び決定ボタンを押すと、エラー設定画面に戻ります。

メモ HDDで、内部処理で回復できないエラーが発生した場合、リセット→再起動として復旧を試みますが、このリセット内容を設定します。
指定回数繰り返しても復旧しないときは手動での電源OFF待ちになります。
リセットで復旧しなかった場合でも電源のOFF→ONで復旧することがあります。

● SMART機能の設定

エラー設定画面で「SMART機能」を選んだ場合、SMART機能設定ポップアップ画面が表示されます。なし/ありを選び決定ボタンを押すと、エラー設定画面に戻ります。

メモ SMART機能はHDDの持つ障害予測機能です。これを「あり」にすることでHDDが劣化した場合に警告を出すようになります。警告が出た場合に速やかに対処することで、HDDが完全に破壊されて読めなくなる(画像が取り出せなく)という状況になる可能性を減らせます。
(HDDは突然壊れることもあるので、SMARTが有効でも100%破壊の危険を検出できるわけではありません)。なお、「なし」にしてもHDDの寿命が延びるわけではありません。

● HDD自動休止時間の設定

エラー設定画面で「HDD自動休止時間」を選んだ場合、HDD自動休止時間ポップアップ画面が表示されます。時間を選び決定ボタンを押すと、エラー設定画面に戻ります。
設定値は接続しているHDDの種類によって異なります。

メモ 自動休止とは、HDDに対して一定時間以上読み書きがない場合に自動的に休止させる機能です。HDDを休止させることで寿命を延ばす効果があります。録画中の場合も、アラームまたはパニック録画のみの場合で指定時間以上発報しなかったときに休止します(プリのあり/なしは関係ありません)。
常時録画の設定があるときは、録画中の休止はありません。ただし、休止中にアラーム/パニックが発報した場合、ポストの最初数秒の録画間隔が落ちる場合があります。（プリの設定枚数によって変化しますが、CH合計で秒18枚程度以下の場合は録画間隔は維持されます。これ以上で録画間隔低下による影響を懸念する場合は、プリを付けることで回避してください。）
なお、自動休止で止まっている間は保守は実行されません。

● 温度異常時録画間隔制御の設定

エラー設定画面で「温度異常時録画間隔制御」を選んだ場合、温度異常時録画間隔制御ポップアップ画面が表示されます。なし/ありを選び決定ボタンを押すと、エラー設定画面に戻ります。

メモ 温度異常時録画間隔制御機能とは、製品が使用温度範囲(5〜40℃)を超えた場合に録画間隔を秒1枚程度まで落とすことで、HDDの動作速度を下げて安全性を確保するための指定です。
これを「あり」にしても温度範囲外での動作を保証するものではありません。
HDDは高温度および低温度に弱く、そのまま稼働させると致命的な問題を引き起こすことがあります。

●休日表の設定

休日を設定します。21日分入力できます。録画時間設定の曜日指定で「休日」に含める日付です。

1 システム設定ポップアップで「休日表」を選び、決定ボタンを押します。
休日表ポップアップが表示されます。

2 上下左右ボタンまたはジョグダイアルで日付を入力する位置にカーソルを移動し、決定ボタンを押します。

> メ モ　設定する際にはその年度の休日を確認の上、設定してください。

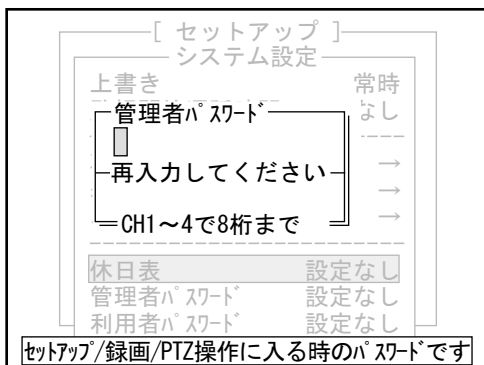
日付入力ポップアップが表示されます。

3 カーソルの位置を月、日の欄に上下左右ボタンの左右ボタンで合せます。
月と日の設定は、上下左右ボタンの上下ボタンかジョグダイアルで行います。
決定ボタンを押します。
休日表ポップアップに戻ります。

> メ モ　一度入力した日付を消去するときは、月の欄を「00」にして決定ボタンを押して下さい。

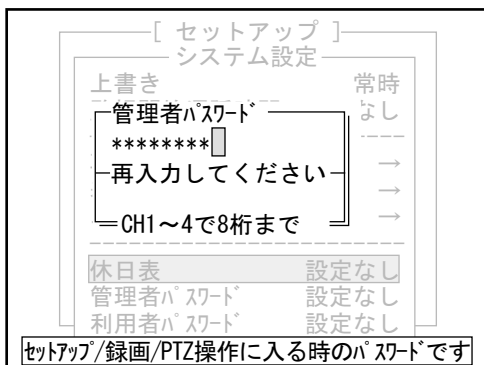
4 すべての休日が入力できたら、検索ボタンまたは停止ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

●パスワードの設定

管理者および利用者のパスワードを設定します。セットアップメニューを表示させるときや、録画ボタン、停止ボタンを押すとパスワード入力が必要になり、部外者による操作をふせぎます。
監視開始遅延時間の開始、停止および監視状態の開始、停止、PTZカメラ操作キーメニューを表示させるときもパスワード入力が必要です。

1 システム設定ポップアップで「管理者パスワード」を選び、決定ボタンを押します。
管理者パスワードポップアップが表示されます。

2 チャンネル選択ボタンの1～4を使って、8桁までのパスワードを入力し、決定ボタンを押します。

メモ パスワードは1～4の数字を組合わせてください。1桁でも可能です。(最大8桁)

- 管理者パスワード
  録画開始・終了／PTZの操作／セットアップ用（管理者、利用者パスワードをわける必要がない場合は管理者パスワードのみ設定してください。）
- 利用者パスワード
  録画開始・終了／PTZの操作用（セットアップには入れません。）

カーソルが下の段に移動します。入力したパスワードは「＊」で表示されます。

3 確認用にもう一度パスワードを入力して、決定ボタンを押します。
システム設定ポップアップに戻ります。

4 「利用者パスワード」も同様に入力します。

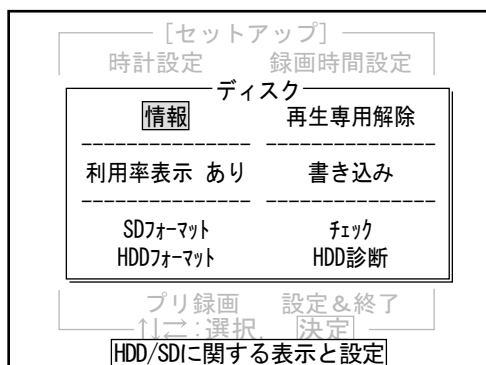
メモ

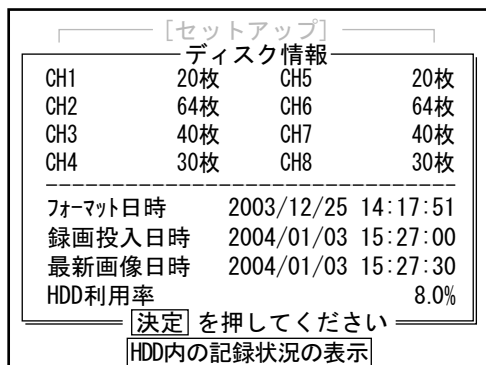
- 一度設定したパスワードを解除するときは、手順2, 3で何も入力せずに決定ボタンを押してください。
- パスワードが不一致の場合は、パスワード異常の画面が表示されます。決定ボタンを押して、もう一度入力を行ってください。

管理者、利用者パスワードが設定されるとシステム設定ポップアップの管理者、利用者パスワードの項目の”設定なし”が”設定あり”に表示が変わります。

9-14 ディスク管理

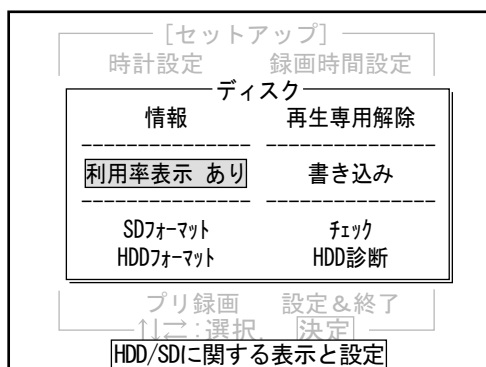
●ハードディスクの情報を見る

チャンネル別の録画枚数、ハードディスクのフォーマット日時、最新の録画モード切り替え日時、最新の画像日時、ハードディスクの利用率を表示します。

1 セットアップメニューで「ディスク」を選び、決定ボタンを押します。
ディスクポップアップが表示されます。

2 「情報」を選び、決定ボタンを押します。

ディスク情報ポップアップが表示されます。

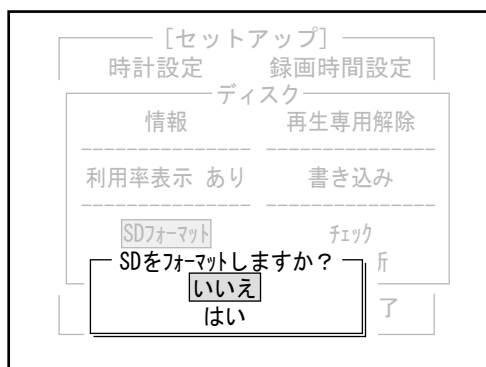
3 決定ボタンまたは停止ボタンを押します。
ディスクポップアップに戻ります。

●ハードディスクの利用率を表示する

ハードディスクの利用率を表示します。

1 ディスクポップアップで「利用率　表示」を選び、決定ボタンを押します。

2 HDD利用率表示ポップアップが表示され、「あり」を選択するとHDD利用率が表示されます。

●SDメモリーカードをフォーマットする

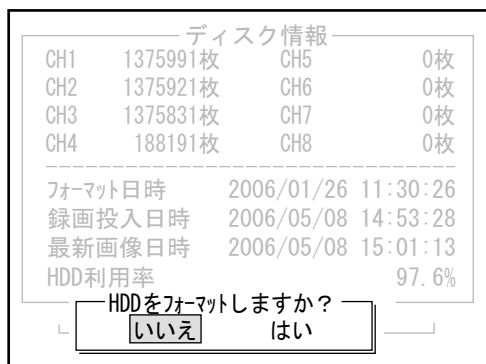
SDメモリーカードをフォーマットします。
SDメモリーカードにコピーされた静止画などのデータはすべて消去されます。

1 SDメモリーカードを本体に挿入します。

2 ディスクポップアップで「SDフォーマット」を選び、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。
SDメモリーカードをフォーマットします。
終了するとディスクポップアップに戻ります。

メモ 「いいえ」を選び決定ボタンを押すと、フォーマットせずにディスクポップアップに戻ります。

●ハードディスクをフォーマットする

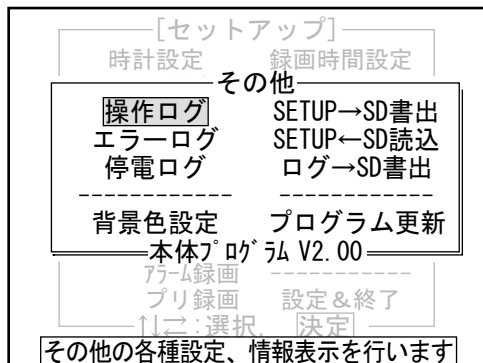
ハードディスクに保存された録画データをすべて消去します。

1 ディスクポップアップで「HDDフォーマット」を選び、決定ボタンを押します。
ハードディスク情報とともに、確認メッセージが表示されます。

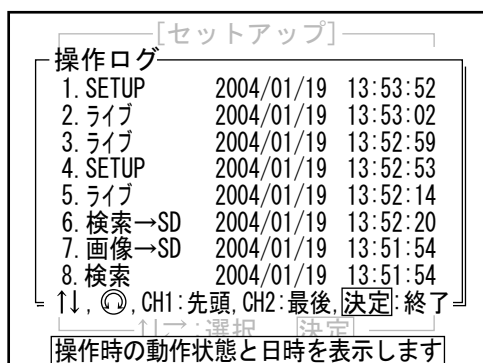
2 「はい」を選び、決定ボタンを押します。
もう一度確認メッセージが現れ、ここで「はい」を押すとハードディスクフォーマットが始まります。
ハードディスクをフォーマットします。
終了するとディスクポップアップに戻ります。

メモ 「いいえ」を選び決定ボタンを押すと、フォーマットせずにディスクポップアップに戻ります。

9-15 その他の操作

●操作ログの表示

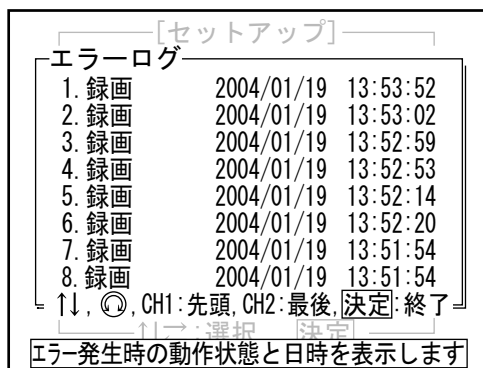
操作内容の履歴を表示します。
セットアップメニューの表示、ライブ表示、再生、検索などの画面操作のほか、常時録画、監視開始遅延時間（ExitDlay）、監視状態などの開始の日時、およびSDフォーマット、HDDフォーマットの日時が表示されます。

1 セットアップメニューで「その他」を選び、決定ボタンを押します。
その他ポップアップが表示されます。

2 「操作ログ」を選び、決定ボタンを押します。

操作ログポップアップが表示されます。
上下左右ボタンの上下ボタンを押すかジョグダイアルを回すと表示をスクロールできます。

3 決定ボタンまたは検索ボタンを押します。
その他ポップアップに戻ります。

メ モ　操作ログの登録件数は最大250件です。251件以上になると古いログから順次消えます。

●エラーログの表示

エラー発生の履歴を表示します。
プログラム更新エラー、録画中のエラー、PTZ操作中のエラーなどの発生日時が表示されます。

1 その他ポップアップで「エラーログ」を選び、決定ボタンを押します。
エラーログポップアップが表示されます。

2 決定ボタンまたは検索ボタンを押します。
その他ポップアップに戻ります。

メ モ　エラーログの登録件数は最大250件です。251件以上になると古いログから順次消えます。

●停電ログの表示

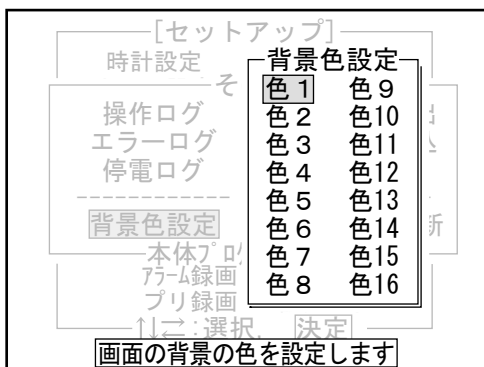
停電発生の履歴を表示します。停電発生時のモードと日時が表示されます。

1 その他ポップアップで「停電ログ」を選び、決定ボタンを押します。
停電・起動ログポップアップが表示されます。

2 決定ボタンまたは検索ボタンを押します。
その他ポップアップに戻ります。

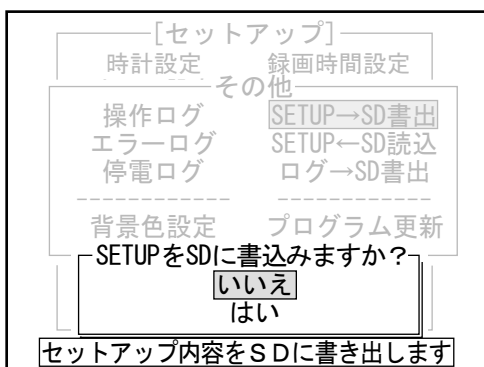
メ モ　停電ログの登録件数は最大250件です。251件以上になると古いログから順次消えます。

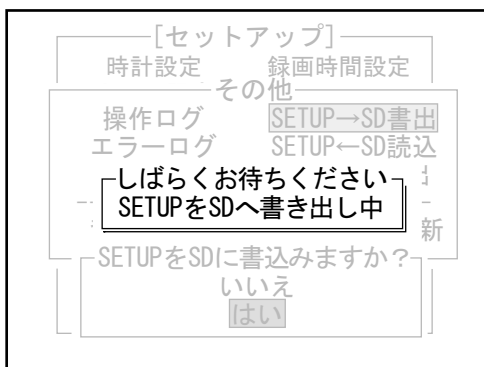
●背景色の設定

セットアップメニューの背景と文字の色の組み合わせを設定します。
ここで変更した内容は、電源をオフにすると元に戻ります。

1 その他ポップアップで「背景色設定」を選び、決定ボタンを押します。
背景色設定ポップアップが表示されます。

2 色を選び、決定ボタンを押します。
背景と文字の色が変わり、その他ポップアップに戻ります。

●設定内容をSDメモリーカードに書き出す

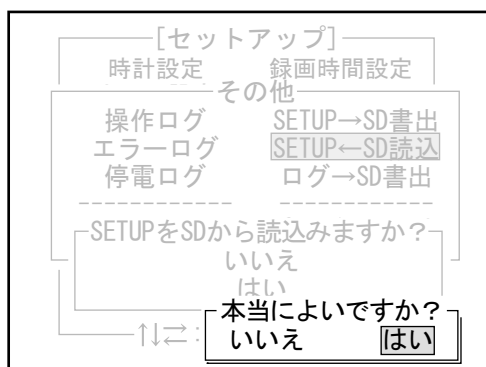
セットアップメニューの設定内容をSDメモリーカードに書き出します。ここで書き出したSDメモリーカードを使って、読み込みを行うと、書き出したときと同じ設定内容を再現できます。

1 SDメモリーカードを差し込みます。

2 その他ポップアップで「SETUP→SD書出」を選び、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。
SDメモリーカードに設定内容を書き出します。書き出し中は、メッセージが表示されます。

書き出しが終了すると、「処理が終了しました」とポップアップ表示がされるので決定ボタンを押してください。その他ポップアップに戻ります。

メ モ　SDメモリーカードは、書き出しが終わったことを確認してから取り出してください。

●設定内容をSDメモリーカードから読み込む

セットアップメニューの設定内容をSDメモリーカードから読み込みます。これまでに操作したセットアップメニューの内容はすべてSDメモリーカードに書き込まれた設定内容に置き換わりますので、十分確認してから行ってください。

1 SDメモリーカードを差し込みます。

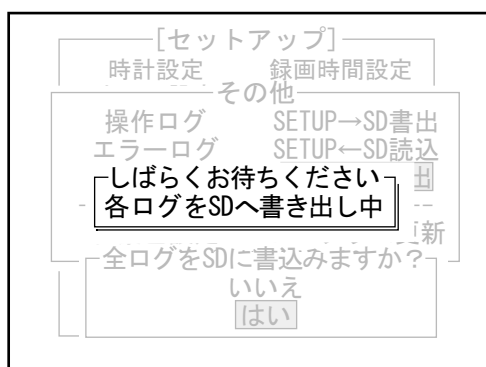
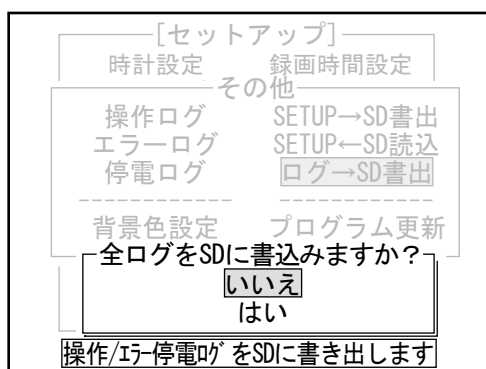
2 その他ポップアップで「SETUP←SD読込」を選び、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。
もう一度確認メッセージが表示されます。

4 「はい」を選び、決定ボタンを押します。
SDメモリーカードから設定内容を読み込みます。
読み込みが終了すると、「処理が終了しました」とポップアップ表示がされるので決定ボタンを押してください。その他ポップアップに戻ります。

メモ　SDメモリーカードは、読み込みが終わったことを確認してから取り出してください。

●ログをSDメモリーカードに書き出す

操作、エラー、停電の各ログをSDメモリーカードに書き出します。テキストデータで保存されますので、パソコンで確認することができます。

1 SDメモリーカードを差し込みます。

2 その他ポップアップで「ログ→SD書出」を選び、決定ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

[セットアップ]
時計設定　録画時間設定
その他
操作ログ　SETUP→SD書出
エラーログ　SETUP←SD読込
しばらくお待ちください
各ログをSDへ書き出し中
全ログをSDに書込みますか？
いいえ
はい

3 「はい」を選び、決定ボタンを押します。
SDメモリーカードにログを書き出します。書き出し中は、メッセージが表示されます。

書き出しが終了すると、「処理が終了しました」とポップアップ表示がされるので決定ボタンを押してください。その他ポップアップに戻ります。

メモ　SDメモリーカードは、書き出しが終わったことを確認してから取り出してください。

●プログラム更新

サービスマンモードですので、絶対に使用しないでください。

メモ　間違ってプログラム更新を実行してしまった時は、録画ボタンを押すと再起動します。

10 こんなときは　（トラブルシューティング）

症状		原因	対処方法	参照ページ
画面表示	液晶モニターに映像が表示されない。	液晶モニター右側にあるLCD SWが「OFF」になっている。	液晶モニター右側にあるLCD SWを「ON」にしてください。	P10
		カメラ信号が途切れている。	映像入力端子の映像ケーブルやカメラ側の映像ケーブル、電源ケーブルの接続を確認してください。	P15
	4分割画面にならない。	4分割画面表示になっていない。	画面分割ボタンを押してください。	P10, P22
		パニック録画している。	パニック録画が終了するまで4分割画面表示に切替えることはできません。 パニック録画が終了してから画面分割ボタンを押してください。	P10, P22
	フル画面表示にならない。	チャンネル選択ボタンを押していない。	チャンネル選択ボタンを押してください。	P10, P21
		カメラ種類を「カメラなし」に設定している。	カメラ種類を「固定カメラ」あるいはPTZ接続チャンネルであれば、「エルモ PTC200C」または「サムソンSPD2500」に設定してください。	P39
		パニック録画している。	パニック録画が終了するまでフル画面表示に切替えることはできません。 パニック録画が終了してからチャンネル選択ボタンを押してください。	P10, P21
	シーケンス表示ができない。	シーケンス表示モードになっていない。	4分割画面表示している状態で画面分割ボタンを押してください。	P10, P22
		切換間隔を「なし」に設定している。	切換間隔を「なし」以外(「1秒」～「30秒」)に設定してください。	P42
	本体名称が表示されない。	本体名称を設定していない。	本体名称を設定してください。	P55～P59
		本体名表示を「なし」に設定している。	本体名表示を「あり」に設定してください。	P57
	チャンネル名称が表示されない。	画面表示を非表示にしている。	決定ボタンを3秒以上長押ししてください。	P10, P21
		CH名表示を「なし」に設定している。	CH名表示を「あり」に設定してください。	P57
		チャンネル名称を設定していない。	名称設定でチャンネル名称を設定してください。	P55～P59
		フル画面表示していない。	4分割画面表示では、チャンネル名称は表示されません。 チャンネル選択ボタンを押してフル画面表示してください。	P10, P21
	カメラ番号が表示されない。	4分割画面表示していない。	フル画面表示では、カメラ番号は表示されません。 画面分割ボタンを押して4分割画面表示にしてください。	P10, P22
		カメラ番号表示を「なし」に設定している。	カメラ番号表示を「あり」に設定してください。	P40
	アラーム表示が出ない。	アラーム画面保持時間を「なし」に設定している。	アラーム画面保持時間を「なし」以外(「2秒」～「30秒」)に設定してください。	P42
		アラーム入力チャンネル以外のチャンネルをフル画面表示にしている。	フル画面表示にしているチャンネル以外でアラーム入力された場合は、アラーム表示は表示されません。	—
		パニック録画中にアラーム入力が発生している。	パニック録画中はアラーム入力を受付けません。	—
	アラーム入力時、アラーム入力チャンネルがフル画面表示されない。	フル画面表示している。	フル画面表示にしているチャンネル以外でアラーム入力された場合は、アラーム表示は出ません。	—
		アラーム画面保持時間を「なし」に設定している。	アラーム画面保持時間を「なし」以外(「2秒」～「30秒」)に設定してください。	P42
	パニック表示が出ない。	パニック時表示を「なし」に設定している。	パニック時表示を「あり」に設定してください。	P63
		画面表示を非表示にしている。	決定ボタンを3秒以上長押ししてください。	P10, P21
	HDD利用率が表示されない。	HDD利用率表示を「なし」に設定している。	HDD利用率表示を「あり」に設定してください。	P70
		ライブ状態になっている。	ライブ状態では表示されません。録画中及び監視状態(録画LEDが点灯)の場合に表示されます。	P19, P25
		画面表示を非表示にしている。	決定ボタンを3秒以上長押しし、日時等を表示させてください。	P10, P21
セットアップ	セットアップメニューが表示できない	検索ボタンと決定ボタンを同時に押していない。	ライブ状態で検索ボタンと決定ボタンを同時に押してください。	P10, P38
		録画中及び監視状態(録画LEDが点灯)になっている。	停止ボタンあるいは警戒入力を解除してください。(録画LEDが消灯)	P10, P19, P25
		録画画像を再生している。	停止ボタンを押して再生を終了してください。	P10, P28
		再生一時停止状態になっている。	停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してください。	P10, P28

症状		原因	対処方法	参照ページ
セットアップ	セットアップメニューが表示できない	パニック録画している。	ライブ状態でパニック録画が行われている場合、セットアップメニューを表示させることはできません。	―
		パスワードが設定されている。	パスワードを正確に入力してください。	P37
		3回連続でパスワードを間違えている。(パスワード入力不可メッセージが表示)	10分間、再入力できません。10分以上経過してからパスワードを正確に入力してください。	P37
	カメラチャンネルの各種設定ができない。	カメラ種類が「カメラなし」に設定されている。	カメラ種類で「カメラなし」に設定しているチャンネルは設定が変更できません。	P39
	設定が変更されていない。	設定&終了選択ポップアップで「設定しないで終了」を選択してセットアップメニューを終了している。	設定&終了選択ポップアップで「設定しないで終了」を選択して設定メニューを終了させると、設定は変更されません。設定変更した際は、「設定して終了」を選択してセットアップメニューを終了してください。	P38
	時刻設定ができない。(時計設定異常メッセージが表示)	最新の録画画像の日時より前の時刻に設定している。	最新の録画画像の日時より後の時刻に設定してください。	P39
	カメラ種類でPTZカメラ(「エルモ PTC200C」あるいは「サムソンSPD2500」)が設定できない。(!!PTZ動作不良!!メッセージが表示)	PTZカメラのID設定を「1」に設定していない。	PTZカメラのID設定を「1」に設定してください。(PTZカメラの詳細な設定は、PTZカメラの取扱説明書を参照ください。)	―
		RS-485端子にPTZカメラコントロール用ケーブルが接続されていない。	RS-485端子に極性を間違わないように接続してください。	P11～P12
	入力種類を、「パニック」、「警戒」、「分リセット」、「秒リセット」に設定できない。	他の入力種類を「パニック」、「警戒」、「分リセット」、「秒リセット」にそれぞれ設定している。	「パニック」、「警戒」、「分リセット」、「秒リセット」はそれぞれ入力端子1つずつしか設定できません。	P50
録画	常時録画できない。	録画ボタンを押していない。または警戒入力信号が入力されていない。(録画LEDが消灯)	録画ボタンを押す。または警戒入力信号を入力してください。(録画LEDが点灯)	P10, P19, P25
		カメラが接続されていない。	カメラを接続してください。	P15
		カメラ設定で「カメラなし」に設定されているチャンネルがある。	カメラ設定で「カメラなし」に設定されているチャンネルは録画できません。	P39
		モード1/モード2の録画時間を設定していない。	録画時間設定でモード1/モード2の録画日時を設定してください。	P47～P48
		モード1/モード2の常時録画を設定していない。	モード1/モード2の常時録画を設定してください。	P43～P44
		モード1/モード2の設定日時以外の時間帯になっている。	モード1/モード2の設定日時以外の時間帯は、監視状態になり、録画待機状態になります。	P47～P48
		HDD容量一杯に録画している。	上書きを「常時」に設定してください。	P59
		パスワードが設定されている。	録画ボタンを押してパスワードを正確に入力してください。	P37
		3回連続でパスワードを間違えた。(パスワード入力不可メッセージが表示)	10分間、常時録画を開始することができません。10分以上経過してから録画ボタンを押してパスワードを正確に入力してください。	P37
		パニック録画している。	パニック録画が終了してから録画ボタンを押してください。	P10, P25
		監視開始遅延時間が設定されている。	監視開始遅延時間が終了するまで録画状態になりません。監視開始遅延時間を「なし」に設定してください。	P19, P59
	設定したモードで録画されない。	録画日時毎に各モードを設定していない。	録画/保守時間設定で録画日時毎に各モード(「モード1」または「モード2」)設定してください。	P47～P48
		同一曜日で複数の録画時間が重なっている。	録画時間設定が重なっている時間は、設定番号の大きい設定が優先されます。	P47～P48
		各録画及び録画時間の設定が変更されていない。	各録画及び録画時間を設定してから設定&終了選択ポップアップで「設定して終了」を選択してセットアップメニューを終了してください。	P38
	祝日も録画を行ってしまう。	休日表に祝日の日時を設定していない。	休日表で祝日にする日付を設定してください。	P68
	録画画像が上書きされてしまう。	上書きを「常時」に設定している。	上書きを「なし」に設定してください。	P59
	アラーム録画できない。	アラーム入力が発生していない。	アラーム入力が発生しないとアラーム録画は行いません。	P20
		録画ボタンを押していない。または警戒入力信号が入力されていない。(録画LEDが消灯)	録画ボタンを押す。または警戒入力信号を入力してください。(録画LEDが点灯)	P10, P19, P25

症状		原因	対処方法	参照ページ
録画	アラーム録画できない。	監視状態になっている。	監視状態ではアラーム録画は行いません。	P19, P25
		パニック録画している。	パニック録画中のアラーム録画は行いません。	P20, P25
		モード1/モード2のアラーム録画を設定していない。	モード1/モード2のアラーム録画を設定してください。	P44～P45
	プリ録画できない。	パニック録画またはアラーム録画が行われていない。	パニックまたはアラーム入力がなければ、プリ録画は行いません。 プリ録画は、録画中のパニックまたはアラーム入力前の画像を録画します。	P20
		モード1/モード2のプリ録画を設定していない。	モード1/モード2のプリ録画を設定してください。	P46
		ライブ及び監視状態でパニック録画が行われている。	ライブ及び監視状態では、プリ録画は行いません。	P19～P20
		モード1/モード2のアラーム録画またはパニック録画を設定していない。	モード1/モード2のアラーム録画またはパニック録画を設定してください。	P43～P45
	パニック録画できない。	パニック入力が発生していない。	パニック入力が発生しないとパニック録画は行いません。	P20
		パニック録画を設定していない。	パニック録画を設定してください。	P43
		セットアップメニューを表示している。	設定&終了選択ポップアップで「設定して終了」または「設定しないで終了」を選択してセットアップメニューを終了させてください。	P38
	録画が停止できない。	停止ボタンを押していない。	停止ボタンを押してください。(録画LEDが消灯)	P10, P25
		警戒入力信号が入力されている。	警戒入力信号を解除してください。(録画LEDが消灯)	P19
		パニック録画している。	パニック録画中は録画を停止できません。	P20
		パスワードが設定されている。	パスワードを正確に入力してください。	P37
		3回連続でパスワードを間違えた。 (パスワード入力不可メッセージが表示)	10分間、録画を停止することができません。 10分以上経過してから停止ボタンを押してパスワードを正確に入力してください。	P37
再生	再生できない。	再生/一時停止ボタンを押していない。	再生/一時停止ボタンを押してください。	P10, P27
		録画画像がない。 (″画像がありません″と表示)	画像を録画してください。	P25
		警戒入力信号が入力され、録画中及び監視状態になっている。(録画LEDが点灯)	警戒入力を解除して録画及び監視状態を終了してください。(録画LEDが消灯)	P19
	再生一時停止できない。	再生中に再生/一時停止ボタンを押していない。	再生中に再生/一時停止ボタンを押してください。 再生画像が一時停止します。	P10, P29
	逆再生できない。	再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転していない。	再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転してください。	P10, P29
		再生一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転してください。	P10, P29
		拡大表示している。	拡大表示を終了し、再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転してください。	P10, P29, P33
		最古の録画画像で再生一時停止状態になっている。	逆再生できません。	—
	早送り再生できない。	再生中にジョグダイアルを時計回りに回転していない。	再生中にジョグダイアルを時計回りに回転してください。	P10, P29
		再生一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイアルを時計回りに回転してください。	P10, P29
		拡大表示している。	拡大表示を終了し、再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイアルを時計回りに回転してください。	P10, P29, P33
		最新の録画画像で再生一時停止状態になっている。	早送り再生できません。	—
	早送り逆再生できない。	再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転していない。	再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転してください。	P10, P29
		再生一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押して再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転してください。	P10, P29
		拡大表示している。	拡大表示を終了し、再生一時停止状態を終了してから再生中にジョグダイアルを反時計回りに回転してください。	P10, P29, P33
		最古の画像で再生停止状態になっている。	早送り逆再生できません。	—

症状		原因	対処方法	参照ページ
再生	コマ送り再生できない。	再生一時停止状態になっていない。	再生中に再生/一時停止ボタンを押し、再生一時停止状態にしてください。	P10,P29
		ジョグダイアルを回転していない。	再生一時停止状態でジョグダイアルを回転してください。	P10,P29
		拡大表示している。	拡大表示を終了させてから、再生一時停止状態でジョグダイアルを回転してください。	P10,P29,P33
		最古及び最新の画像で再生一時停止状態になっている。	再生/一時停止ボタンを押し、再生一時停止状態にしてからジョグダイアルを回転してください。	P10,P29
	再生画像を拡大表示できない。	4分割画面表示している。	4分割画面表示では、拡大表示はできません。 再生一時停止状態でフル画面表示させてから拡大表示してください。	P10,P27,P33
		フル画面表示で再生一時停止状態にしていない。	再生一時停止状態でフル画面表示してから拡大表示してください。	P29,P33
		コピーボタンを押していない。	コピーボタンを押して再生メニューを表示させて「再生ズーム」を選択してください。	P10,P33
	再生が停止できない。	停止ボタンを押していない。	停止ボタンを押してください。	P10,P28
	検索リストが表示されない。	録画中及び監視状態になっている。(録画LEDが点灯)	停止ボタンを押す。あるいは警戒入力を解除して録画及び監視状態を終了してから検索ボタンを押してください。(録画LEDが消灯)	P10,P19,P25,P34～P36
		セットアップメニューを表示している。	設定&終了選択ポップアップで「設定して終了」または「設定しないで終了」を選択してセットアップメニューを終了してください。	P38
		録画画像がない。 (″一致する画像がありません″と表示)	画像を録画してください。	P25
	検索できない。	検索画面を表示した状態で検索ボタンを押していない。	検索画面を表示中に検索ボタンを押してください。 検索日時、チャンネル番号、イベント名を選択して検索できます。	P10,P34～P36
		録画画像がない。 (″一致する画像がありません″と表示)	画像を録画してください。	P25
コピー	コピーできない。	SDメモリーカードを挿入していない。	SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを奥まで挿入してください。	P10,P30
		コピーボタンを押していない。	コピーボタンを押し、再生メニューを表示して各コピー動作メニューを選択してください。	P10,P30
		再生一時停止状態にしていない。	再生中に再生/一時停止ボタンを押して再生一時停止状態にしてからコピーボタンを押してください。	P10,P27～P32
		録画画像がない。	画像を録画してください。	P25
	しおりができない。	コピーボタンを押していない。	コピーボタンを押して再生メニューを表示させて「しおりON」または「一括しおりON」を選択してください。	P10,P33
		再生一時停止状態にしていない。	しおりを付けたい画像で再生一時停止状態にしてください。	P29,P33
		録画画像がない。	画像を録画してください。	P25
警告ブザー	カメラから画像が出力されず、異常LEDが点滅し、ブザーが鳴動する。	信号なし時処理を「エラー」に設定しているチャンネルのカメラの映像信号が切断されている。	映像入力端子の映像ケーブルやカメラ側の映像ケーブル、電源ケーブルの接続を確認してください。	P15
	アラーム入力時にブザーが鳴動する。	ブザーを「あり」に設定している。	入力種類で「CH1アラーム」～「CH8アラーム」のブザーを「なし」に設定してください。	P51
	常時録画中にアラーム入力が一定時間以上ない時にブザーが鳴動する。	録画時アラームなし警告で設定している時間以上アラーム入力が発生していない。	アラーム入力に接続されている機器を確認してください。	―
	パニック入力時にブザーが鳴動する。	ブザーを「あり」に設定している。	入力種類の「パニック」のブザーを「なし」に設定してください。	P51
	キー入力操作が一定時間内行われなかった時に鳴動する。	キー入力なし警告で設定している時間以上キー操作を行っていない。	操作が終了したら、録画ボタンを押して録画状態または監視状態にしてください。	P10,P25

11 仕様

■仕様

型式	WT-2000J
名称	液晶モニター付き　４チャンネルデジタルレコーダー

基本仕様	
電源	ACアダプタ(付属品)、または直流電源装置(別売)使用
定格電圧	DC12V　±5%
定格電流	1.5A(DC12V時)
外形寸法	250mm(幅)×250mm(高さ)×67mm(奥行き)
質量	約1.9kg
設置環境	屋内
設置方法	卓上/壁面
取付角度※	水平角度(卓上設置)：0±5°（前後左右） 垂直角度(壁面設置)：90±5°（前後左右）
使用温度範囲	+5℃　～　+40℃
使用周囲湿度	25～80%RH(結露無きこと)

※水平方向（卓上設置）の場合、本体前面（液晶モニター、操作スイッチのある面）が上を向くように設置してください。
垂直方向（壁面設置）の場合、液晶モニターが上側に位置するように設置してください。

定格入力	
映像(ビデオ)入力	NTSCコンポジット1.0Vp-p±10% 75Ω ４系統(BNC端子)
プログラム入力端子	N.O.またはN.C.接点入力 8系統(8入力 各2端子使用)
プログラム入力の種類	アラーム、マルチアングル、パニック、警戒、分リセット、秒リセット、画面切替 上記７種類から選択可能

定格出力	
映像(モニタ)出力	NTSCコンポジット1.0Vp-p±10% 75Ω ２系統(RCA端子)
アラーム出力	N.O.およびN.C.無電圧接点出力 DC28V　0.2A １系統(２出力　各2端子使用)
汎用出力端子	N.O.またはN.C.無電圧接点出力 DC28V　0.2A ３系統(３出力　各2端子使用)
出力の種類	警告、致命的エラー、全エラー、録画モード、再生モード、 通電、録画忘れ、実録画、温度異常

記録方法	
圧縮方式	Wavelet
画像解像度	NTSC　720(H)×240(V)
画質モード	５段階(低、標準、中高、高、超高)　選択可能
最高記録速度	60枚/秒(1チャンネル、標準画質以下使用時)
記録媒体	2.5インチハードディスク
記録容量	80GB
記録画像枚数	約490万枚(低画質)、約390万枚(標準画質)、約320万枚(中高画質)、 約280万枚(高画質)、約240万枚(超高画質) 録画対象画像によって録画枚数は増加することがあります。
補助記録媒体	SDメモリーカード
最高再生速度	30枚/秒(記録速度とは、一致しません)

その他機能	
モニター	４インチ　TFTカラー液晶モニター搭載
スイッチャー	４チャンネルマルチプレクサ機能内蔵
PTZコントロール	パン･チルト・ズームカメラ制御可能 対象機種；PTC-200C(エルモ社) SPD-2500(サムソン社)

■セットアップ設定チェック表

○カメラ設定

	選択項目	カメラ				参照ページ
		1	2	3	4	
カメラ種類	カメラなし					P39
	固定カメラ					
	エルモ PTC200C					
	サムソンSPD2500					
カメラ信号なし時処理	無視					P39
	エラー					
CH割付						P39
カメラ番号表示	なし					P40
	あり					

○ライブ設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
切替間隔	なし									P42
	1秒									
	2秒									
	5秒									
	10秒									
	20秒									
	30秒									
アラーム時動作 画面保持	なし									P42
	2秒									
	5秒									
	10秒									
	20秒									
	30秒									
アラーム時動作 他CH	有効									P43
	無効									

○パニック録画設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
画質	OFF									P43
	低									
	標準									
	中高									
	高									
	超高									

○モード1常時録画設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
画質	OFF									P44
	低									
	標準									
	中高									
	高									
	超高									
録画間隔	秒60									P44
	秒30									
	秒20									
	秒15									
	秒10									
	秒6									
	秒3									
	秒2									
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	5秒									
	10秒									
	30秒									

○モード1アラーム録画設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
画質	OFF									P44
	低									
	標準									
	中高									
	高									
	超高									
ポスト時間	1枚									P45
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	4秒									
	5秒									
	7秒									
	10秒									
	15秒									
	20秒									
	30秒									
	60秒									
	2分									
	5分									
	8分									
	10分									
録画間隔	秒60									P45
	秒30									
	秒20									
	秒15									
	秒10									
	秒6									
	秒3									
	秒2									
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	5秒									
	10秒									
	30秒									
マルチ	なし									P45
	設定									
リミット(PTZカメラのみ)	なし									P45
	2秒									
	5秒									
	10秒									
	20秒									
	30秒									

○モード1プリ録画設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
画質	OFF									P46
	低									
	標準									
	中高									
	高									
	超高									
録画間隔	秒60（最小プリ6枚）									P46
	秒30（最小プリ6枚）									
	秒20（最小プリ4枚）									
	秒15（最小プリ3枚）									
	秒10（最小プリ2枚）									
	秒6（最小プリ2枚）									
	秒3									
	秒2									
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	5秒									
	10秒									
	30秒									
枚数	0～96枚 （全CH合計96枚）									P46

○モード2常時録画設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
画質	OFF									P44
	低									
	標準									
	中高									
	高									
	超高									
録画間隔	秒60									P44
	秒30									
	秒20									
	秒15									
	秒10									
	秒6									
	秒3									
	秒2									
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	5秒									
	10秒									
	30秒									

○モード2アラーム録画設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
画質	OFF									P44
	低									
	標準									
	中高									
	高									
	超高									
ポスト時間	1枚									P45
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	4秒									
	5秒									
	7秒									
	10秒									
	15秒									
	20秒									
	30秒									
	60秒									
	2分									
	5分									
	8分									
	10分									
録画間隔	秒60									P45
	秒30									
	秒20									
	秒15									
	秒10									
	秒6									
	秒3									
	秒2									
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	5秒									
	10秒									
	30秒									
マルチ	なし									P45
	設定									
リミット (PTZカメラのみ)	なし									P45
	2秒									
	5秒									
	10秒									
	20秒									
	30秒									

○モード2プリ録画設定

	選択項目	チャンネル（CH）								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
画質	OFF									P46
	低									
	標準									
	中高									
	高									
	超高									
録画間隔	秒60（最小プリ6枚）									P46
	秒30（最小プリ6枚）									
	秒20（最小プリ4枚）									
	秒15（最小プリ3枚）									
	秒10（最小プリ2枚）									
	秒6（最小プリ2枚）									
	秒3									
	秒2									
	1秒									
	2秒									
	3秒									
	5秒									
	10秒									
	30秒									
枚数	0～96枚 （全CH合計96枚）									P46

○録画/保守時間設定

	選択項目	タイマー（番号の大きな方が優先）						参照ページ
		1	2	3	4	5	6	
開始時間	00:00～23:55 24:00は24時間 5分単位	24:00						P47
終了時間	00:00～23:55 5分単位	00:00						
録画パターン	モード1							P47
	モード2							
曜日設定	日							P47
	月							
	火							
	水							
	木							
	金							
	土							
	休（休日表にて設定）							

初回保守時間	00:00～23:59 １分単位	00:00	P49
保守繰返間隔	00～23 00=24時間	00	P49

○入力端子設定

	選択項目	入力								参照ページ
		1	2	3	4	5	6	7	8	
入力種類	なし									P50
	CH1アラーム									
	CH2アラーム									
	CH3アラーム									
	CH4アラーム									
	CH5アラーム									
	CH6アラーム									
	CH7アラーム									
	CH8アラーム									
	パニック									
	警戒									
	分リセット									
	秒リセット									
	マルチ									
	画面切替									
接点	N.O.									P50
	N.C.									
形式	エッジ									P51
	レベル									
	エッジ+R									
	レベル+R									
抑止時間	なし									P51
	5秒									
	10秒									
	15秒									
	20秒									
	30秒									
	45秒									
	60秒									
	90秒									
	120秒									
リミット時間	無限									P51
	5分									
	10分									
	20分									
	30分									
	60分									
アラーム出力	なし									P51
	あり									
ブザー設定	なし									P51
	あり									

○出力端子設定

	選択項目	出力			参照ページ
		1	2	3	
出力条件	使わない				P54
	警告				
	致命的エラー				
	全エラー				
	録画モード				
	再生モード				
	通電				
	録画忘れ				
	実録画				
	温度異常				
タイミング	発生時出力				P54
	発生時以外出力				
出力開始時間 (録画設定忘れ時のみ)	即時				P54
	1分後				
	5分後				
	10分後				
	20分後				
	30分後				
異常温度基準 (温度異常時のみ)	5～40℃以外				P55
	40℃以上				
	5℃以下				

	選択項目	1	2	3	4	参照ページ
アラーム出力 タイミング	なし					P55
	あり					
	録画モード中全て					
	実録画中のみ					

○名称設定

		半角２０文字（全角１０文字）まで	参照ページ
名称	CH1		P55～P59
	CH2		
	CH3		
	CH4		
	CH5		
	CH6		
	CH7		
	CH8		
	本体		

	選択項目	参照ページ
名称表示 本体名	なし	P57
	あり	
名称表示 CH名	なし	P57
	あり	

○システム設定

		選択項目	参照ページ
上書き		なし	P59
		常時	
監視開始遅延時間		なし	
		1分	
		2分	
		5分	
		10分	
再生系設定	常時録画リストアップ間隔	5分	P60
		10分	
		20分	
		30分	
		1時間	
		2時間	
	自動再生位置	録画開始	P61
		最新イベント	
表示設定	モニター2表示	モニター1と同じ	P62
		常時フル/OSDなし	
		ライブ/録画のみモニター1と同じ	
	パニック時表示設定	なし	P63
		あり	
エラー設定	エラーブザー時間	10秒	P64
		30秒	
		1分	
		5分	
		無限	
	キー入力なし警告時間	なし	P65
		1分	
		2分	
		5分	
		10分	
		20分	
	録画時アラームなし警告	なし	P66
		30分	
		1時間	
		4時間	
		8時間	
		12時間	
		1日	
		2日	
	HDDエラー復帰設定	電源OFFで復帰	P66
		30秒後リセット*3回	
		30秒後リセット*5回	
		30秒後リセット*1回	
	SMART機能	なし	P66
		あり	
	HDD自動休止時間	30分	P67
		1時間	
		2時間	
		4時間	
		OFF	
	温度異常時録画間隔制御	なし	P67
		あり	

			参照ページ
休日表	最大21日分		P68

管理者パスワード	1~4の組み合わせで8桁まで		P69
利用者パスワード	1~4の組み合わせで8桁まで		P69

○ディスク

	選択項目	参照ページ
HDD利用率表示	なし	P70
	あり	

■ 警告エラーの種類

番号	内容	画面表示	汎用出力	対処法
8101	ハードディスクの空き容量が10%以下になった。（上書き禁止設定時）	（表示無し）	○	（何もする必要なし）
8103	設定時間以上の間アラーム入力が発生していない。（録画時アラーム無し警告設定時）	録画中、設定時間以上アラームが発報していません。アラーム機器もしくは配線を確認してください。（このメッセージは30秒で消えます。）	○	アラームが設定時間以上来ていません。アラーム機器が故障している可能性がありますので、確認してください。
8B01	ハードディスクが劣化してきた。	HDDが劣化しています。しばらくは使えますが早期のHDD交換をお勧めします。	○	HDDの劣化が進んでいますので、販売店に連絡の上、早期の交換をお勧めします。
8B03	ハードディスクの周囲温度が異常になった。	HDD温度が異常になっています。室温が低すぎ/高すぎないか、本体通気口が塞がれていないか確認してください。	○	周辺温度が製品の使用温度範囲（5～40℃）を越えています。温度が範囲を超えないよう対策してください。
8B04	ハードディスクに衝撃が加えられた。	HDDに衝撃が加えられた痕跡があります。HDDは振動・衝撃で急激に劣化します。振動・衝撃を与えないようにしてください。このまま利用するとエラーが発生する可能性もあります。	○	製品に対して振動や衝撃が加えられたことを検出しました。通常1回では故障することはありませんが、続けて出る場合は設置環境に問題がありますので、確認してください。
8B05	ハードディスクの交換時期が近づいている。	このHDDはすでに寿命が来ています。出来るだけ早く交換してください。	○	HDDの劣化が進んでいますので、販売店に連絡の上、早期の交換をお勧めします。
8401	SDの空き容量が不足している。	画像コピーには10分程かかります。（メディア状態により大幅に変化します）開始は[決定]を押してください。中断は[検索]を押してください。SD空容量:10kバイト 画像合計サイズ:10バイト/10枚	×	SDの画像などをコピーしようとしていますが入りきるだけの空き容量がありません。別のSDを用意してください。

■ 致命的エラーの種類

番号	内容	画面表示	汎用出力	対処法
9102	ハードディスクの空き容量が無くなった。	ディスクが一杯です。これ以上録画出来ません。追記するには上書きなしを解除するかHDDをフォーマットしてください。（パニックは記録出来ます。）	○	解除するには、上書き禁止を解除するか、HDDのフォーマットを行ってください。
9103				
9801	カメラ信号がなくなった。（カメラ信号無しエラー設定時）	カメラ信号なし	○	映像入力端子の映像ケーブルやカメラ側の映像ケーブル、電源ケーブルの接続を確認してください。
9601	PTZカメラとの通信エラーが起こった。	PTZがタイムアウトを起こしました。（設定されません）	○	PTZカメラ本体、カメラID設定、PTZカメラとの通信線を確認してください。
9602		PTZとの通信に失敗しました	○	
9401	SDを認識出来ない。	SDが認識出来ません。SDが正しく挿入されているか、書き込み禁止になっていないか確認してください。	×	正しく挿入されているかを確認し、それでもだめな場合はSDカード事態の異常も考えられますので、別のカードに換えてみてください。
9402	SDが正常にフォーマットされていない。	SDのフォーマットが異常です。再フォーマットして使用してください。	×	SDカードを本体で再フォーマットしてみてください。
9403	SDからデータ読み込み時にエラーが発生した。	SDが正常に読めません。SDが寿命に達している可能性があります。SDを交換してみてください。	×	SDカードを再フォーマットしてみるか、別のカードに換えてみてください。

■ 致命的エラーの種類（づづき）

番号	内容	画面表示	汎用出力	対処法
9404	SDへのデータ書き込み時にエラーが発生した。	SDに正常に書き込めません。 SDが寿命に達している 可能性があります。 SDを交換してみてください。	×	SDカードを再フォーマットしてみるか、別のカードに換えてみてください。
9406	SD上に必要ﾌｧｲﾙが見つからない。	SD上に必要ファイルが見つかりません。 SDの内容を確認してください。	×	SDカードの内容を確認してください。
9407	SD上に必要ディレクトリが見つからない。	SD上に必要ディレクトリが見つかりません。 SDを確認してください。	×	SDカードの内容を確認してください。
9408	SD上に必要ファイルが作成出来ない。	SD上に必要ファイルが作成出来ません。 SDを入れ直すか、 交換してみてください。	×	SDカードを再フォーマットしてみるか、別のカードに換えてみてください。
9409	SDアクセス時にエラーが発生した。	SDアクセス中に原因不明の エラーが発生しました。 SDを入れ直すか、 交換してみてください。	×	SDカードを再フォーマットしてみるか、別のカードに換えてみてください。
940A	SDの残り容量が不足している。	SDの残り容量が足りません。 SDを交換するか、再フォーマット してください。	×	空き容量のある別のSDカードに交換してください。
9202 9204 9206 9208 920A 920C 920E 9210 9212	ハードディスクへのデータ書込み時にエラーが発生した。	HDDに書き込めません。 一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。	○	一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。
9301 9303 9305 9307 9309 930B 930D 930F 9311	ハードディスクからデータ読み込み時にエラーが発生した。	HDDが読めません。 一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。	○	一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。
9F01	内部システムに異常が発生した。	連続した強いノイズにより 動作異常になっています。 キーおよび入力端子等が効きません。 一度電源を切って再起動してください。	○	一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。
9F02	内部デバイスに異常が発生した。	周辺デバイスが正常動作しません。 静電気やノイズによる一時的な異常か ハードの故障が考えられます。 一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。	○	一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。
9B01	ハードディスクが応答しない。	HDDが応答しません。 一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。	○	一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。
9B0E 9B0F 9B10 9B11 9B12 9B16	ハードディスクの動作に異常が発生した。	HDDが正常動作しません。 一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。	○	一度電源を入り切りして再起動し、 それでも復旧しない場合は 販売店にご連絡ください。

■ 常時録画モードでの最小録画時間表（日数＋時間）

カメラ1台					
画質	低	標準	中高	高	超高
録画間隔設定					
1/60 秒	22時間	18時間	−	−	−
1/30 秒	1日 21時間	1日 21時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/20 秒	2日 19時間	2日 6時間	1日 21時間	1日 14時間	1日 9時間
1/15 秒	3日 18時間	3日 0時間	2日 12時間	2日 3時間	1日 21時間
1/10 秒	5日 15時間	4日 12時間	3日 18時間	3日 5時間	2日 19時間
1/6 秒	9日 9時間	7日 12時間	6日 6時間	5日 8時間	4日 16時間
1/3 秒	18日 18時間	15日 0時間	12日 12時間	10日 17時間	9日 9時間
1/2 秒	28日 4時間	22日 13時間	18日 18時間	16日 2時間	14日 2時間
1 秒	56日 8時間	45日 2時間	37日 13時間	32日 5時間	28日 4時間
2 秒	112日 17時間	90日 4時間	75日 3時間	64日 10時間	56日 8時間
3 秒	169日 2時間	135日 7時間	112日 17時間	96日 15時間	84日 13時間
5 秒	281日 20時間	225日 11時間	187日 21時間	161日 1時間	140日 22時間
10 秒	563日 17時間	450日 23時間	375日 19時間	322日 3時間	281日 20時間
30 秒	1691日 4時間	1352日 23時間	1127日 11時間	966日 9時間	845日 14時間

カメラ2台					
画質	低	標準	中高	高	超高
録画間隔設定					
1/60 秒	1日 21時間	1日 12時間	−	−	−
1/30 秒	1日 21時間	1日 12時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/20 秒	1日 21時間	1日 12時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/15 秒	1日 21時間	1日 12時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/10 秒	2日 19時間	2日 6時間	1日 21時間	1日 14時間	1日 9時間
1/6 秒	4日 16時間	3日 18時間	3日 3時間	2日 16時間	2日 8時間
1/3 秒	9日 9時間	7日 12時間	6日 6時間	5日 8時間	4日 16時間
1/2 秒	14日 2時間	11日 6時間	9日 9時間	8日 1時間	7日 1時間
1 秒	28日 4時間	22日 13時間	18日 18時間	16日 2時間	14日 2時間
2 秒	56日 8時間	45日 2時間	37日 13時間	32日 5時間	28日 4時間
3 秒	84日 13時間	67日 15時間	56日 8時間	48日 7時間	42日 6時間
5 秒	140日 22時間	112日 17時間	93日 22時間	80日 12時間	70日 11時間
10 秒	281日 20時間	225日 11時間	187日 21時間	161日 1時間	140日 22時間
30 秒	845日 14時間	676日 11時間	563日 17時間	483日 4時間	422日 19時間

注１）　この一覧表は、設置した全てのカメラを同じ「録画間隔」に設定し常時録画したときの最小録画可能時間です。設定条件により、この記録時間より長く記録できる場合があります。

注２）　網がけ部（　　　　）は録画間隔設定値に関わらず、設定より長い間隔での録画になります。
最速の録画間隔で撮影しても、記録可能枚数はカメラ台数で割算したものになるためです。
そのため、カメラ台数を増やしても、録画可能時間が減少しない場合があります。

注３）　「超高」「高」「中高」画質の場合、最速録画間隔が1/30秒になります。
1/60秒の設定はできません。

注４）　複数のカメラを設置しても、カメラによって異なる「録画間隔」を設定した場合、上記の録画可能時間と異なる場合があります。

注５）　上記の表は個々の録画画像のデータ容量が最大になる場合を想定して、「最小録画時間」を示すものです。
録画対象の画像により、上記よりも長時間録画できる場合があります。
例えば、一般に平板な背景の画像では画像データ容量が小さくなり、録画可能時間が長くなる傾向にあります。

カメラ1台					
画質	低	標準	中高	高	超高
録画間隔設定					
1/60 秒	22時間	18時間	−	−	−
1/30 秒	1日 21時間	1日 21時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/20 秒	2日 19時間	2日 6時間	1日 21時間	1日 14時間	1日 9時間
1/15 秒	3日 18時間	3日 0時間	2日 12時間	2日 3時間	1日 21時間
1/10 秒	5日 15時間	4日 12時間	3日 18時間	3日 5時間	2日 19時間
1/6 秒	9日 9時間	7日 12時間	6日 6時間	5日 8時間	4日 16時間
1/3 秒	18日 18時間	15日 0時間	12日 12時間	10日 17時間	9日 9時間
1/2 秒	28日 4時間	22日 13時間	18日 18時間	16日 2時間	14日 2時間
1 秒	56日 8時間	45日 2時間	37日 13時間	32日 5時間	28日 4時間
2 秒	112日 17時間	90日 4時間	75日 3時間	64日 10時間	56日 8時間
3 秒	169日 2時間	135日 7時間	112日 17時間	96日 15時間	84日 13時間
5 秒	281日 20時間	225日 11時間	187日 21時間	161日 1時間	140日 22時間
10 秒	563日 17時間	450日 23時間	375日 19時間	322日 3時間	281日 20時間
30 秒	1691日 4時間	1352日 23時間	1127日 11時間	966日 9時間	845日 14時間

カメラ2台					
画質	低	標準	中高	高	超高
録画間隔設定					
1/60 秒	1日 21時間	1日 12時間	−	−	−
1/30 秒	1日 21時間	1日 12時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/20 秒	1日 21時間	1日 12時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/15 秒	1日 21時間	1日 12時間	1日 6時間	1日 1時間	22時間
1/10 秒	2日 19時間	2日 6時間	1日 21時間	1日 14時間	1日 9時間
1/6 秒	4日 16時間	3日 18時間	3日 3時間	2日 16時間	2日 8時間
1/3 秒	9日 9時間	7日 12時間	6日 6時間	5日 8時間	4日 16時間
1/2 秒	14日 2時間	11日 6時間	9日 9時間	8日 1時間	7日 1時間
1 秒	28日 4時間	22日 13時間	18日 18時間	16日 2時間	14日 2時間
2 秒	56日 8時間	45日 2時間	37日 13時間	32日 5時間	28日 4時間
3 秒	84日 13時間	67日 15時間	56日 8時間	48日 7時間	42日 6時間
5 秒	140日 22時間	112日 17時間	93日 22時間	80日 12時間	70日 11時間
10 秒	281日 20時間	225日 11時間	187日 21時間	161日 1時間	140日 22時間
30 秒	845日 14時間	676日 11時間	563日 17時間	483日 4時間	422日 19時間

■外形寸法図

保証書　　　　　　　　　　WT-2000J

保証期間 ※お買い上げ年月日 より１年間	販売店名
お客様ご住所 (〒　　　　　) (TEL　　　　　　　　　　　　) お名前	〈お願い〉 ・太字枠内はお買上げ時に必ず記入を受けて下さい。 ・記入なき場合、本書は無効となります。 ・本書は大切に保管して下さい。再発行はいたしません。

（保証規定）

Ⅰ．保証の範囲

１．取扱説明書に記載された正常な使用状態で保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申しつけください。

２．この保証は保証書に記載された製品について、日本国内に限り適用いたします。

３．次の部品は、保証期間内であっても有償修理となります。

・ハードディスクドライブ、ハードディスクドライブの放熱ファン

Ⅱ．保証の条件

次に該当する故障は、保証期間（お買上げ日より　1年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

１．誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障

２．災害など不可抗力による損害

３．保証書太字枠内に必要事項の記入が無い場合。

古紙配合率100%再生紙を使用しています

オプテックス株式会社

本　　　社　〒520-0101　滋賀県大津市雄琴5-8-12
TEL(077)579-8620　FAX(077)579-8170

東京営業所　〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-14-1　新宿ｸﾞﾘｰﾝﾀﾜｰﾋﾞﾙ19F
TEL(03) 3344-6476　FAX(03) 3344-5734

59-1106-3

2006.7 MADE IN JAPAN